

七尾市民意識調査 及び 能登出身者調査報告書

2019年6月

七尾経済研究所

七尾街づくりセンター株式会社

第1章 調査設計の概要

調査の目的

七尾市の人口は、現在の市域部分で合算すると昭和の最後のころには約7万人いたが（1985年：昭和60年の国勢調査で69,915人）、2015年には約5万5千人と、30年間で約2割の人口減になっている。また、生産年齢人口の減少と高齢化率の増加の傾向は今後も続くことが予想されている。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（2013年：平成25年3月推計）」は、2040年の七尾市の人口は約3万5千人にまで減少することを見込んだ。この数値を踏まえ、U・I・Jターンの促進や定住の促進等により転入と転出の均衡を図ることを目指し、『七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の各施策や取り組みを踏まえた目標人口を、2040年に約41,000人としている。（『七尾市人口ビジョン』（P61）より）。

転入と転出の均衡をはかり自然減を食い止めるために必要なことは、能登への転入者を増やす（＝今より数を減らさない）ことと、今能登にいる人の転出を減らすという方向性を保つことである。

まず転入者については、近年増えている大都市圏からの移住を増やすということに加え、もともと育った地域に戻る人も視野に入れることが重要である。また、近年の道路網等交通の発達により、必ずしも生まれ育った地域にもどらなくても近隣地域に戻ることも増えている。そこで、今回のターゲットの一つとして七尾以北の「能登出身者を対象としたUターン・Iターン・Jターン意向調査」を企画し、調査設計を行った。

他方転出者については、高等教育を受ける、新卒者の多様な雇用の受け皿があるということで大都市圏へ転出する若者がいることは否定できないが、今子育てをしている世代などが生活環境への不安や不満を理由に転出することは、できる限り減らしていくことが地域コミュニティの維持という観点でも重要である。そこで、今回の調査のもう一つのターゲットとして「七尾市民を対象とした生活意識・実態調査」を企画した。

これまでも、七尾市においては計画策定のための基礎データ収集や、行政サービスに対する住民の意向やニーズの把握のために、アンケート調査を実施し、施策実施の参考としている。今回はこれまでに行政で実施してきたアンケートの内容を参考にしながらも、直接的に行政の施策と関連が薄かったためこれまでの市民意識調査等であまり聞くことのなかった買い物や外食といった市民のリアルな生活実態をリサーチするとともに、生活満足度や幸福感との関係性があるかについての分析を試み、あらたな七尾の市民像を示せないかと試みた。また能登を離れて今暮らしている理由や、今後能登への移住意向があるか尋ねることに加え、移住決定に重要な要素である「働く」という観点での施策アイデアを評価する項目などを設けることで、今後のU・I・Jターン施策の基礎資料を作ることを目指している。

なおアンケート調査票の作成・分析に当たっては、事務局内でのブラッシュアップに加え、能登内外で同様の調査研究をおこなったり、プロジェクトを率いている外部調査アドバイザーの協力を得ることができた。本調査で得られた知見から、七尾や能登で今以上に多様な人が暮らし・働き・交流するためのヒントを得て、施策や事業等の継続的な成果に結びつけることを目指している。

調査スキーム・調査対象・調査時期・回収目標・回収数

本調査においては、2つのグループ（対象）への調査を実施した。調査票の設計を2019年2月に行い、アンケート調査を2019年3月に実施した。

1. 七尾市民意識調査

チラシやメール等により、市民にQRコードの配布等を通じて回答を依頼して行うWEBアンケート調査。15歳以上の市民を想定し、200サンプル程度の回答を目指し、実施した。

185サンプル回収できた。

2. 能登地方出身者調査

インターネット調査（楽天リサーチ）モニターの中から「能登出身者」で「現在能登以外に住んでいる人」をスクリーニングし、回答を得る。100サンプル程度の回答を目指し、実施した。

100サンプル回収できた。

調査主体・事務局

調査主体は七尾街づくりセンター株式会社である。事務局スタッフと（ ）内はに記した役割分担は次の通りである。

友田 景

ローカルベンチャー戦略アテンダント
（全体統括）

猪田 有弥

主任研究員
（調査設計分析・報告書作成）

石樽 まり

インターン
（進行管理・調査会社との調整）

調査アドバイザー

調査票の作成及び報告書作成にあたりチェックや助言を得た調査アドバイザーは次の通りです。（敬称略）

天田 亮介

NPO法人ブレインファーム理事長
ツムグ前橋 管理人

水谷 衣里

株式会社風とつばさ代表
一般財団法人世田谷コミュニティ財団代表理事

谷内 博史

七尾市在住
金沢市市民サポートセンターチーフコーディネーター
特定非営利活動法人NPO政策研究所 理事

山崎祥汰

日産自動車株式会社
グローバルブランドエンゲージメント部門

調査設計に向けた過去調査結果の検討

七尾市でこれまでに実施してきた調査を事前に確認することで、今回の調査設計につながる問題意識を把握したうえで調査設計を行った。

【市政運営に関するアンケート】

※平成28年3月に実施した七尾市まちづくり市民意識調査（総務部企画財政課）

- 『住みにくい』理由のトップは日常生活（買い物等）が不便
⇒市民意識調査の買い物場所の設問へ反映
- 施策の重要度×充実度のまとめによると、市民からもっとも求められているのは「企業誘致・雇用」
⇒両調査で「働くこと」「起業・創業・事業継承」についての設問を入れることで反映

【七尾市「人口ビジョン」策定時に実施したアンケート】

※平成27年に実施した「転入者」「転出者」アンケート

- 転入前の居住地は、七尾・金沢市以外の石川県が約31%で最も多く、次いで金沢市が約25%となっている。
 - 転入のきっかけは「仕事の都合」が約39%で最も多く、以下「その他（親と同居等）」が約31%、「親などの介護」が18%、「結婚」が約15%と続いている。
 - 不満については「日常生活（買い物など）が不便」が約41%で最も多く、「通勤・通学が不便」が22%と続いている。
 - 定住のために「働く場の充実」や「交通の利便性」「医療・福祉の充実」などが必要
- ※「人口ビジョン」策定時に実施した関係者ヒアリングのキーワード
- 賃貸・売買物件の掘り起し、物件所有者と利用者のニーズに応じた情報収集の充実
 - Uターンのための交通基盤の活用（広域通勤圏）
 - 体験農業による若者就農者の定着

【介護保険事業計画策定にあたり実施している調査結果（七尾市健康福祉部福祉課）】

※平成29年1月～2月に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果より（対象者は65歳以上の要介護認定を受けていない人）

- 「スポーツ関係のグループ」「趣味関係のグループ」に参加している人の割合が全国平均よりも低い
- 住民有志のグループ活動への参加意欲・運営意向ともに全国平均より低い

参考にした各種アンケート調査

いくつかの項目については、国や他の自治体が行っている類似調査を参考にしている。
（ただし、選択項目等は変えているケースもある）

ソニー損保 自動車の利用に関する調査

https://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2018/12/20181203_01.html?fbclid=IwAR16lYK6u8eVSpfbxvJiMZDTHvydxJiX3nMEyUrVzUhXNT6hmjAfHPa_wkaQ

「みんなのプロジェクト」の外出調査

https://minproject.jp/?r=site/page&view=henshubu.question_vol_2

「MMD研究所」の調査（2018年11月）の結果

https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1756.html

「内閣府経済社会総合研究所幸福度研究ユニット」の調査

http://www.esri.go.jp/jp/prj/current_research/shakai_shihyo/pdf/houko_ku2.pdf

内閣府 生活の質に関する調査

http://www.esri.go.jp/jp/prj/current_research/shakai_shihyo/survey/survey.html#k5

「内閣府 国民生活に関する世論調査」

<https://survey.gov-online.go.jp/h30/h30-life/index.html>

山梨県買い物実態調査

<http://www.pref.yamanashi.jp/shougyou/kaimonokankyoku.html>

横須賀市市民アンケート

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2140/shoutengai/documents/anke-to.pdf>

ビデオリサーチ レジャー趣味活動の調査

<https://vropencafe.video-research.jp/mranking/m-ranking-20.html>

海士町 わがトコ・わがコト調査

<http://www.town.ama.shimane.jp/topics/pdf/2017amawagatokowagakototyousahoukokusyo.pdf>

能登の観光振興に向けたアンケート調査

https://www.dbj.jp/pdf/investigate/area/hokuriku/pdf_all/hokuriku_1503_01.pdf

島根県UIターンの意識調査

https://www1.pref.shimane.lg.jp/admin/region/chiiki/UI_turn/ui-ishikityosa.data/houkokusyo-gaiyo.pdf

第2章 市民意識調査の結果

第1節 結果のサマリー

	設問内容	備考
問1	居住地（住んでいる地区）	市の調査を参考に／市外の人は調査終了
問2	結婚の有無	年齢は10歳刻み
問3	働いているかどうか	
問4	子どもや高齢者の同居有無	
問5	就業の状況	働き方の違いによって分析
問6	勤務場所・通学場所	市外通勤・通学者の生活（特に買い物）行動の確認の予定
問7	U・J・Iターンかどうか	U・Jターン／Iターン／ノーターン（地元民）での違いで分析
問8	移住のきっかけ	（U・J・Iターン者への設問）
問9	マイカーの所有台数	所有台数と維持費の関係
問10	運転免許の所有有無	
問11	マイカーの走行距離（年間）	ソニー損保の調査を参照
問12	マイカーの維持費（月額）	ソニー損保の調査を参照
問13/14	買い物場所　A 生鮮品　B 日用品　C 書籍や雑誌	
問15	外食の状況	みんなのプロジェクトの調査を参照
問16	七尾市内での外食の割合	
問17	地域での習い事・サークル・ボランティア活動	
問18	趣味・レジャー活動　A 最近行った　B 今後七尾近隣でやりたい	レジャー白書、ビデオリサーチ調査等を参考
問19	七尾らしいと感じる場所やモノ、こと	
問20	地域ニュースの情報源	
問21	通信費（月額）	「MMD研究所」の調査結果を参考
問22	幸せかどうか（幸福感）	内閣府経済社会研究所の幸福度研究の調査項目（生活の質に関する調査）を参考
問23	幸福感を判断する際に重視した点	同上
問24	現在の生活の満足度	内閣府「国民生活に関する世論調査」の結果を参考
問25	七尾市に住み続けたいか	
問26	子どもに七尾に暮らしてほしいか	（子どもがいる人に調査）
問27	だいたい世帯所得	（「答えたくない」設問を用意し、必須回答にはしない）

主な回答者の属性

- 男性が57.3%、女性が42.7%である。
- 平均年齢は、44.2歳、男性が43.7歳、女性が45.0歳である。
- 就業状況は社員として働いている人が55.7%、パート等で働いている人が7.6%（＝これらを合わせた人を以下「会社に所属している」人と記す、計63.3%）、自営業・自由業・業務委託で働いたり農家の人（以下「シゴト単位で働く」人と記す）が33.0%、働いていない人が3.8%であり、学生はいない。
- Uターンが46.5%、Iターンが13.0%、Jターンが3.2%、当てはまらない（移住者ではない人のこと、以下「ノーターン」と記す）が37.3%である。

※本報告書では、●印のある性別・年齢別・就業状況別（会社に所属しているか、シゴト単位で働くか）・U・I・Jターン別（UターンとJターンを合算した「U・Jターン」か、Iターンか、ノーターンか）を主な分析軸としている。

なお、Uターン・Iターン、Jターンの定義は本文中（P24）参照のこと。

その他回答者の属性は次のとおりである。

- 七尾地区が83.3%、中島地区が8.1%、能登島地区が5.9%、田鶴浜地区が2.7%である。
- 既婚が79.5%、別離・死別が6.5%で、結婚したことがある人が86.0%。未婚（結婚していない人）は14.1%である。
- 親子2世代世帯が51.4%、親子孫3世代世帯が21.1%、夫婦だけの世帯が16.2%、一人暮らしが8.6%である。
- 働いている場所は七尾市内が89.9%、七尾市周辺が5.1%、金沢市が2.8%である。
- 世帯年収を答えてくれた方の平均額は、約580万円である。

今回の調査でわかった主な数値指標（全体）

マイカー台数（平均）
2.4台/世帯
※5台以上の人も6.5%

マイカー走行距離（平均）
8,776km/年
※全国平均は6,361km/年

マイカー維持費（1台平均）
15,953円/月
※全国平均は12,400円/月

料理が面倒な時外食をする人
45.4%
※全国平均より約8ポイント低い

外食をほぼ（8割以上）市内でする人
49.5%
※逆に市内では外食を殆どしない人は6.7%

U・Jターンのきっかけは
親戚の声と地元民との交流
※Iターンは多様な理由

本や雑誌の宅配・WEB通販の購入率
52.4%
※市内書店等利用率は67.0%

地域情報源（チェック率）ベスト5

北國新聞	72.4%
七尾ごころ	66.5%
友人知人のSNS	47.0%
ZOON	36.8%
七尾市Facebook	33.0%

地域のお祭りの運営に関わる人
32.4%
※男性に限ると49.1%

七尾でやりたくてもできない趣味
アウトドアがトップ
※特に若者層で高い

七尾らしさを感じるのは、
地域の祭りが盛んが
74.6%でトップ

七尾市民の幸福感得点は10点満点で
平均**6.8点**
※全国平均は6.6点で0.2ポイント高い

七尾市民の幸福感の判断基準は
家族関係がトップ
※全国だと家族関係は「健康状況」「家計の状況」について3位

現在の暮らしに満足している人は
69.2%
※全国平均は74.7%で約5ポイント低い。
U・Jターンの人に限ると77.2%。

今後も七尾に暮らしていきたい人は
68.6%
※U・Jターンの人に限ると77.2%

子どもたちが大きくなった時、七尾で暮らしてほしいと思う親やは
56.3%
※男性は66.7%で約10ポイント高い

全体数値の結果より

- 家の車の所持は平均2.4台。年間平均走行距離は8,776kmで、参考の全国平均データ（6,361km）と比べると1.38倍、マイカーの月間維持費（1台あたり）は、月15,963円で、参考の全国データ（12,400円）と比べると1.29倍である。
- 平均所持台数と平均月間維持費を掛け合わせると、一世帯当たり月38,311円、年間では459,734円となる。（税金、ローンの返済、高速道路等の通行料は除く）
- 買い物は市内スーパーやショッピングセンターがメインである。市内購入率は、生鮮食品93.0%、日用品82.2%、書籍や雑誌67.0%。市外購入率は生鮮食品21.6%、日用品33.5%、書籍20.5%である。宅配や通販（生協やアマゾン等）は生鮮食品が20.0%、日用品が18.4%、書籍や雑誌は52.4%である。
- 外食はお祝い事の時（47.0%/全国平均60.9%）や料理が面倒な時（45.4%/全国平均53.0%）、結婚関係のイベント（9.2%/全国平均24.3%）の利用が全国参考データより低い。このデータだけでは判断できないが、そもそも外食ニーズが全国他地区と比べそれほど高くない可能性がある。
- 日々の活動は「街づくりなど地域活性化活動」が37.8%で最も高く、「地域のお祭りの運営」が32.4%、「環境に関わる活動」が23.8%と続く。
- この1年間に実際やったレジャーより「七尾や近隣でやりたいレジャー活動」の値が高いのは「アウトドア活動（+11.9%）」「ホール等での音楽・演劇・芝居鑑賞（+7.0%）」「スタジアム等でのスポーツ観戦（+4.9%）」「楽器の演奏（+3.8%）」「ヨガ・ストレッチ・ピラティス（3.2%）」「映画館（+2.7%）」（スキー（+0.5%）」である。
- 「七尾らしさ」を感じるのは、「地域のお祭りが盛んであること」が74.6%、「美味しい海産物」66.5%、「有名な温泉や観光資源がある」62.7%、「能登の里海里山/自然」54.6%が半数以上の回答である。
- 地域の情報源は、「北國新聞」72.4%、「七尾ごころ」66.5%、「知人からのSNS」47.0%が上位3つである。
- 通信費の平均は10560円と参考の全国平均データ（6,404円）より1.65倍である。ただしこれは家族（子ども）の利用料を一括で払っているケースの回答が影響していると考えられる。

全体数値の結果より

- 幸福感得点は全国平均（6.6点）より高めの6.8点である。その幸福感の判断基準は、家族関係が最も高く65.9%、家計の状況が59.5%、健康状況が53.5%である。なお、内閣府調査の全国平均は、健康状況が78.6%と最も高く、家計の状況（72.9%）、家族関係（70.2%）の順である。
- 満足度は、「満足している」という回答が15.1%で、内閣府調査の全国平均12.2%と比べると高めであるが、「まあ満足」を含めると、69.2%となり、全国平均の74.7%より低い。
- 七尾市に住み続けたいかは「できる限りずっと住み続けたい」が45.4%、「当分は住んでいたい」が23.2%である。対して、「しばらく住み続けるつもりだが将来は転出をしたい」が12.4%、「七尾市外に移りたいが具体的な計画はない」が5.4%、「近いうちに七尾市外に移る予定がある」が1.1%である。
- 子供がある人に子どもたちに七尾に暮らしてほしいかは、「そう思う」が56.3%、「そうは思わない」が26.4%である。

性別・年齢別にみられる特徴

※年齢は20代と60代以上がそれぞれ10サンプル以下のため参考値としており、本分析では扱っていないことに留意する必要がある。

自動車の運転距離・維持費は男性の方が上である。

- ・マイカーは、運転距離は男性が女性より平均約2,000km長く、維持費は男性が女性より平均約5,200円高い。

市内での生鮮品の買い物は、女性の方がいろいろなお店を使っている。

- ・生鮮食品の買い物場所で、男女で比べて女性が高いのは「市内のショッピングモール」（女性72.2%、男性49.1%）や「その他の商店」（女性32.9%、男性14.2%）である。なお回答が割合が最も高い「スーパー等」は、男女差がほとんどない（女性72.2%、男性69.8%）。
- ・日用品の買い物場所で、男女で比べて男性の回答割合が高いのは「市内コンビニ」（男性18.9%、女性8.9%）や「市内ショッピングセンター」（男性45.3%、女性31.6%）である。

書籍雑誌の買い物は女性は市内の書店を使い、男性はネットを使っている割合が高い。

- ・書籍や雑誌の買い物場所は「市内ショッピングセンター」の割合が女性の方が高い（女性43.0%、男性30.2%）。「アマゾン」と比べると、女性はアマゾン（41.8%）より高いが、男性はアマゾン（46.2%）の方が高い

若年層でアウトドア活動が、中高年層は文化的活動を趣味として挙げている傾向がある。特に若年層は、そのアウトドア・エクササイズ・楽器演奏などの「主体的な活動」を七尾やその近隣でやってみたい。

- ・いまやっているレジャーで男性が高いのは「ゴルフ」「パチンコ・パチスロ」、女性の方が高いのは「ホール等での音楽演劇芝居鑑賞」「美術鑑賞」。（数値はデータ参照）
- ・今やっているレジャーの年齢別ではいくつかのパターンがある。
（30代>40代>50代）
「アウトドア活動」（30代38.3%、40代31.7%、50代18.4%）
「外食」（30代83.0%、40代80.5%、50代65.8%）
「花火大会」（30代48.9%、40代43.9%、50代26.3%）
「ゲームセンター」（30代23.4%、40代14.6%、50代5.3%）
（30代<40代<50代）
「ホール等での鑑賞」（30代14.9%、40代34.1%、50代36.8%）
「映画館での鑑賞」（30代25.5%、40代45.1%、50代57.9%）
「美術鑑賞」（30代10.6%、40代23.2%、50代38.6%）
- ・今後近隣でやりたいレジャーで男性が高いのは「スタジアム等でのスポーツ観戦」「ゴルフ」、女性の方が高いのは「温泉浴」「外食」「映画館での映画鑑賞」「美術鑑賞」「ヨガ等」である。
- ・今後近隣でやりたいレジャーは、若年層の方が高いジャンルが今やっているものとやや異なる、「自らが活動するもの」が高い。
（30代>40代>50代）
「アウトドア活動」（30代55.3%、40代38.6%、50代31.6%）
「ジム等でのエクササイズ」（30代25.5%、40代14.6%、50代13.2%）
「楽器演奏」（30代23.4%、40代13.4%、50代2.6%）

日々の地域活動は、地域活性化やお祭りの運営、環境活動、地域の安全活動について特に男性が関与している割合が高い。

- ・日々の地域活動は、男性の回答割合が高いのは「街づくりなどの地域活性化」（男性50.0%、女性21.5%）「地域のお祭りの運営」（男性49.1%、女性10.1%）、「環境に関わる活動」（男性31.3%、女性13.9%）、「地域の安全活動」（男性22.6%、女性3.8%）。

女性は習い事や文化的なサークル活動で男性より値が高いが、「活動は行っていない」という回答が4割に上った。

- ・女性の回答割合が高いのは、「習いごとや文化的なサークル活動」（女性26.6%、男性8.5%）、「特に活動は行っていない」（女性40.5%、男性14.2%）である。

メディアについては、男性の方がニュース系を好み、女性の方が高いのはフリーペーパー等無料で手に入る情報を手に取っている。

- ・メディアについては、男性の方が高いのはヤフーニュース等WEBニュース（男性36.8%、女性21.5%）、ヤフー防災の通知（男性13.2%、女性1.3%）などWEB系と北國新聞（男性79.2%、女性63.3%）、女性の方が高いのが「ZOUN」（女性50.6%、男性26.4%）やFavo（女性13.9%、男性3.8%）などフリーペーパー系である。

若年層の七尾らしさは「温泉と食」、一方で中高年層にとっては「伝統工芸や歴史」という傾向がみられる。

- ・七尾らしさは、性別ではあまり差がみられないが年齢別では差がみられた。
(30代>40代>50代)
- ・温泉等の観光資源がある（30代66.6%、40代62.2%、50代47.4%）
- ・美味しい海産物（30代74.5%、40代69.5%、50代50.0%）
(30代<40代<50代)
- ・地域の伝統工芸品（30代10.6%、40代23.2%、50代23.7%）
- ・歴史的な遺産や著名人（30代4.3%、40代15.9%、50代34.2%）

幸福感得点は女性の方が高め。

- ・幸福感得点は、平均が男性6.6点に対して7.0点、8点以上の割合が男性が35.8%に対し53.2%と女性の方が高めである。

幸福感の判断において、男性は「社会との関係」を重視し、女性は「近しい関係」を重視している。

- ・幸福感の判断は、男性の方が高いのが「仕事のやりがい」（男性50.9%、女性36.7%）「地域コミュニティとの関係」（男性35.8%、女性25.3%）「社会貢献」（27.4%、女性13.9%）であり、女性の方が高いのは「友人関係」（女性48.1%、男性34.9%）「家族関係」（女性70.9%、男性62.3%）である。

子を持つ親でも、特に父親の方が「子供に将来七尾で暮らしてほしい」と思っている。

- ・子どもがいる人に、子どもたちに七尾で暮らしてほしいと思うというのは男性は66.7%に対して女性は39.4%と低い。

ターンの有無にみる特徴

調査に当たっては、次の文章を提示して次の4つの選択肢から回答を得た。

Ｕターンとは、生まれ育った故郷（七尾）から進学や就職を機に市外に移住した後、再び生まれ育った故郷（七尾）に戻ることに
Ｊターンとは、生まれ育った故郷（能登地方）から進学や就職を機に能登圏外に移住した後、故郷にほど近い街（七尾）に戻ることに
Ｉターンとは、就職や転職を機に、自身の故郷にはない要素を求めて地方（七尾）に移住すること

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. Ｕターンである | 2. Ｊターンである | ⇒ Ｕ・Ｊターン |
| 3. Ｉターンである | | ⇒ Ｉターン |
| 4. どれにも当てはまらない | | ⇒ ノーターン |

※ここでは、ＵターンとＪターンを「能登出身者が七尾に戻ってきた」ととらえ、同じグループで分析した。またこのいずれかにも当てはまらない人を「ノーターン」と称して分析した。

自動車の運転距離・維持費はＩターンの値が高い。

- ・マイカーは、運転距離はＩターン10,333km、Ｕ・Ｊターン9,256kmとノーターンの7,575kmより長く、維持費もＩターン18,438円、Ｕ・Ｊターン16,139円と、ノーターンの14,813円より高い。

買い物にネット通販や宅配を活用するＩターン。

- ・生鮮食料品の買い物は、市内のショッピングモールが、ノーターンが68.1%、Ｕ・Ｊターンが57.6%であるの対し、Ｉターンが37.5%と低い。逆にＩターンが他と比べて高いのは、「生協の宅配」（Ｉターン25.0%、Ｕ・Ｊターン14.1%、ノーターン11.6%）、「ネット通販」（Ｉターン12.5%、Ｕ・Ｊターン1.1%、ノーターン2.9%）と宅配系である。

- ・日用品の買い物は、市内のスーパー等が、Ｕ・Ｊターンが55.4%、ノーターンが65.2%であるの対し、Ｉターンが79.2%と高い。また「ネット通販」もＩターン20.8%、Ｕ・Ｊターン14.1%、ノーターン7.2%と差がある。

市内で書籍や雑誌をあまり買わないＩターン、書店で買う場合は、市外のショッピングセンター、それよりもアマゾンで買う。

- ・本や雑誌の買い物は、市内の個人商店や市内のスーパー・コンビニはＩターンの値が低い。（個人商店はＵ・Ｊターン31.5%、ノーターン37.7%に対しＩターン8.3%。市内のスーパー・コンビニはＵ・Ｊターン18.5%、ノーターン30.4%に対しＩターン8.3%。）
- ・Ｉターンは逆に市外のショッピングセンターの値が高い。（Ｕ・Ｊターン13.0%、ノーターン17.4%に対し、Ｉターン29.2%）。
- ・アマゾンやアマゾン以外のネット通販はノーターンの値が低い。（アマゾンはＩターン54.2%、Ｕ・Ｊターン50.0%に対しノーターン33.3%、アマゾン以外のネット通販はＩターン33.3%、Ｕ・Ｊターン22.8%に対しノーターン2.9%。）

Ｉターンは「料理が面倒だから外食をする」人の割合が他のグループより低い。

- ・「料理を作るのが面倒な時」の割合が、Ｕ・Ｊターン48.9%、ノーターン44.9%に比べＩターンは33.3%と低い。
- ・また、外食の理由として、「外食を楽しみたい時」はＵ・Ｊターンが62.0%とＩターン75.0%、ノーターン76.8%と比べて低い。

日々の地域活動は、「地域活性化」は移住者の割合が高い。一方で「安全活動」や「お祭りの運営」はIターンの割合が低い。

≪IターンとU・Jターンが高い≫

地域活性化活動

…Iターン（50.0%）U・Jターン（44.6%）＞ノーターン（24.6%）

≪Iターンが高い≫

文化的なサークル活動

…Iターン（25.0%）＞ノーターン（15.9%）U・Jターン（14.1%）

スポーツチーム

…Iターン（20.8%）＞ノーターン（11.6%）U・Jターン（8.7%）

≪Iターンが低い≫

地域の安全活動

…ノーターン（17.4%）U・Jターン（15.2%）＞Iターン（4.2%）

お祭りの運営

…U・Jターン（38.0%）＞ノーターン（29.0%）＞Iターン（20.8%）

今後やりたいレジャー活動は、Iターンは「アウトドア」、移住者（U・Jターン）は「ホール等の音楽鑑賞」が、他のグループと比べて高くなっている。

≪Iターンが高い≫

アウトドア活動

…Iターン（70.6%）＞ノーターン（36.2%）U・Jターン（38.0%）

スキー

…Iターン（25.0%）＞ノーターン（8.7%）U・Jターン（9.8%）

ゲームセンター

…Iターン（12.5%）＞ノーターン（4.3%）U・Jターン（1.1%）

≪IターンとU・Jターンが高い≫

ホール等での音楽演劇芝居鑑賞

…Iターン（41.7%）U・Jターン（40.2%）＞ノーターン（29.0%）

Iターンは「新聞」やフリーペーパーのチェック率が低く、回覧板で地域の情報を得ている。

北國新聞（U・Jターン75.0%、ノーターン73.9%に対しIターン58.3%）、ZOUN（ノーターン44.9%、U・Jターン35.9%に対しIターン16.7%）とIターンが低い。一方で、回覧板はノーターン15.9%、U・Jターン29.3%に対しIターンが45.8%と高い。

U・Jターンは幸福感得点の平均が高く、現在の暮らしに満足している人の割合も高い。

幸福感得点は全体平均6.8点に対して、U・Jターンは7.1点、逆にノーターンは6.3点である。（Iターンは6.8点）。また、現在の暮らしの満足度については、満足系の選択肢の合計は、全体が69.2%に対して、U・Jターンは77.2%である。（Iターンが62.5%、ノーターンが60.9%）

U・Jターンは七尾に暮らしたいと回答した割合や子供に将来暮らしてもらいたいという回答が、他の層より高い。

住み続けたいと当分は住んでいたいとの和でみると、U・Jターンは77.2%。ノーターンの65.2%、Iターンの45.9%より高い。また、子どもに大きくなった時七尾で暮らしてほしいかは、U・Jターンは64.1%、Iターンが54.5%、ノーターンは48.6%である。

働き方の違いにみる特徴

分析にあたっては、

・社員としていわゆるフルタイムで働いている	} 会社に所属
・パート・アルバイト等日時を決めて働いている	
・自営業・自由業・業務委託として仕事に働いている （自営の農業や漁師も含む）	} シゴト単位で働く
という軸を設定した。	

自動車の運転距離・維持費はシゴト単位で働いている人の値が高い。

- ・マイカーは、運転距離はシゴト単位で働く人が10,025kmと会社に所属の8,339kmより長く、維持費もシゴト単位で働くが16,917円と、会社に所属の15,804円より高い。

買い物では、シゴト単位で働く人はアマゾンで書籍や雑誌を買う人の割合が高い。

- ・食料品や日用品には大きな差はみられなかったが、アマゾンの利用が会社に所属する人が38.5%であるのに対し、シゴト単位で働いている人は、60.7%であった。

日々の地域活動は、シゴト単位で働く人は「地域活性化」「環境に関わる活動」「安全にかかわる活動」で会社に所属する人に比べて高い。

地域活性化活動

…シゴト単位で働く（60.7%）＞会社に所属（27.4%）

環境に関わる活動

…シゴト単位で働く（37.7%）＞会社に所属（17.9%）

安全にかかわる活動

…シゴト単位で働く（21.3%）＞会社に所属（12.0%）

地域の情報収集にSNSを活用している割合がシゴト単位で働く人は高い。

- ・友人知人のSNSが会社に所属41.0%に対してシゴト単位で働く60.7%、企業団体のSNSは会社に所属15.4%に対しシゴト単位で働く27.9%である。

シゴト単位で働く人は幸福感の平均点や現在の生活に満足と答えた人の割合が高い。

- ・満足度の平均点はシゴト単位で働く人は7.2点。また現在の生活に満足している人はまあ満足していると合わせて、78.7%である。

幸福感の判断で重視したポイントのうち、「仕事のやりがい」「地域コミュニティとの関係」「社会貢献」が会社に所属している人とくらべて大きくプラスに差がある。逆に、職場の人間関係はマイナスに差がある。

仕事のやりがい

…シゴト単位で働く（60.7%）＞会社に所属（38.5%）

地域コミュニティとの関係

…シゴト単位で働く（47.5%）＞会社に所属（24.8%）

社会貢献

…シゴト単位で働く（31.1%）＞会社に所属（17.1%）

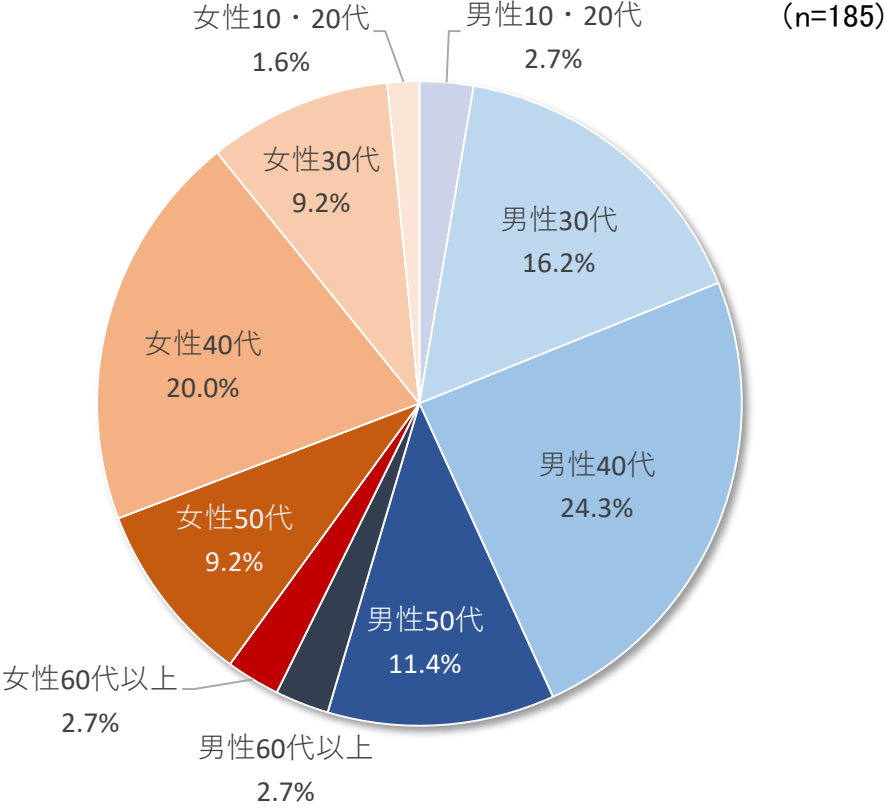
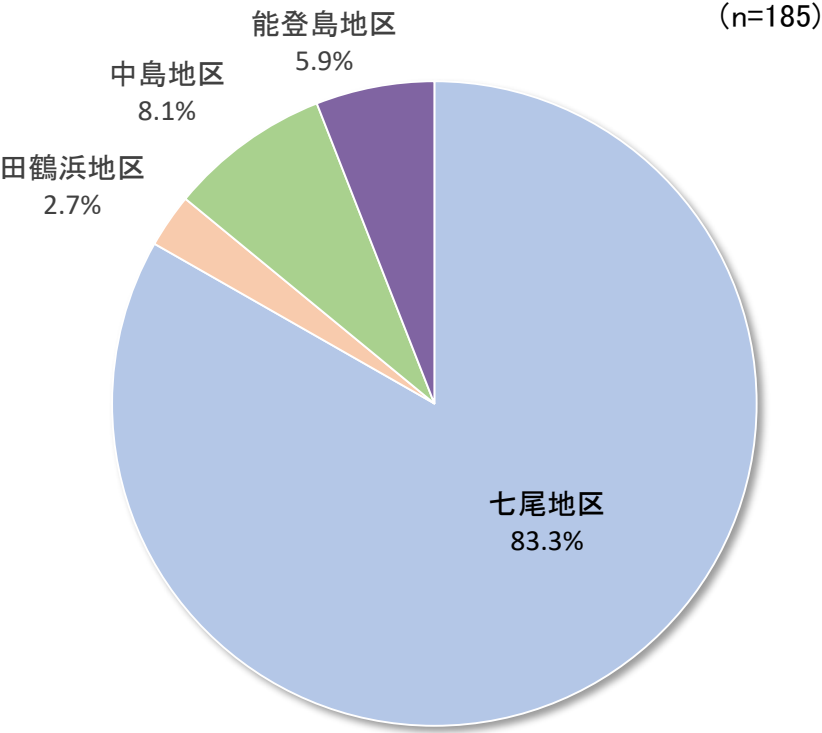
第 2 節 調查結果

問：あなたのお住まいの地区をお答えください。

七尾地区が83.3%、中島地区が8.1%、能登島地区が5.9%、田鶴浜地区が2.7%である。

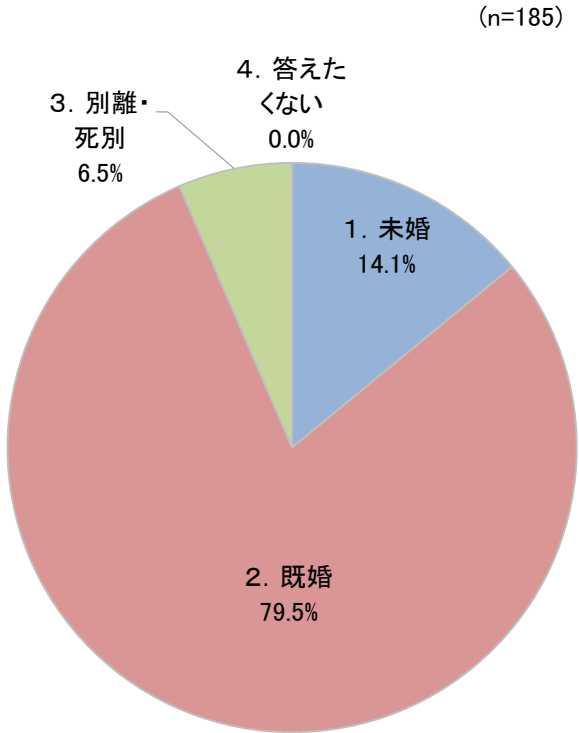
問：性・年齢をお答えください。

男性40代が24.3%で最も多く、以下女性40代20.0%男性30代16.2%、男性50代11.4%と続く。
男女比は男性57.3%、女性42.7%である。
平均年齢は、44.2歳、男性が43.7歳、女性が45.0歳である。



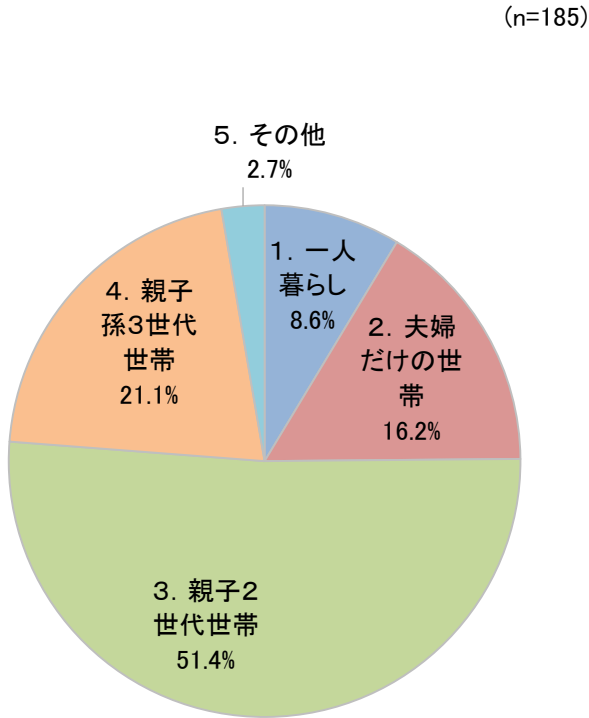
問：あなたは結婚していますか。

既婚が79.5%、別離・死別が6.5%で、結婚したことがある人が86.0%。結婚していない人は14.1%である。



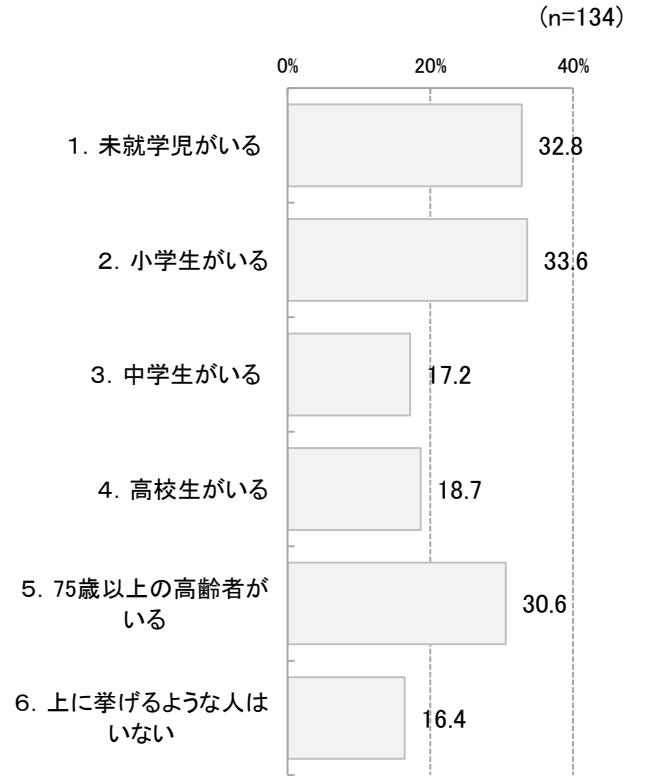
問：あなたはどのような世帯構成ですか。

親子2世代世帯が最も多く51.4%、親子孫3世代世帯が21.1%、夫婦だけの世帯が16.2%、一人暮らしが8.6%である。



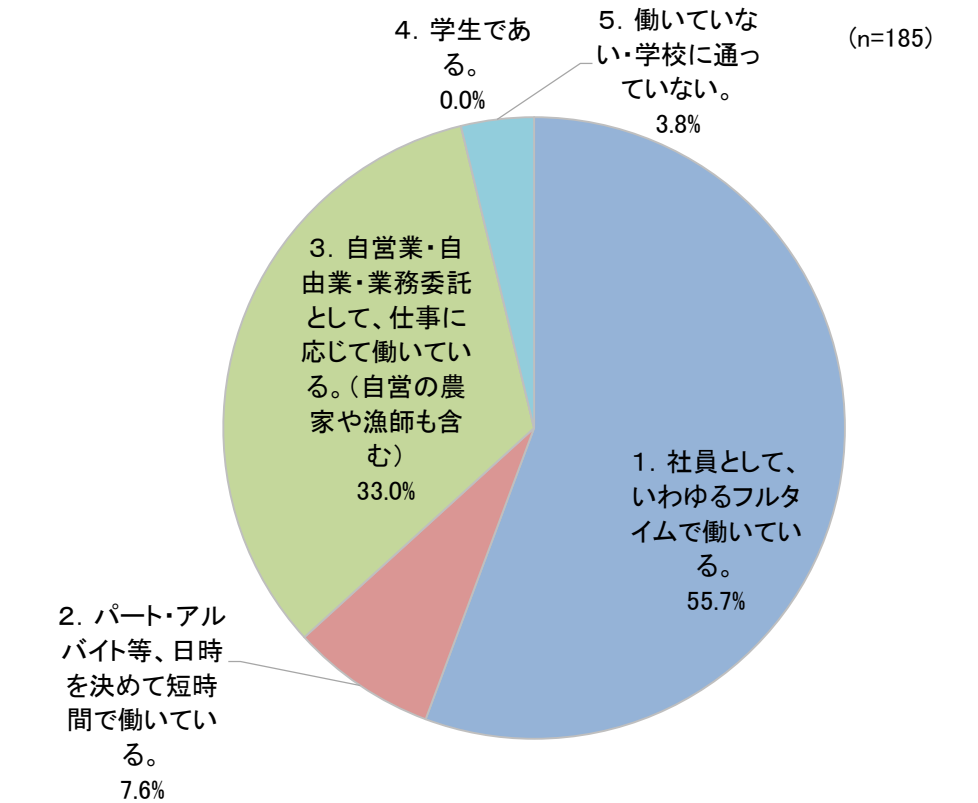
問：（親子二世帯世帯・親子孫3世代世帯に）次に挙げる人と一緒に暮らしていますか。

小学生がいる人が33.6%、未就学児がいる人が32.3%、75歳以上の高齢者がいる人は30.6%である。



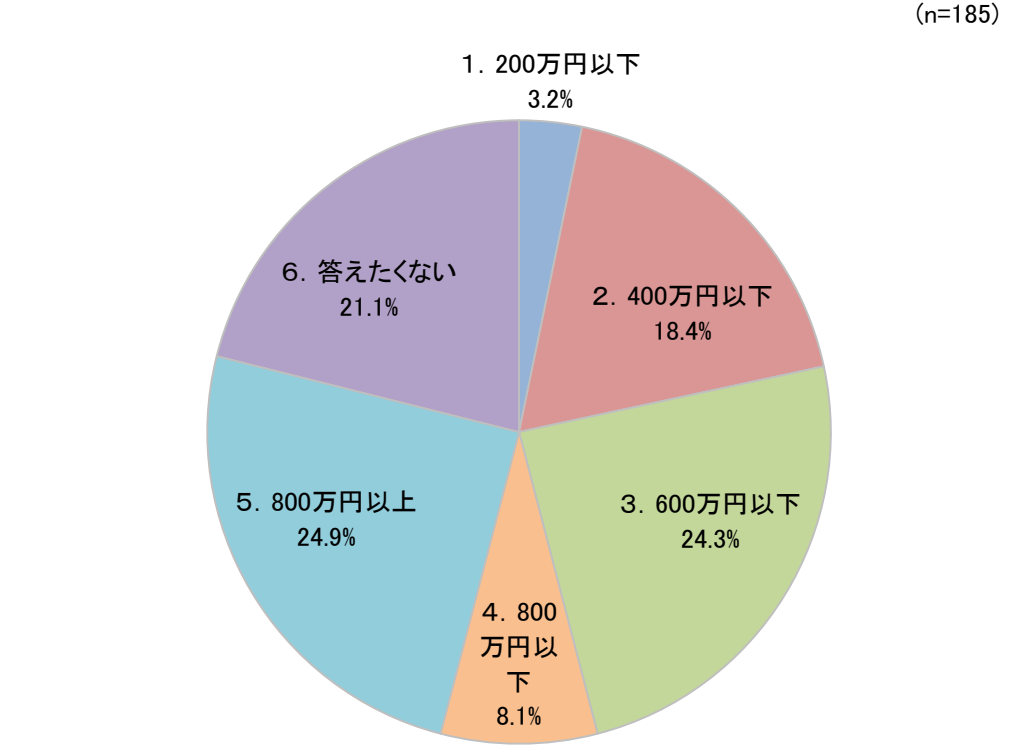
問：あなたの就業状況を教えてください。
複数の仕事をしている場合は、最も長い期間のものを選んでください。

社員として働いている人が55.7%、パート・アルバイトで働いている人が7.6%、3分の2の人が何かしら企業に所属して働いている。自営や自由業の人は33.0%、働いていない人が3.8%である。



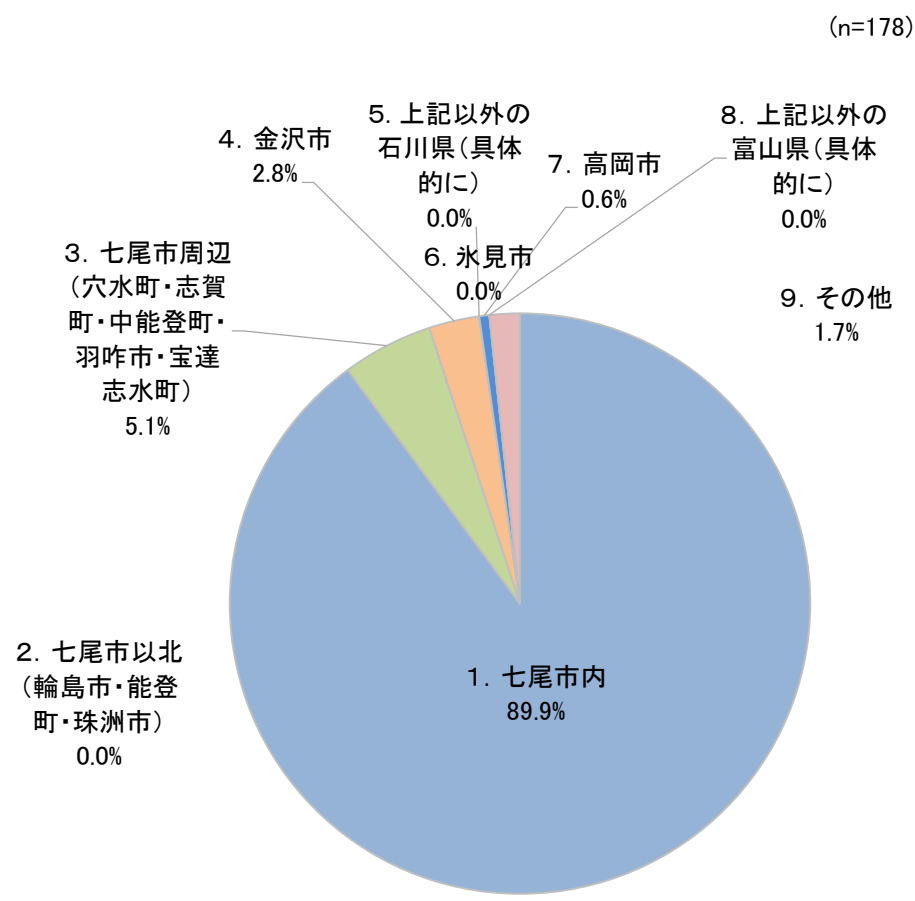
問：あなたの世帯年収をお聞かせください。
※わからない方はおよその世帯年収をお答えください。

400~600万円が24.3%、800万円以上が24.9%とそれぞれ4分の1を占める。次いで200万円から400万円が18.4%である。世帯年収を答えてくれた方の平均額は、約580万円である。



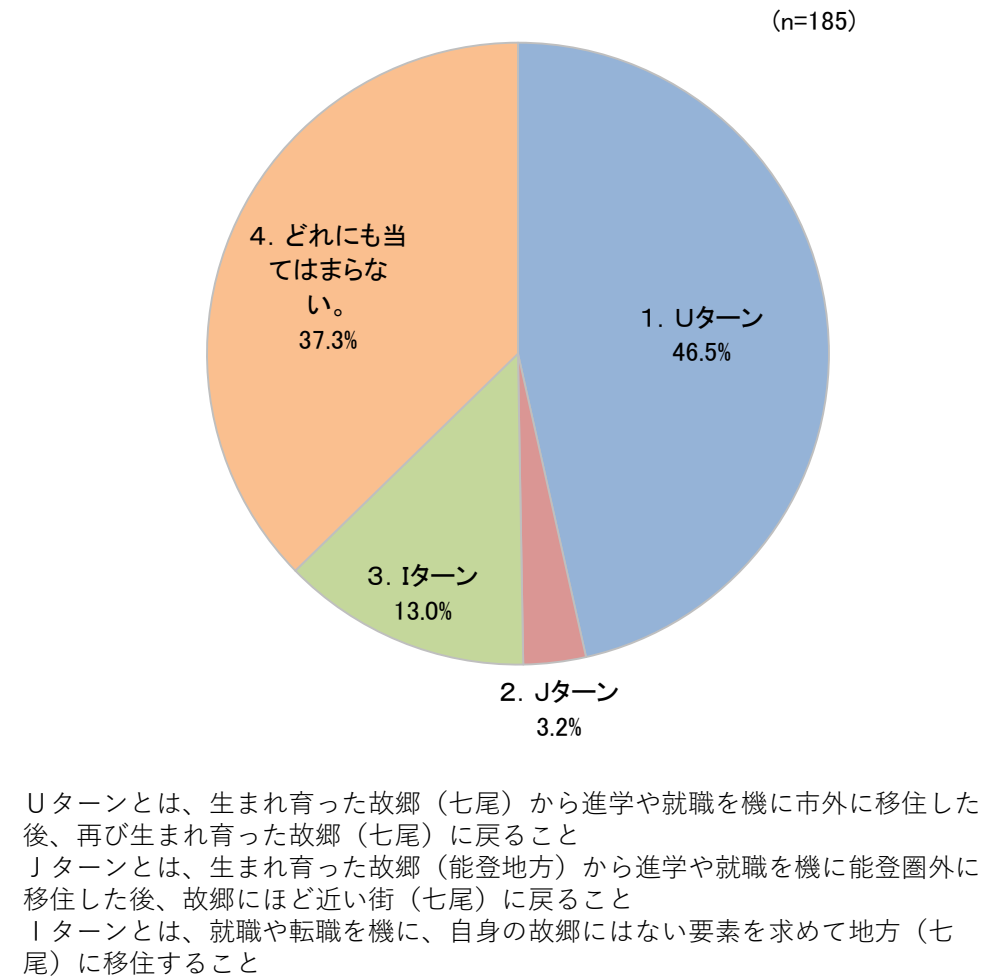
Q6.あなたは今どちらで働いていますか。学生の方は学校に通っていますか。

働いていると回答した人（178人）の結果では、七尾市内で働いている人が89.9%と 9 割近くを占めている。七尾市周辺が5.1%、金沢市が2.8%、高岡市が0.6%である。
なお、回答者のうち学生はいないため、この結果は働いている場所のことである。



Q7.あなたは、UターンやJターン、Iターンですか。

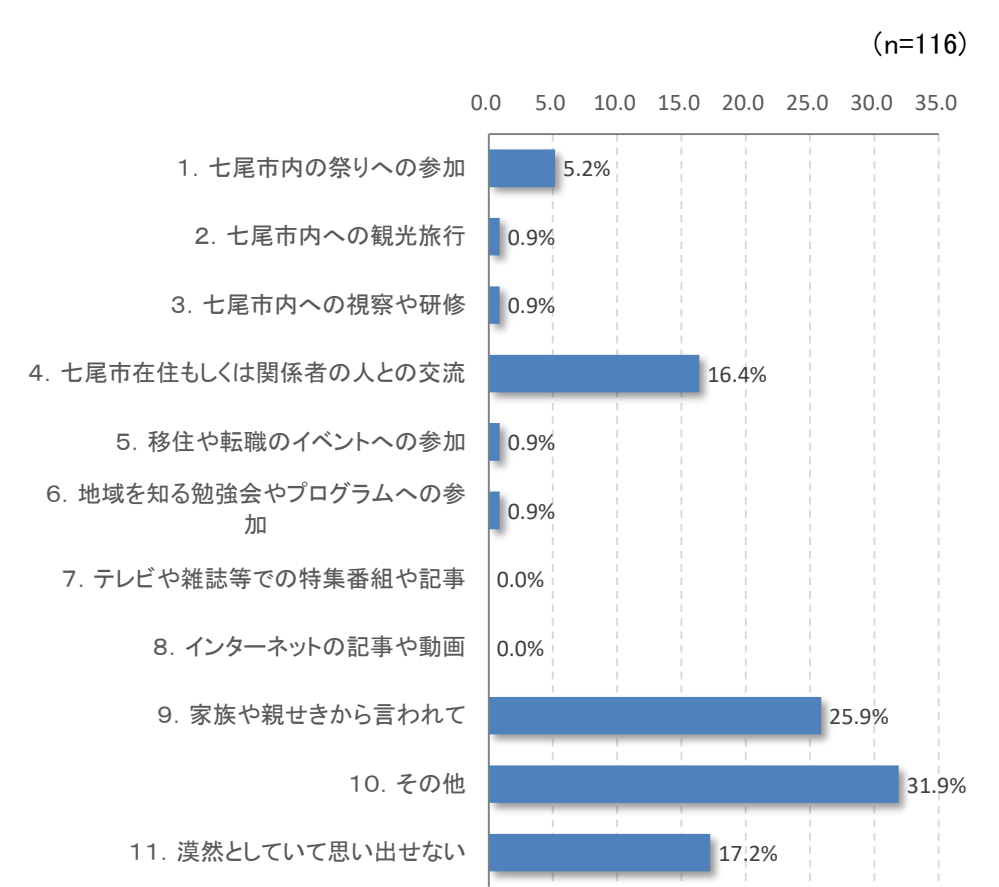
Uターンが46.5%、Iターンが13.0%、Jターンが3.2%である。どれにも当てはまらない（移住者ではない）人が37.3%である。
（※なおUターン、Iターン、Jターンについては、以下の説明文章を調査画面に示したものを読んで回答をしている。）



	Uターン	Jターン	Iターン	どれにも当てはまらない。
全体(185)	46.5	3.2	13.0	37.3
男性(106)	52.8	3.8	15.1	28.3
女性(79)	38.0	2.5	10.1	49.4
20代(8)	25.0	25.0	50.0	0.0
30代(47)	42.6	0.0	23.4	34.0
40代(82)	46.3	3.7	9.8	40.2
50代(38)	52.6	2.6	2.6	42.1
60代以上(10)	60.0	0.0	0.0	40.0
会社に所属(117)	45.3	2.6	10.3	41.9
シゴト単位で働く（61）	50.8	4.9	19.7	24.6

Q8.あなたが七尾市への移住を考え始めた最初のきっかけは何ですか。

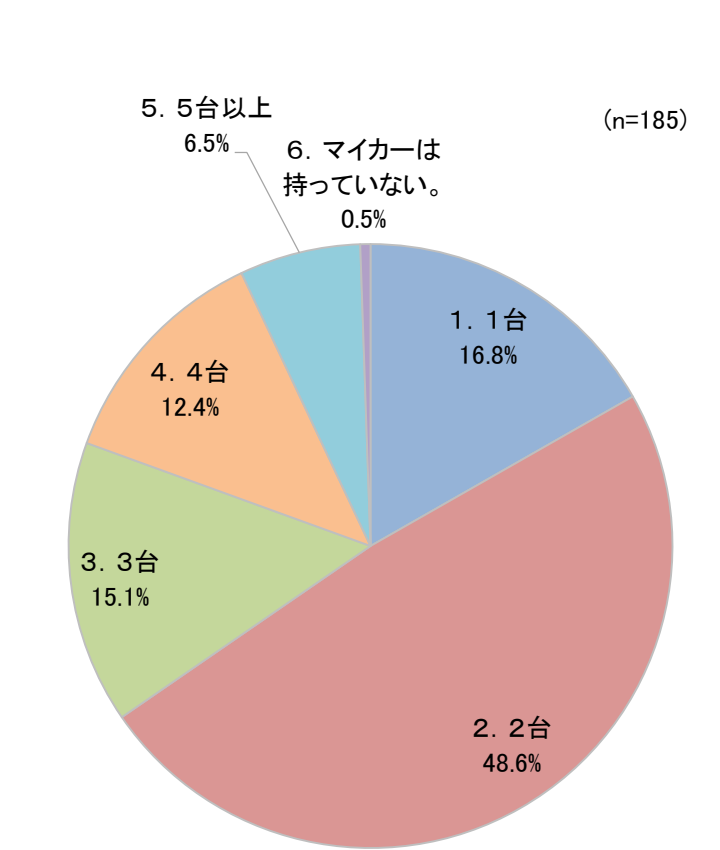
家族や親せきから言われてが25.9%、七尾市在住もしくは関係者の人との交流が16.4%、七尾市内の祭りへの参加が5.2%である。ただ、その他が31.9%、漠然としていて思い出せないが17.2%である。



	参加 七尾市内の祭りへの	行 七尾市内への観光旅	研修 七尾市内への視察や	七尾市在住もしくは 関係者の人との交流	移住や転職のイベン トへの参加	地域を知る勉強会や プログラムへの参加	特 集 番 組 や 記 事	テ レ ビ や 雑 誌 等 で の	事 や 動 画	イン ター ネ ット の 記	わ れ て	家 族 や 親 せ き か ら 言	そ の 他	出 せ な い	漠 然 と し て い て 思 い
全体(116)	5.2	0.9	0.9	16.4	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	25.9	31.9	17.2			
男性(76)	6.6	0.0	1.3	14.5	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	28.9	30.3	15.8			
女性(40)	2.5	2.5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	35.0	20.0			
20代(8)	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5			
30代(31)	6.5	3.2	3.2	12.9	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	19.4	41.9	9.7			
40代(49)	6.1	0.0	0.0	18.4	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.6	30.6	12.2			
50代(22)	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	31.8	31.8			
60代以上 (6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0			
U・J ターン (92)	6.5	0.0	0.0	15.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	31.5	23.9	21.7			
I ターン(24)	0.0	4.2	4.2	20.8	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	62.5	0.0			
会社に所属 (68)	5.9	0.0	0.0	16.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	27.9	30.9	17.6			
シゴト単位で 働く (46)	4.3	2.2	2.2	15.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	21.7	34.8	17.4			

Q9.あなたの家に自家用車（以下「マイカー」）はありますか。軽トラックも含めてください。

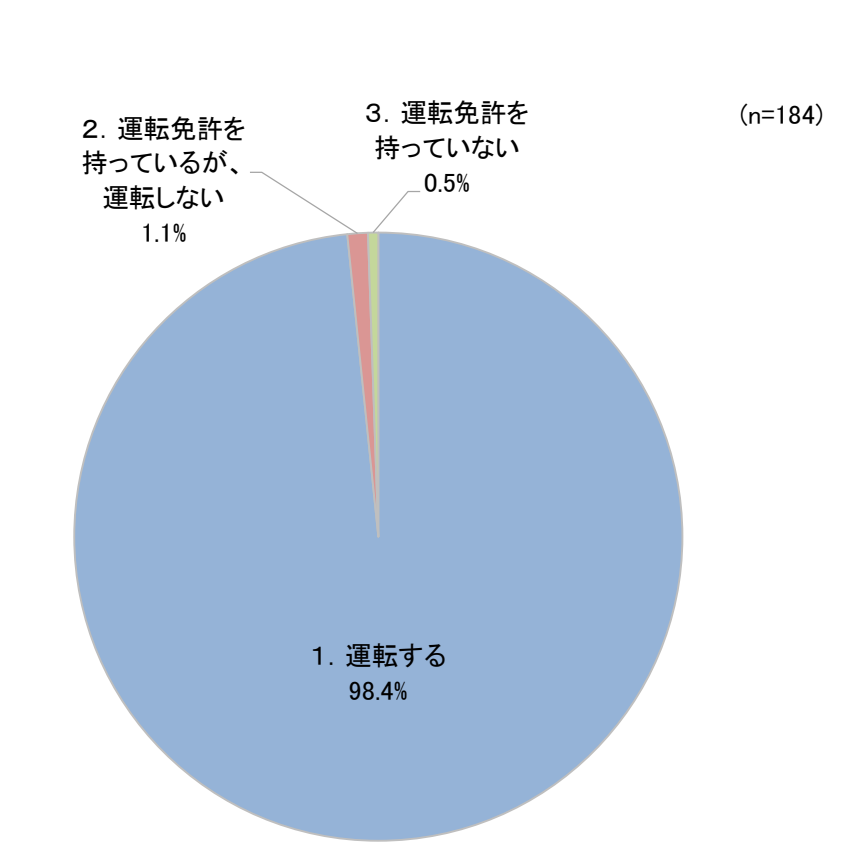
2 台が48.6%、1 台が16.8%、3 台が15.1%の順である。
（5 台以上を5、持っていないを0とした時の）平均台数は2.4台である。



	平均台数
全体(185)	2.4
男性(106)	2.5
女性(79)	2.3
20代(8)	2.5
30代(47)	2.6
40代(82)	2.4
50代(38)	2.3
60代以上(10)	1.8
U・J ターン(92)	2.5
I ターン(24)	2.3
ノーターン(69)	2.3
会社に所属(117)	2.4
シゴト単位で働く (61)	2.4

Q10.あなたはマイカーを運転しますか。運転免許の有無を含めてお答えください。

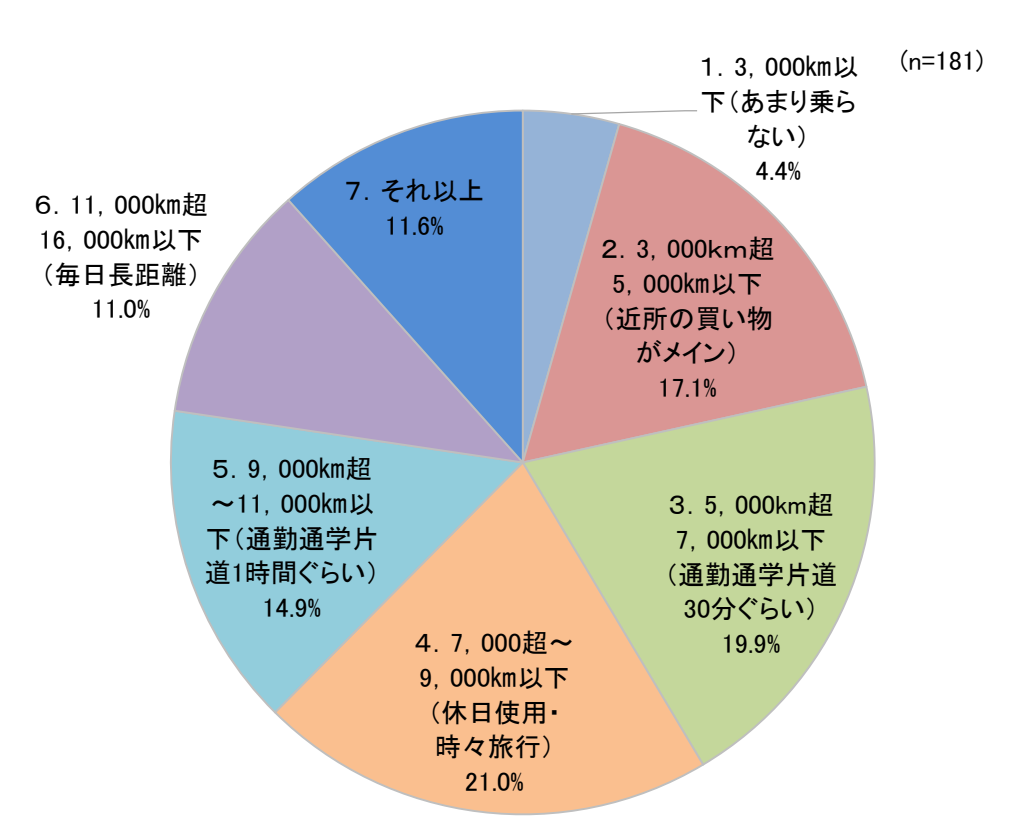
マイカーを持っている回答者の98.4%が運転をする。運転免許を持っているが運転しない人が1.1%、運転免許を持っていない人が0.5%である。



※参考：市内の車両数は平成29年3月末現在46,366台
（営業用等含む『七尾市統計書』より）

Q11.あなたはマイカーに1年間でどのくらい乗っていますか。次の中で当てはまるものに近いものを選んでください。

年間に7,000～9,000kmの人が最も多く21.0%、5,000～7,000kmが19.9%、3,000～5,000kmが17.1%、9,000～11,000kmが14.9%の順である。平均は8,776kmである。Iターンの平均が10,333km、U・Jターンの平均が9,256kmと全体平均より長い。また、男性の方が全体平均より長い。参考の全国平均データと比べると、全体の平均距離で1.38倍である。また今回の調査の方が、5,000km以下と回答した割合は22ポイント低く、11,000km以上と回答した割合は15ポイント高い。

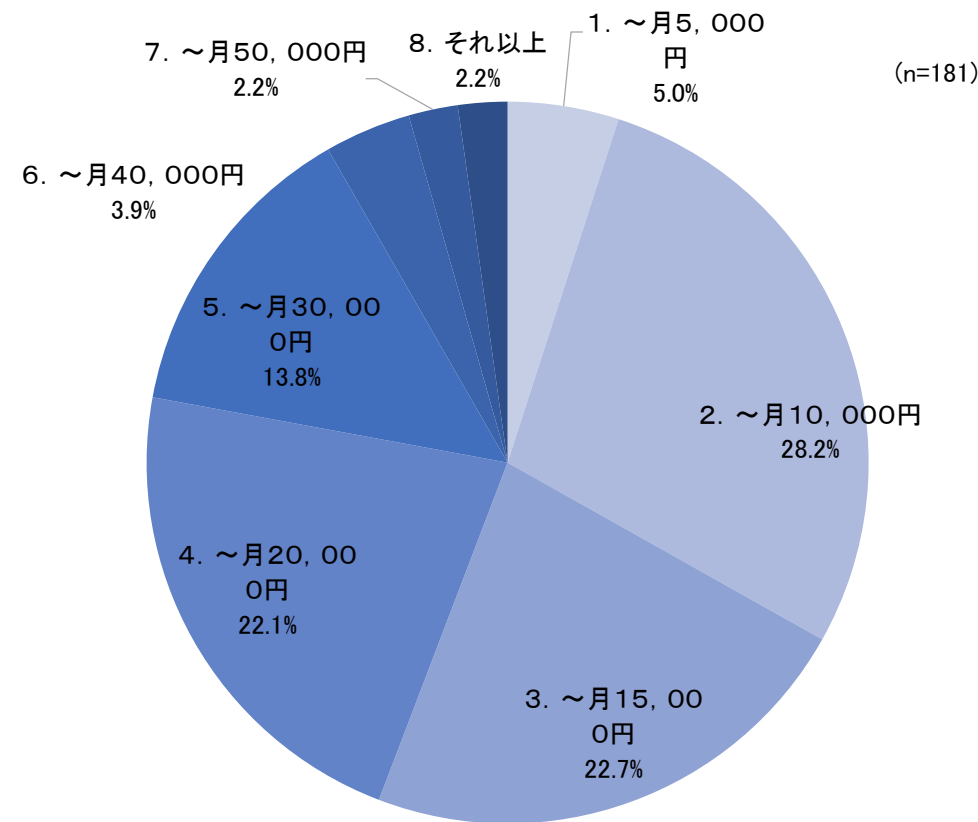


ソニー損保の調査（2018年12月）によると、全国平均は6,361km（男性6,981km、女性5,741km）である。
https://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2018/12/20181203_01.html?fbclid=IwAR16lYK6u8eVSpfbvxvJiMZDTHvydxJiX3nMEyUrVzUhxNT6hmjAfHPawkaQ

	年間走行距離の平均 (km)	5,000km以下と回答した割合 (%)	11,000km以上のと回答した割合 (%)
全体(181)	8,776	21.5	22.7
男性(105)	9,610	16.2	28.6
女性(76)	7,625	28.9	14.5
20代(8)	8,625	12.5	25.0
30代(46)	8,772	17.4	19.6
40代(82)	9,098	23.2	26.8
50代(36)	8,778	19.4	22.2
60代以上(9)	6,000	44.4	0.0
U・Jターン(90)	9,256	21.1	26.7
Iターン(24)	10,333	4.2	33.3
ノーターン(67)	7,575	28.4	13.4
会社に所属(117)	8,339	21.7	17.7
シゴト単位で働く(61)	10,025	15.0	35.0
ソニー損保調べ 全国平均	6,361	43.0	7.0

Q12.あなたが一番よく使うマイカーの1カ月当たりの維持費(※)はどのくらいですか。(複数台お持ちの方はご自身が一番よく使う自動車でお答えください。)※維持費は、ガソリン代・燃料代、駐車場代、保険料、修理代の合計お答えください。税金、ローンの返済、高速道路や有料道路の通行料は除きます。

5千円～1万円が28.2%、1万円～1万5千円が22.7%、1万5千円～2万円が22.1%である。全体平均は、15,953円である。
Iターンの平均が18,433円、U・Jターンの平均が16,139円と全体平均より高い。また、男性の方が全体平均より高い。
参考の全国平均データと比べると、平均金額で1.28倍である。また、1万円以下と回答した割合は18ポイント低く、3万円以上と回答した割合は2.5ポイント高い。

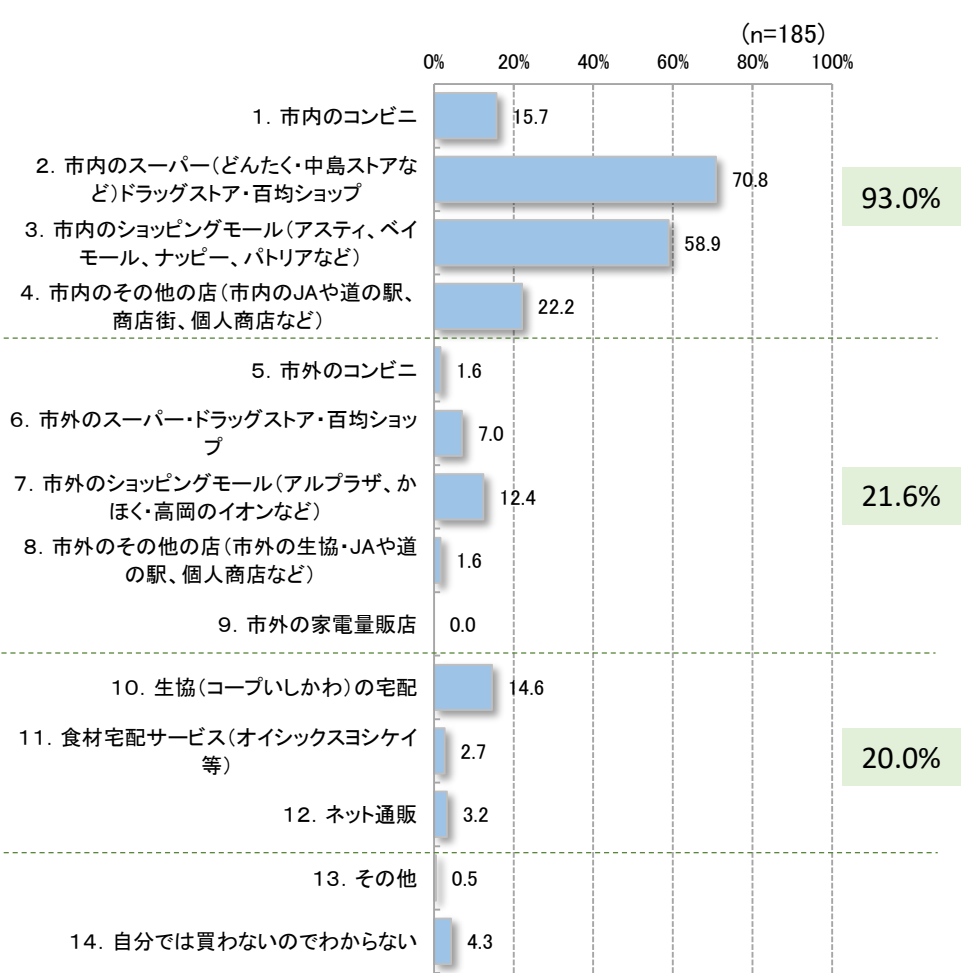


ソニー損保の調査(2018年12月)によると、全国平均は12,400円である。
https://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2018/12/20181203_01.html?fbclid=IwAR16lYK6u8eVSpfbxvJiMZDTHvdydXjIX3nMEyUrVzUhxNT6hmjAfHPawkaQ

	平均金額(円)	1万円未満と回答した割合(%)	3万円と回答した割合(%)
全体(181)	15,953	33.1	8.3
男性(105)	18,119	25.7	13.3
女性(76)	12,961	43.4	1.3
20代(8)	13,750	75.0	12.5
30代(46)	15,598	28.3	6.5
40代(82)	15,854	30.5	7.3
50代(36)	16,736	33.3	11.1
60代以上(9)	17,500	44.4	11.1
U・Jターン(90)	16,139	32.2	11.1
Iターン(24)	18,438	33.3	12.5
ノーターン(67)	14,813	34.3	3.0
会社に所属(117)	15,804	32.2	7.0
シゴト単位で働く(61)	16,917	31.7	11.7
ソニー損保調べ全国平均	12,400	51.2	5.8

Q13.あなたは次にあげる買い物を普段どこですることが多いですか。それぞれ多い順に3つまでお答えください。
A:生鮮食料品（肉・魚・野菜・卵・牛乳・パンなど）

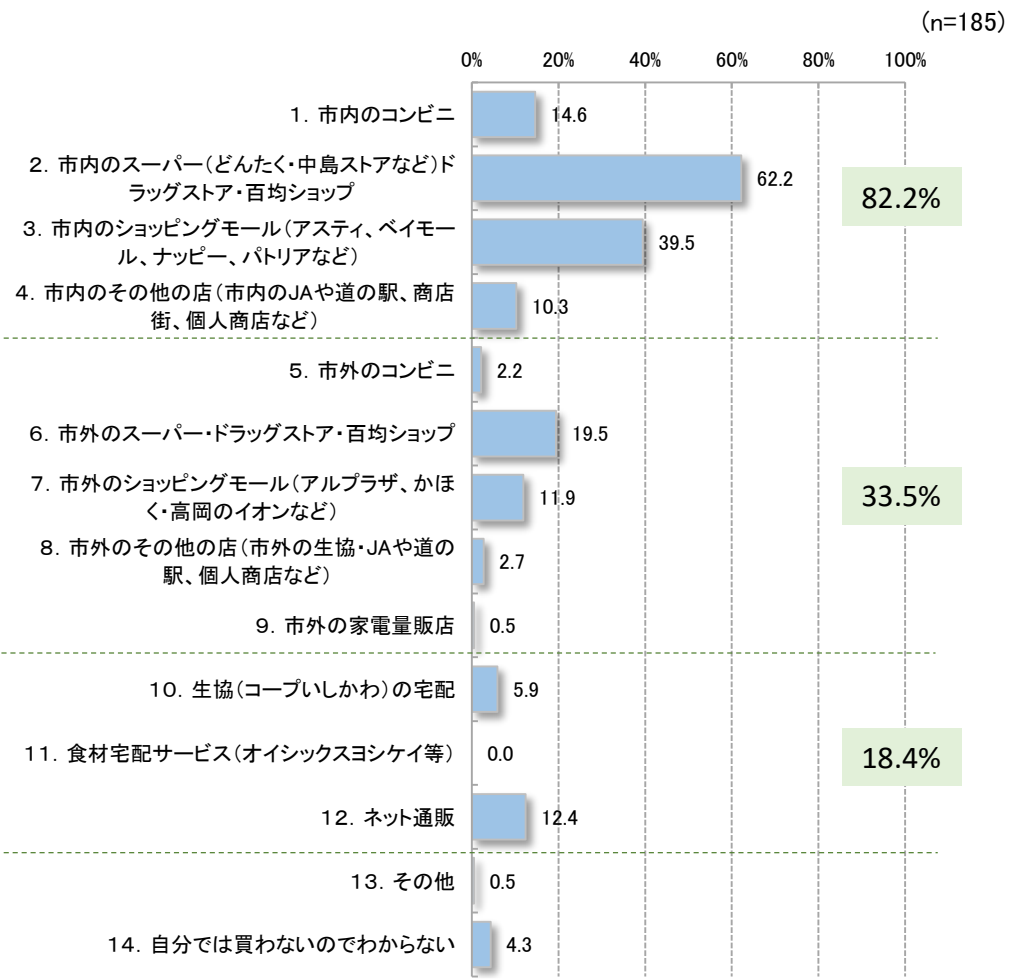
市内のスーパー（70.8%）・ショッピングモール（58.9%）・各種お店（22.2%）で購入している人が多い。市外では、ショッピングモールで買い物している人が12.4%、コープいしかわの宅配を利用している人が14.6%である。市内・市外・宅配で括ると、市内が93.0%、市外が21.6%。宅配が20.0%である。女性は市内ショッピングモールやその他の店の値が男性と比べて高めである。また。Iターンの人で、コープの宅配やネット通販などを使っている割合が高い。



	市内のコンビニ	市内のスーパー・ドラッグストア・百均ショップ	市内のショッピングモール	市内のその他の店	市外のコンビニ	市外のスーパー・ドラッグストア・百均ショップ	市外のショッピングモール	市外のその他の店	市外の家電量販店	生協（コープいしかわ）の宅配	食材宅配サービス	ネット通販	その他	自分では買わないのでわからない
全体 (185)	15.7	70.8	58.9	22.2	1.6	7.0	12.4	1.6	0.0	14.6	2.7	3.2	0.5	4.3
男性 (106)	17.0	69.8	49.1	14.2	1.9	9.4	14.2	0.9	0.0	11.3	0.9	3.8	0.0	6.6
女性 (79)	13.9	72.2	72.2	32.9	1.3	3.8	10.1	2.5	0.0	19.0	5.1	2.5	1.3	1.3
20代 (8)	14.1	68.5	57.6	23.9	1.1	7.6	14.1	2.2	0.0	14.1	3.3	1.1	0.0	6.5
30代 (47)	12.5	83.3	37.5	16.7	0.0	4.2	12.5	4.2	0.0	25.0	4.2	12.5	4.2	4.2
40代 (82)	18.8	69.6	68.1	21.7	2.9	7.2	10.1	0.0	0.0	11.6	1.4	2.9	0.0	1.4
50代 (38)	14.1	68.5	57.6	23.9	1.1	7.6	14.1	2.2	0.0	14.1	3.3	1.1	0.0	6.5
60代以上 (10)	12.5	83.3	37.5	16.7	0.0	4.2	12.5	4.2	0.0	25.0	4.2	12.5	4.2	4.2
U・Jターン (92)	14.1	68.5	57.6	23.9	1.1	7.6	14.1	2.2	0.0	14.1	3.3	1.1	0.0	6.5
Iターン (24)	12.5	83.3	37.5	16.7	0.0	4.2	12.5	4.2	0.0	25.0	4.2	12.5	4.2	4.2
ノーターン (69)	18.8	69.6	68.1	21.7	2.9	7.2	10.1	0.0	0.0	11.6	1.4	2.9	0.0	1.4

Q13.あなたは次にあげる買い物を普段どこですることが多いですか。それぞれ多い順に3つまでお答えください。
B:日用品（ティッシュペーパーや洗剤、ゴミ袋、文房具、水など）

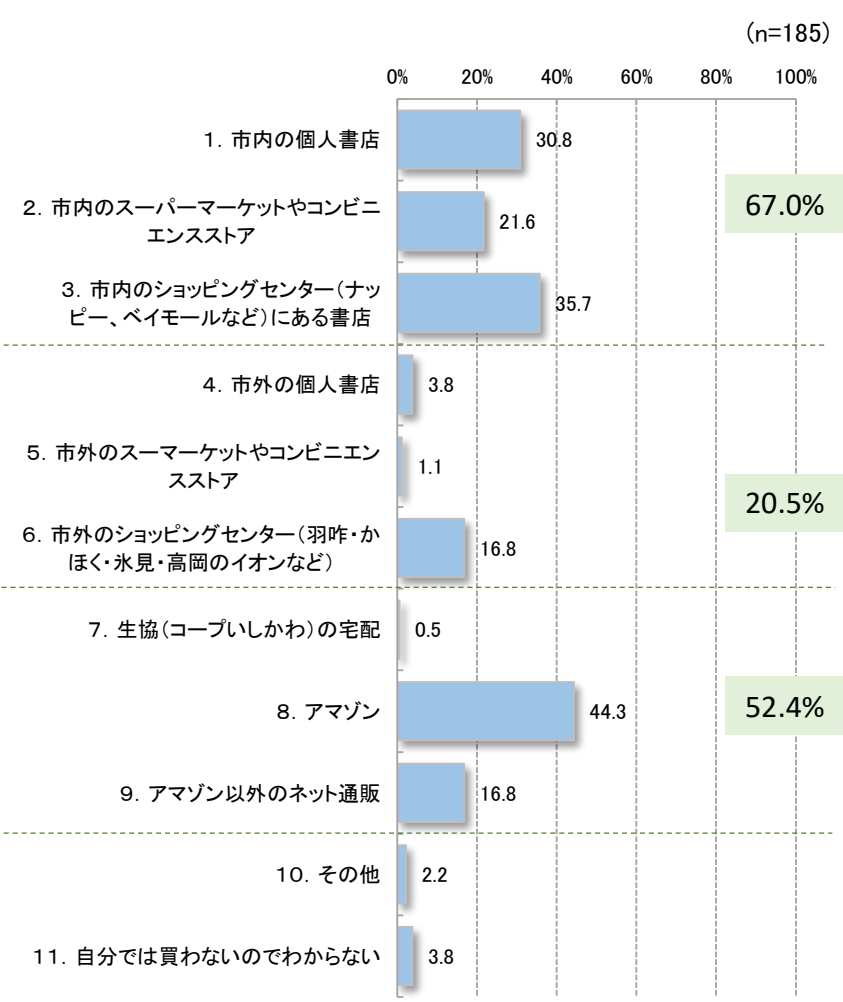
市内のスーパー（62.2%）、市内のショッピングモール（39.5%）が上位ではあるが、市外のドラッグストア・百貨ショップ(19.5%)、市内のコンビニ（14.6%）、ネット通販（12.4%）が上位にあがっている。市内・市外・宅配で括ると、市内が82.2%、市外が33.5%。宅配が18.4%である。日用品と比べると、市外での買い物の割合が12ポイント高い。男性は市内コンビニや市内ショッピングモールの割合が女性と比べて高めである。また、1ターンでネット通販の利用が多い。



	市内のコンビニ	市内のスーパー・ドラッグストア・百貨ショップ	市内のショッピングモール	市内のその他の店	市外のコンビニ	市外のスーパー・ドラッグストア・百貨ショップ	市外のショッピングモール	市外のその他の店	市外の家電量販店	生協(コープいしかわ)の宅配	食材宅配サービス	ネット通販	その他	自分では買わないのでわからない
全体(185)	14.6	62.2	39.5	10.3	2.2	19.5	11.9	2.7	0.5	5.9	0.0	12.4	0.5	4.3
男性(106)	18.9	58.5	45.3	6.6	2.8	17.0	9.4	2.8	0.9	2.8	0.0	10.4	0.0	6.6
女性(79)	8.9	67.1	31.6	15.2	1.3	22.8	15.2	2.5	0.0	10.1	0.0	15.2	1.3	1.3
20代(8)	12.5	62.5	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5
30代(47)	19.1	72.3	48.9	6.4	2.1	10.6	6.4	0.0	0.0	4.3	0.0	17.0	0.0	2.1
40代(82)	14.6	59.8	37.8	8.5	3.7	24.4	13.4	4.9	1.2	6.1	0.0	6.1	1.2	3.7
50代(38)	13.2	55.3	31.6	13.2	0.0	18.4	15.8	2.6	0.0	7.9	0.0	21.1	0.0	5.3
60代以上(10)	0.0	60.0	50.0	10.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
U・Jターン(92)	13.0	55.4	42.4	14.1	0.0	23.9	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0	14.1	0.0	6.5
1ターン(24)	16.7	79.2	37.5	8.3	0.0	4.2	12.5	0.0	0.0	8.3	0.0	20.8	0.0	4.2
ノーターン(69)	15.9	65.2	36.2	5.8	5.8	18.8	10.1	1.4	1.4	7.2	0.0	7.2	1.4	1.4

Q14.あなたは書籍や雑誌を普段どこで買うことが多いですか。多い順に3つまでお答えください。

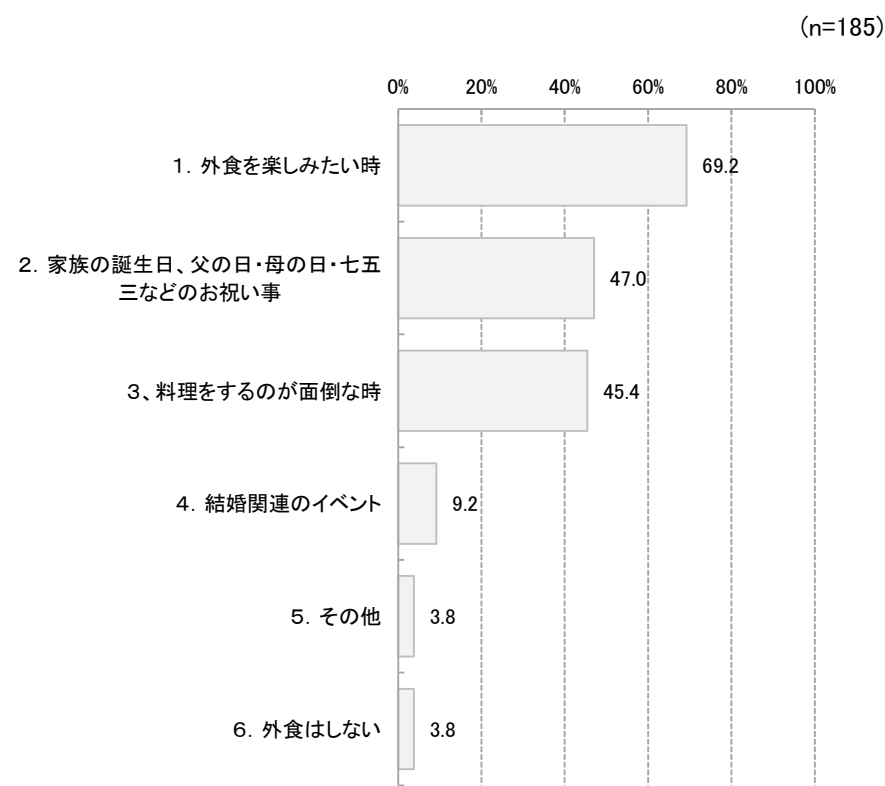
市内のショッピングセンターの書店（35.7%）、市内の個人書店（30.8%）、市内のスーパーやコンビニ（21.6%）よりも、アマゾンが44.3%と圧倒的に高い結果である。
U・Jターンの人は市内の個人書店も使っているが、Iターンのアマゾンや、ノーターンのネット通販の割合が高い。またノーターンの人、ネット通販などの利用割合は低い。



	市内の個人書店	市内のスーパーマーケットやコンビニエンスストア	市内のショッピングセンターにある書店	市外の個人書店	市外のスーパーマーケットやコンビニエンスストア	市外のショッピングセンター	生協(コープいしかわ)の宅配	アマゾン	アマゾン以外のネット通販	その他	自分では買わないのでわからない
全体(185)	30.8	21.6	35.7	3.8	1.1	16.8	0.5	44.3	16.8	2.2	3.8
男性(106)	27.4	21.7	30.2	2.8	1.9	16.0	0.0	46.2	16.0	2.8	4.7
女性(79)	35.4	21.5	43.0	5.1	0.0	17.7	1.3	41.8	17.7	1.3	2.5
20代(8)	37.5	25.0	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
30代(47)	17.0	21.3	40.4	2.1	0.0	17.0	0.0	36.2	12.8	2.1	6.4
40代(82)	37.8	18.3	32.9	7.3	1.2	19.5	0.0	43.9	15.9	2.4	2.4
50代(38)	31.6	31.6	21.1	0.0	2.6	10.5	2.6	57.9	23.7	2.6	0.0
60代以上(10)	30.0	10.0	70.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10.0	0.0	20.0
U・Jターン(92)	31.5	18.5	34.8	5.4	0.0	13.0	0.0	50.0	22.8	2.2	3.3
Iターン(24)	8.3	8.3	33.3	0.0	0.0	29.2	0.0	54.2	33.3	8.3	4.2
ノーターン(69)	37.7	30.4	37.7	2.9	2.9	17.4	1.4	33.3	2.9	0.0	4.3
会社に所属(117)	33.3	23.1	39.3	4.3	0.0	18.8	0.9	38.5	13.7	1.7	2.6
シゴト単位で働く(61)	27.9	19.7	27.9	3.3	3.3	14.8	0.0	60.7	19.7	3.3	6.6

Q15.あなたは家族でどのようなときに外食をしますか。一人暮らしの方はご自身のことでお答えください。

外食を楽しみたい時が69.2%、家族のお祝い事が47.0%、料理をするのが面倒な時が45.4%である。
女性の方が料理をするのが面倒な時の割合が高め、若い人の方が純粋に外食を楽しみたいのです割合が高めの傾向である。
参考全国データと比べると、「お祝いごと」や「料理をするのが面倒な時」の割合が低めである。

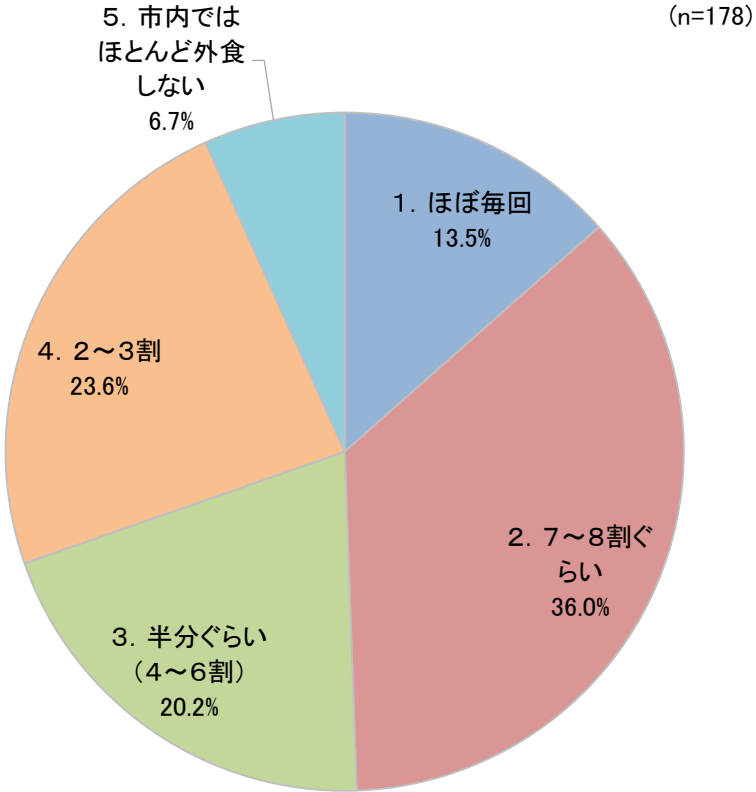


	時 外 食 を 楽 し み た い	事 五 三 な ど の お 祝 い	家 族 の 誕 生 日、 父 の 日・母 の 日・七 五 三	料 理 を す る の が 面 倒 な 時	ト 結 婚 関 連 の イ ベ ン ト	そ の 他	外 食 は し な い
全体(185)	69.2	47.0	45.4	9.2	3.8	3.8	
男性(106)	70.8	46.2	41.5	11.3	3.8	4.7	
女性(79)	67.1	48.1	50.6	6.3	3.8	2.5	
20代(8)	75.0	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5	
30代(47)	85.1	48.9	42.6	10.6	2.1	2.1	
40代(82)	68.3	54.9	45.1	7.3	6.1	2.4	
50代(38)	52.6	34.2	57.9	7.9	0.0	7.9	
60代以上(10)	60.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	
U・J ターン (92)	62.0	47.8	48.9	10.9	2.2	4.3	
I ターン(24)	75.0	45.8	33.3	8.3	8.3	0.0	
ノーターン(69)	76.8	46.4	44.9	7.2	4.3	4.3	
みんなのPJ調べ 全国平均	71.4	60.9	53.0	24.3	—	—	

「みんなのプロジェクト」の調査（2012年6~7月）の結果を参考に載せている。
https://minproject.jp/?r=site/page&view=henshubu.question_vol_2

Q16.そのうち、七尾市内で外食をされるのはどのぐらいの割合ですか。

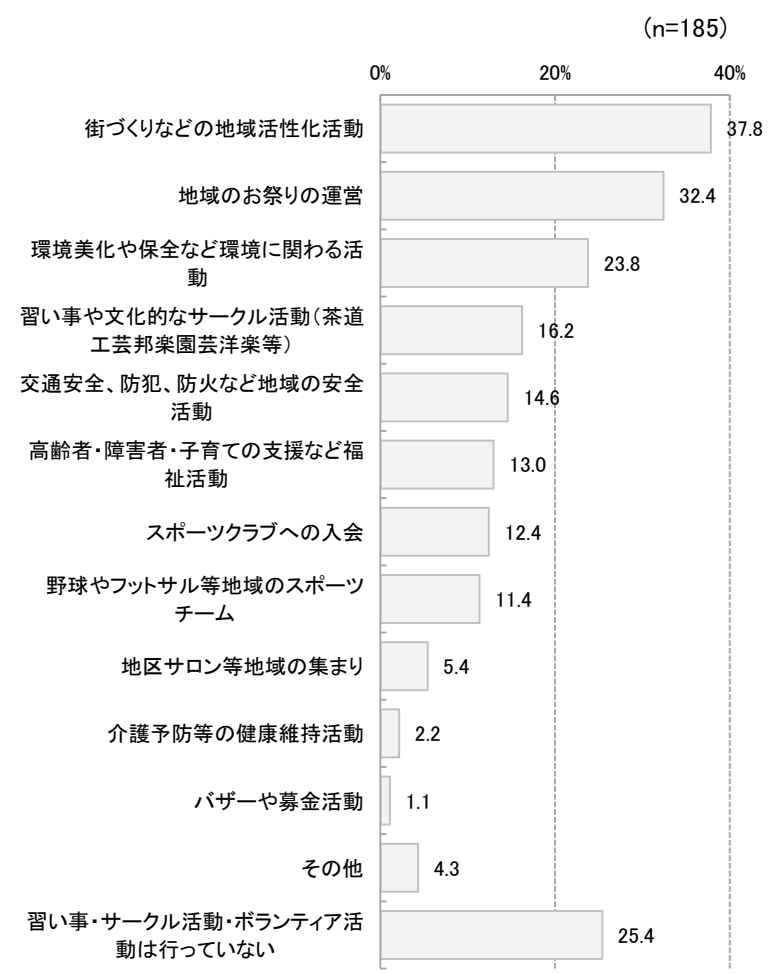
7～8割ぐらいが36.0%、2～3割が23.6%、半分ぐらいが20.2%、ほぼ毎日が13.5%、市内ではほとんど外食しないが6.7%である。
Iターンの人が「市内ではほとんど外食をしない」と回答した割合が高めである。



	ほぼ毎回	7～8割ぐ らい	半分ぐ らい (4～6割)	2～3割	市内ではほ とんど外食し ない
全体(178)	13.5	36.0	20.2	23.6	6.7
男性(101)	11.9	38.6	21.8	20.8	6.9
女性(77)	15.6	32.5	18.2	27.3	6.5
20代(7)	42.9	14.3	0.0	42.9	0.0
30代(46)	4.3	43.5	23.9	19.6	8.7
40代(80)	11.3	35.0	25.0	25.0	3.8
50代(35)	17.1	40.0	14.3	17.1	11.4
60代以上(10)	40.0	10.0	0.0	40.0	10.0
U・J ターン (88)	13.6	36.4	22.7	21.6	5.7
I ターン(24)	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5
N ターン(66)	13.6	34.8	19.7	25.8	6.1

Q17.あなたは次にあげるような習い事・サークル活動・ボランティア活動などを行っていますか。あてはまるものすべてお答えください。

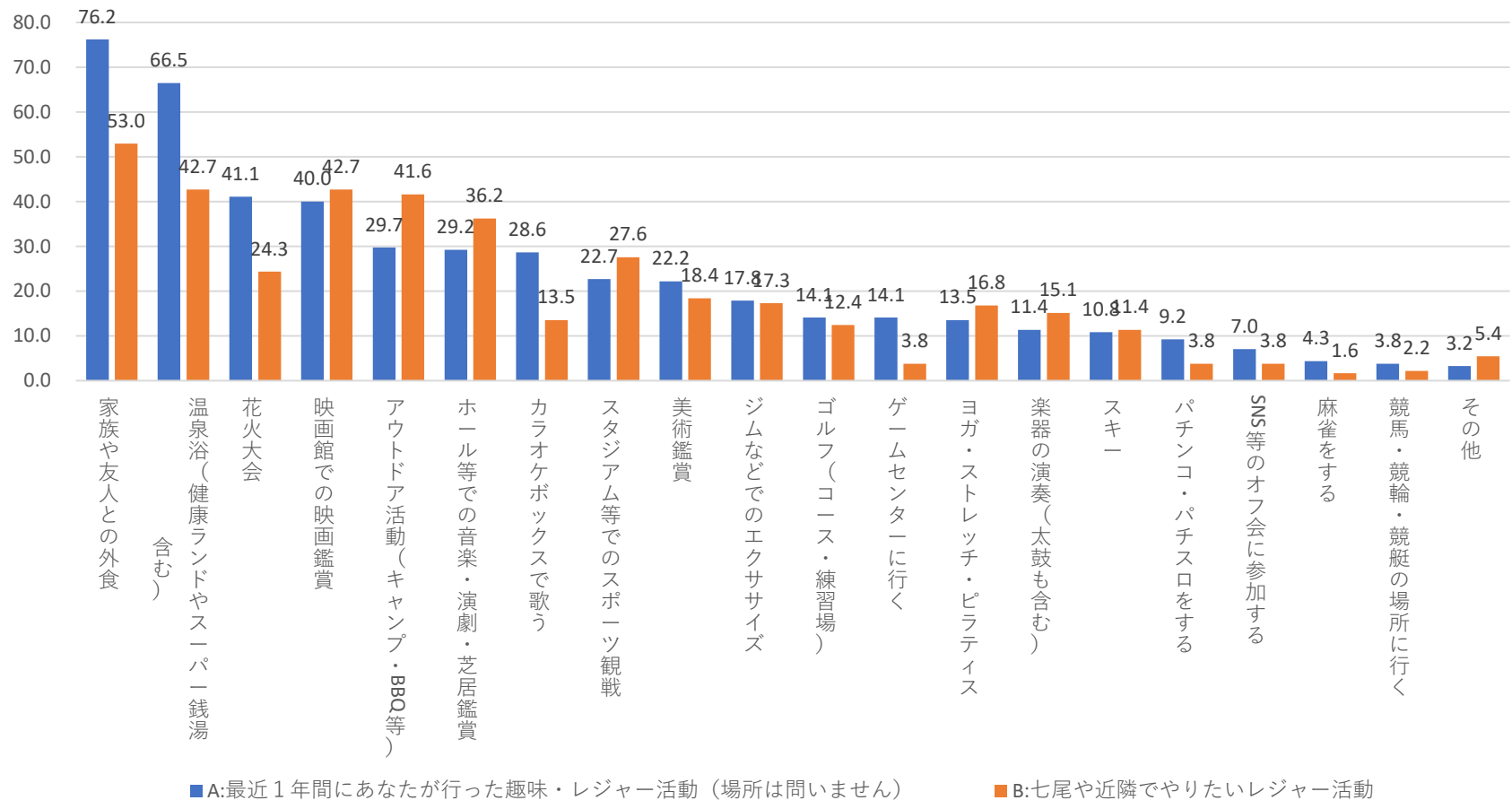
街づくりなどの地域活性化活動が37.8%、地域のお祭りの運営が32.4%、環境美化や保全など環境に関する活動が23.8%、習い事や文化的なサークル活動が16.2%の順である。なお、習い事・サークル活動・ボランティア活動は行っていないという人が25.4%である。
Iターンでは「街づくり活動」の割合が全体と比べても12ポイント以上高い。Nターンでは、「地域の祭りの運営」が選択肢の中で最も高い。



	街づくりなどの地域活性化活動	地域のお祭りの運営	環境美化や保全など環境に関わる活動	習い事や文化的なサークル活動	交通安全、防犯、防火など地域の安全活動	高齢者・障害者・子育ての支援など福祉活動	スポーツクラブへの入会	野球やフットサル等地域のスポーツチーム	地区サロン等地域の集まり	介護予防等の健康維持活動	バザーや募金活動	その他	活動は行っていない
全体(185)	37.8	32.4	23.8	16.2	14.6	13.0	12.4	11.4	5.4	2.2	1.1	4.3	25.4
男性(106)	50.0	49.1	31.1	8.5	22.6	11.3	15.1	15.1	7.5	3.8	1.9	3.8	14.2
女性(79)	21.5	10.1	13.9	26.6	3.8	15.2	8.9	6.3	2.5	0.0	0.0	5.1	40.5
20代(8)	62.5	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
30代(47)	34.0	31.9	23.4	12.8	6.4	4.3	17.0	17.0	2.1	0.0	0.0	0.0	29.8
40代(82)	35.4	36.6	22.0	17.1	18.3	14.6	8.5	11.0	4.9	1.2	1.2	6.1	24.4
50代(38)	36.8	28.9	28.9	13.2	18.4	15.8	10.5	5.3	2.6	5.3	2.6	5.3	28.9
60代以上(10)	60.0	20.0	30.0	30.0	20.0	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0
U・Jターン(92)	44.6	38.0	25.0	14.1	15.2	13.0	14.1	8.7	7.6	2.2	2.2	4.3	21.7
Iターン(24)	50.0	20.8	25.0	25.0	4.2	12.5	8.3	20.8	8.3	0.0	0.0	12.5	25.0
Nターン(69)	24.6	29.0	21.7	15.9	17.4	13.0	11.6	11.6	1.4	2.9	0.0	1.4	30.4
会社に所属(117)	27.4	34.2	17.9	15.4	12.0	11.1	14.5	10.3	1.7	1.7	0.0	2.6	28.2
シゴト単位で働く(61)	60.7	32.8	37.7	19.7	21.3	18.0	6.6	14.8	11.5	3.3	3.3	8.2	16.4

Q18.A:最近1年間にあなたが行った趣味・レジャー活動（場所は問いません）,B:七尾や近隣でやりたいレジャー活動 を次の中からお選びください。
（あてはまるもの全て）

実際に行ったレジャーは、「家族や友人との外出」と「温泉浴」が高い。
「七尾や近隣でやりたいレジャー活動」の方が高いのは「アウトドア活動」「映画鑑賞」「ホール等での音楽・演劇・芝居」「スタジアム等でのスポーツ観戦」「ヨガストレッチピラティス」「スキー」などである。



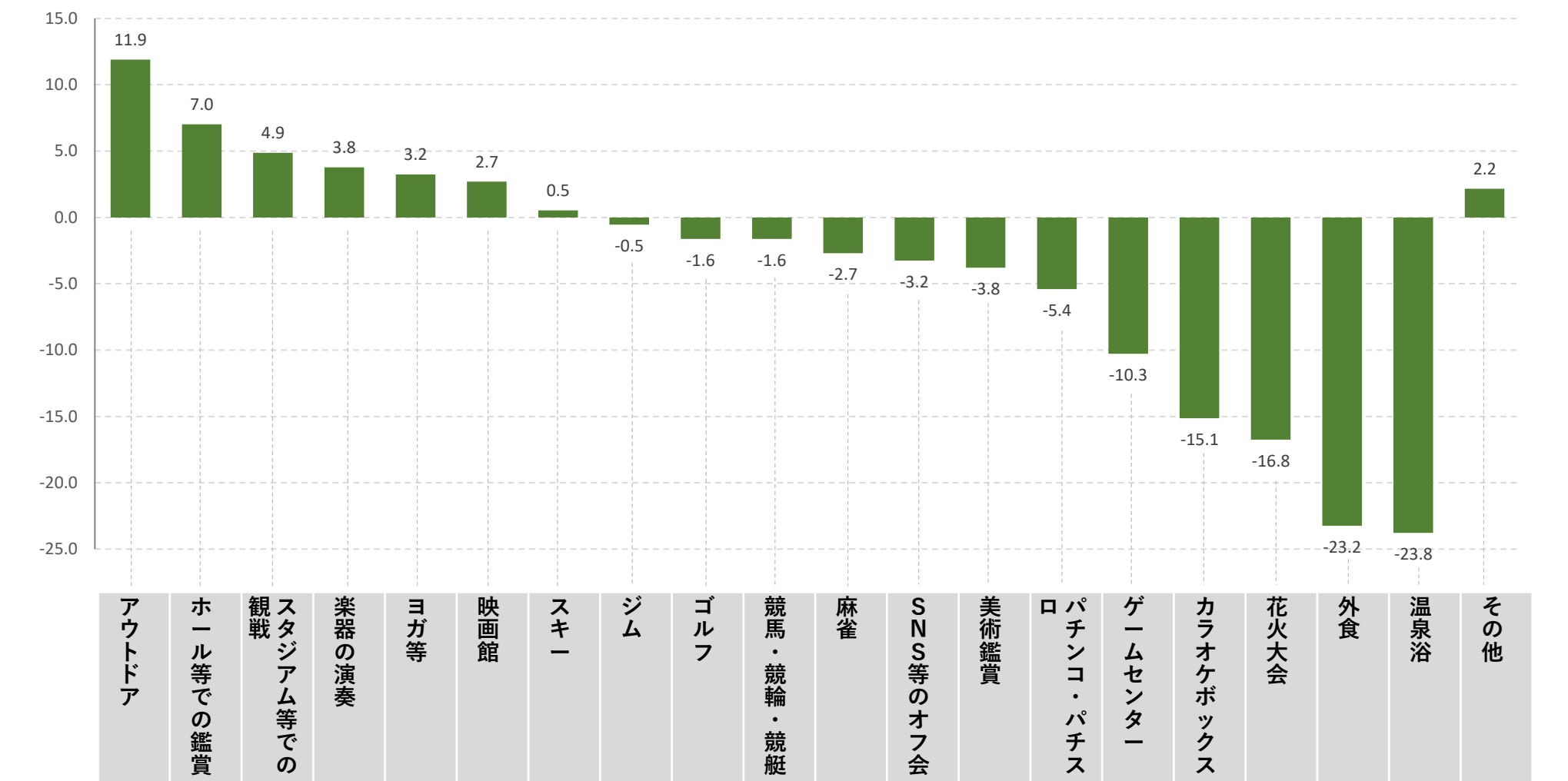
男性が高いのは「ゴルフ」「パチンコ・パチスロ」、女性の方が高いのは「ホール等での音楽演劇芝居鑑賞」「美術鑑賞」である。年齢差をみると。30代>40代>50代なのは「アウトドア活動」「外食」「花火大会」などで、逆に30代<40代<50代なのは、ホール等での鑑賞、映画館での鑑賞、美術鑑賞、SNSのオフ会などである。

	アウトドア活動	温泉浴	スタジアム等でのスポーツ観戦	家族や友人との外食	ゴルフ（コース・練習場）	ジムなどでのエクササイズ	スキー	ホール等での音楽・演劇・芝居鑑賞	映画館での映画鑑賞	楽器の演奏	美術鑑賞	花火大会	ヨガ・ストレッチ・ピラティス	カラオケボックスで歌う	パチンコ・パチスロをする	競馬・競輪・競艇に行く	麻雀	ゲームセンター	SNS等のオフ会に参加	その他
全体(185)	29.7	66.5	22.7	76.2	14.1	17.8	10.8	29.2	40.0	11.4	22.2	41.1	13.5	28.6	9.2	3.8	4.3	14.1	7.0	3.2
男性(106)	32.1	68.9	26.4	67.9	19.8	20.8	8.5	24.5	41.5	9.4	17.0	43.4	9.4	28.3	14.2	6.6	6.6	15.1	7.5	2.8
女性(79)	26.6	63.3	17.7	87.3	6.3	13.9	13.9	35.4	38.0	13.9	29.1	38.0	19.0	29.1	2.5	0.0	1.3	12.7	6.3	3.8
20代(8)	50.0	75.0	37.5	62.5	25.0	37.5	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0
30代(47)	38.3	63.8	29.8	83.0	14.9	23.4	8.5	14.9	25.5	8.5	10.6	48.9	8.5	34.0	14.9	6.4	6.4	23.4	4.3	0.0
40代(82)	31.7	70.7	14.6	80.5	8.5	14.6	14.6	34.1	45.1	14.6	23.2	43.9	14.6	28.0	7.3	3.7	2.4	14.6	1.2	2.4
50代(38)	18.4	57.9	28.9	65.8	26.3	15.8	5.3	36.8	57.9	7.9	36.8	26.3	18.4	28.9	10.5	2.6	5.3	5.3	18.4	10.5
60代以上(10)	0.0	70.0	20.0	60.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
U・Jターン(92)	34.8	65.2	26.1	73.9	17.4	17.4	8.7	29.3	40.2	9.8	28.3	43.5	10.9	27.2	8.7	5.4	5.4	13.0	7.6	4.3
Iターン(24)	54.2	95.8	37.5	79.2	16.7	29.2	20.8	45.8	45.8	29.2	33.3	54.2	12.5	37.5	12.5	4.2	8.3	20.8	12.5	4.2
ノーターン(69)	14.5	58.0	13.0	78.3	8.7	14.5	10.1	23.2	37.7	7.2	10.1	33.3	17.4	27.5	8.7	1.4	1.4	13.0	4.3	1.4
会社に所属(117)	29.1	57.3	27.4	75.2	9.4	21.4	10.3	27.4	38.5	8.5	16.2	37.6	12.0	27.4	10.3	4.3	3.4	13.7	4.3	1.7
シゴト単位で働く(61)	32.8	83.6	16.4	78.7	24.6	9.8	13.1	34.4	47.5	18.0	36.1	52.5	18.0	32.8	8.2	3.3	4.9	13.1	13.1	6.6

男性が高いのは「スタジアム等でのスポーツ観戦」「ゴルフ」、女性の方が高いのは「温泉浴」「外出」「映画館での映画鑑賞」「美術鑑賞」「ヨガ等」である。年代別では値が30代>40代>50代のものに、「アウトドア活動」「ジム等でのエクササイズ」「楽器演奏」がある。UIターン別でみると「アウトドア」「スキー」「ゲームセンター」はIターンが高く、ホール等の音楽鑑賞は、UIターンが高い。

	アウトドア活動	温泉浴	スタジアム等でのスポーツ観戦	家族や友人との外出	ゴルフ（コース練習）	ジムなどでのエクササイズ	スキー	ホール等での音楽・演劇・芝居鑑賞	映画館での映画鑑賞	楽器の演奏	美術鑑賞	花火大会	ヨガ・ストレッチ・ピラティス	カラオケボックスで歌う	パチンコ・パチスロをする	競馬・競輪・競艇に行く	麻雀	ゲームセンター	SNS等のオフ会に参加	その他
全体(185)	41.6	42.7	27.6	53.0	12.4	17.3	11.4	36.2	42.7	15.1	18.4	24.3	16.8	13.5	3.8	2.2	1.6	3.8	3.8	5.4
男性(106)	41.5	36.8	34.9	45.3	17.9	15.1	10.4	34.9	37.7	17.0	13.2	25.5	9.4	15.1	5.7	3.8	2.8	4.7	5.7	3.8
女性(79)	41.8	50.6	17.7	63.3	5.1	20.3	12.7	38.0	49.4	12.7	25.3	22.8	26.6	11.4	1.3	0.0	0.0	2.5	1.3	7.6
20代(8)	75.0	62.5	37.5	62.5	25.0	25.0	25.0	37.5	50.0	50.0	37.5	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
30代(47)	55.3	36.2	25.5	48.9	12.8	25.5	8.5	36.2	44.7	23.4	8.5	21.3	19.1	12.8	0.0	6.4	2.1	6.4	2.1	8.5
40代(82)	36.6	52.4	26.8	56.1	9.8	14.6	18.3	37.8	41.5	13.4	22.0	29.3	18.3	14.6	4.9	1.2	1.2	4.9	2.4	3.7
50代(38)	31.6	28.9	28.9	57.9	18.4	13.2	0.0	34.2	42.1	2.6	21.1	21.1	10.5	7.9	7.9	0.0	2.6	0.0	7.9	7.9
60代以上(10)	30.0	30.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
U・Iターン(92)	38.0	43.5	27.2	51.1	13.0	16.3	9.8	40.2	39.1	15.2	22.8	21.7	16.3	13.0	3.3	0.0	2.2	1.1	4.3	5.4
Iターン(24)	70.8	58.3	29.2	45.8	25.0	20.8	25.0	41.7	58.3	25.0	20.8	29.2	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	12.5	4.2	4.2
ノーターン(69)	36.2	36.2	27.5	58.0	7.2	17.4	8.7	29.0	42.0	11.6	11.6	26.1	17.4	13.0	5.8	2.9	1.4	4.3	2.9	5.8
会社に所属(117)	41.9	41.9	29.1	51.3	10.3	23.1	10.3	35.9	46.2	13.7	15.4	24.8	15.4	13.7	4.3	2.6	0.9	4.3	1.7	6.8
シゴト単位で働く(61)	42.6	45.9	27.9	55.7	18.0	8.2	14.8	37.7	36.1	18.0	26.2	24.6	19.7	14.8	3.3	1.6	3.3	1.6	8.2	3.3

数値の差でみると、アウトドア、ホール等での鑑賞、スタジアム等での観戦、楽器の演奏、ヨガ等、映画館、スキーなどは、近隣でやりたいという値が高いものである。

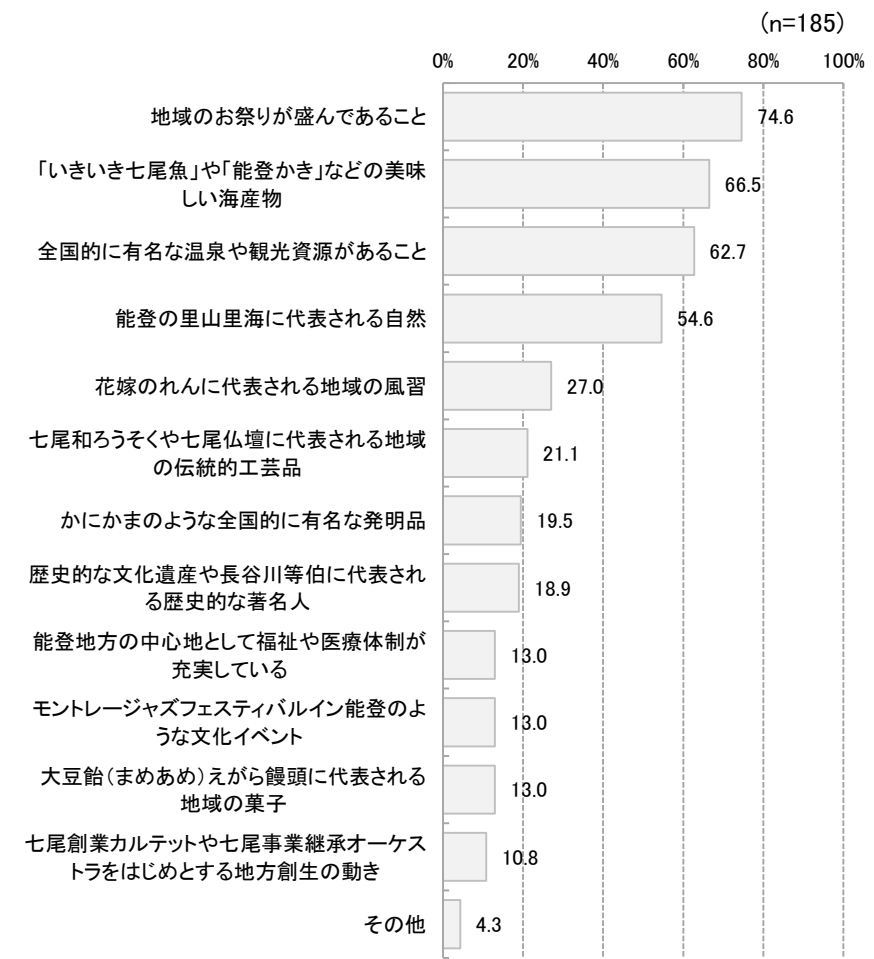


男女で見ると、「映画鑑賞」や「ジム」は女性で近隣でやりたい人の割合が高い。「楽器の演奏」は男性や若者層で近隣でやりたい人の割合が高い。美術鑑賞はノーターンの人で近隣でやりたい人の割合が高い。

	アウトドア	の鑑賞 ホール等 での観戦	スタジアム 等での観戦	楽器の演奏	ヨガ等	映画館	スキー	ジム	ゴルフ	競艇 競馬・競輪	麻雀	SNS等の オフ会	美術鑑賞	チスロ パチンコ・パ	ゲームセン ター	カラオケ ボックス	花火大会	外食	温泉浴	その他
全体(185)	11.9	7.0	4.9	3.8	3.2	2.7	0.5	-0.5	-1.6	-1.6	-2.7	-3.2	-3.8	-5.4	-10.3	-15.1	-16.8	-23.2	-23.8	2.2
男性(106)	9.4	10.4	8.5	7.5	0.0	-3.8	1.9	-5.7	-1.9	-2.8	-3.8	-1.9	-3.8	-8.5	-10.4	-13.2	-17.9	-22.6	-32.1	0.9
女性(79)	15.2	2.5	0.0	-1.3	7.6	11.4	-1.3	6.3	-1.3	0.0	-1.3	-5.1	-3.8	-1.3	-10.1	-17.7	-15.2	-24.1	-12.7	3.8
20代(8)	25.0	0.0	0.0	37.5	12.5	25.0	0.0	-12.5	0.0	0.0	-12.5	-12.5	12.5	0.0	-12.5	12.5	-25.0	0.0	-12.5	0.0
30代(47)	17.0	21.3	-4.3	14.9	10.6	19.1	0.0	2.1	-2.1	0.0	-4.3	-2.1	-2.1	-14.9	-17.0	-21.3	-27.7	-34.0	-27.7	8.5
40代(82)	4.9	3.7	12.2	-1.2	3.7	-3.7	3.7	0.0	1.2	-2.4	-1.2	1.2	-1.2	-2.4	-9.8	-13.4	-14.6	-24.4	-18.3	1.2
50代(38)	13.2	-2.6	0.0	-5.3	-7.9	-15.8	-5.3	-2.6	-7.9	-2.6	-2.6	-10.5	-15.8	-2.6	-5.3	-21.1	-5.3	-7.9	-28.9	-2.6
60代以上(10)	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-20.0	-40.0	-40.0	0.0
U・Jターン (92)	3.3	10.9	1.1	5.4	5.4	-1.1	1.1	-1.1	-4.3	-5.4	-3.3	-3.3	-5.4	-5.4	-12.0	-14.1	-21.7	-22.8	-21.7	1.1
Iターン(24)	16.7	-4.2	-8.3	-4.2	4.2	12.5	4.2	-8.3	8.3	4.2	-8.3	-8.3	-12.5	-12.5	-8.3	-20.8	-25.0	-33.3	-37.5	0.0
ノーターン (69)	21.7	5.8	14.5	4.3	0.0	4.3	-1.4	2.9	-1.4	1.4	0.0	-1.4	1.4	-2.9	-8.7	-14.5	-7.2	-20.3	-21.7	4.3
会社に所属 (117)	12.8	8.5	1.7	5.1	3.4	7.7	0.0	1.7	0.9	-1.7	-2.6	-2.6	-0.9	-6.0	-9.4	-13.7	-12.8	-23.9	-15.4	5.1
シゴト単位で 働く (61)	9.8	3.3	11.5	0.0	1.6	-11.5	1.6	-1.6	-6.6	-1.6	-1.6	-4.9	-9.8	-4.9	-11.5	-18.0	-27.9	-23.0	-37.7	-3.3

Q19.あなたが「七尾らしい」と感じる場所やモノ、ことを、次の中から選びください。

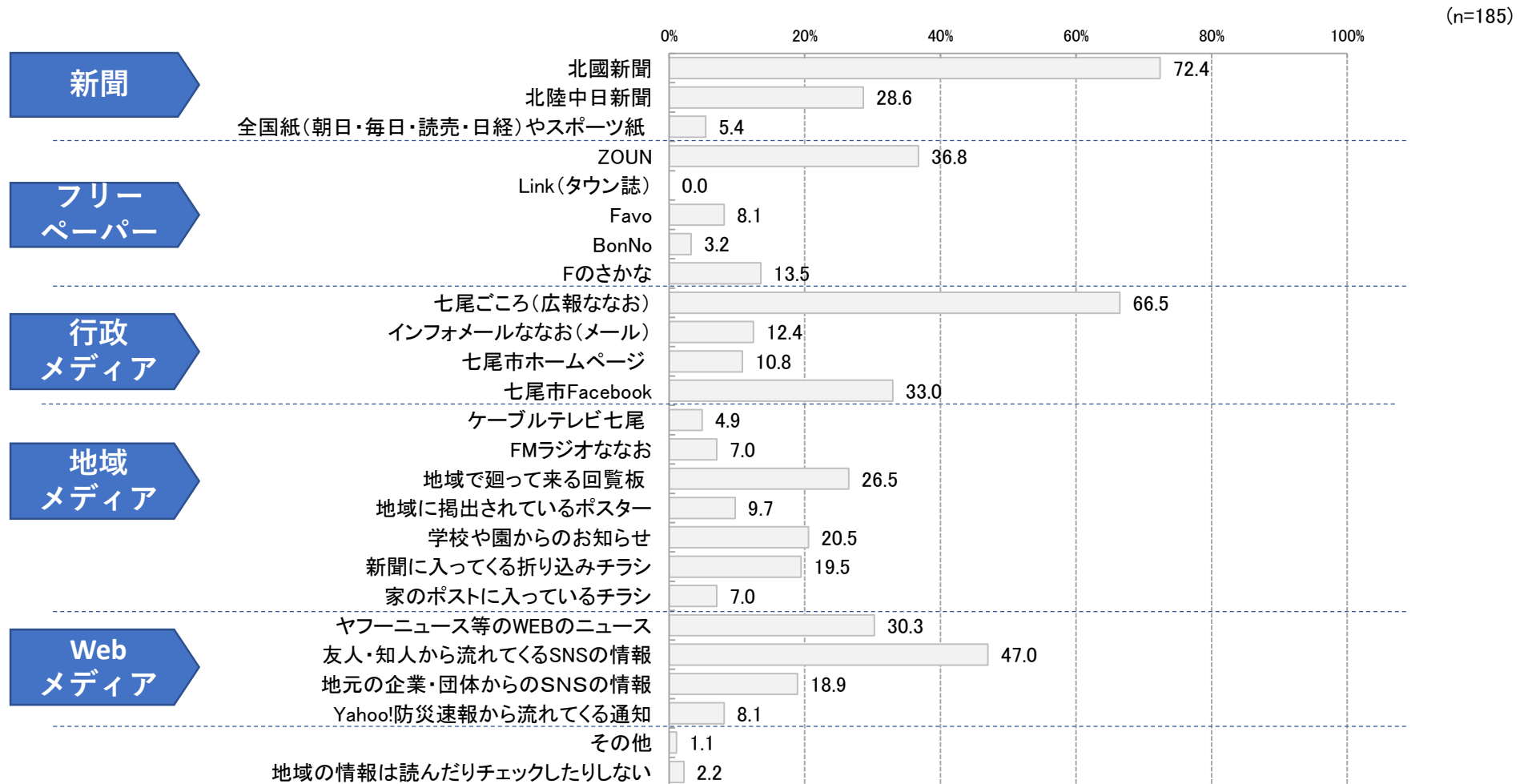
「地域のお祭りが盛んであること」が74.6%、「美味しい海産物」が66.5%、「温泉や観光資源がある」が62.7%、「能登の里山里海」が54.6%で、これらが半数を超えている。
全体的にU・Jターンの人の値が全体的に高めということから、「七尾らしさ」をいろいろな観点で感じていると思われる。



	盛ん 地域 のお祭りが	美味 しい海 産物	温泉 や観 光資 源	海・自然 能登の 里山里	花嫁のれん等 の 地域の風習	芸品 地域の 伝統的工	な 発明品 にかま等有 名	産や著名人 歴史的な文化遺	地域の菓子	文化イベント	福祉や医療体制 が充実している	地方創生の動き	その他
全体(185)	74.6	66.5	62.7	54.6	27.0	21.1	19.5	18.9	13.0	13.0	13.0	10.8	4.3
男性(106)	74.5	67.9	64.2	51.9	23.6	18.9	17.9	17.9	11.3	11.3	15.1	9.4	6.6
女性(79)	74.7	64.6	60.8	58.2	31.6	24.1	21.5	20.3	15.2	15.2	10.1	12.7	1.3
20代(8)	87.5	62.5	100.0	75.0	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0
30代(47)	74.5	74.5	66.0	44.7	27.7	10.6	12.8	4.3	2.1	6.4	10.6	8.5	8.5
40代(82)	76.8	69.5	62.2	59.8	28.0	23.2	23.2	15.9	18.3	17.1	14.6	11.0	2.4
50代(38)	65.8	50.0	47.4	47.4	21.1	23.7	21.1	34.2	15.8	7.9	7.9	5.3	5.3
60代以上(10)	80.0	70.0	80.0	70.0	30.0	50.0	10.0	50.0	10.0	40.0	20.0	20.0	0.0
U・Jターンの人(92)	72.8	66.3	63.0	60.9	29.3	22.8	19.6	21.7	15.2	17.4	14.1	14.1	4.3
Iターンの人(24)	75.0	66.7	66.7	50.0	33.3	16.7	12.5	8.3	8.3	0.0	12.5	12.5	8.3
ノーターンの人(69)	76.8	66.7	60.9	47.8	21.7	20.3	21.7	18.8	11.6	11.6	11.6	5.8	2.9
会社に所属する人(117)	70.9	66.7	65.8	53.0	25.6	23.1	23.1	20.5	12.8	12.8	16.2	10.3	6.0
シゴト単位で働く人(61)	83.6	67.2	55.7	62.3	29.5	19.7	13.1	16.4	13.1	13.1	8.2	13.1	1.6

Q20.七尾市のニュースや自分の近所に関する情報源として定期的に読んだり聞いたりチェックしたりしているもの（家でなくてもよい）を、次の中からすべて選んでください。

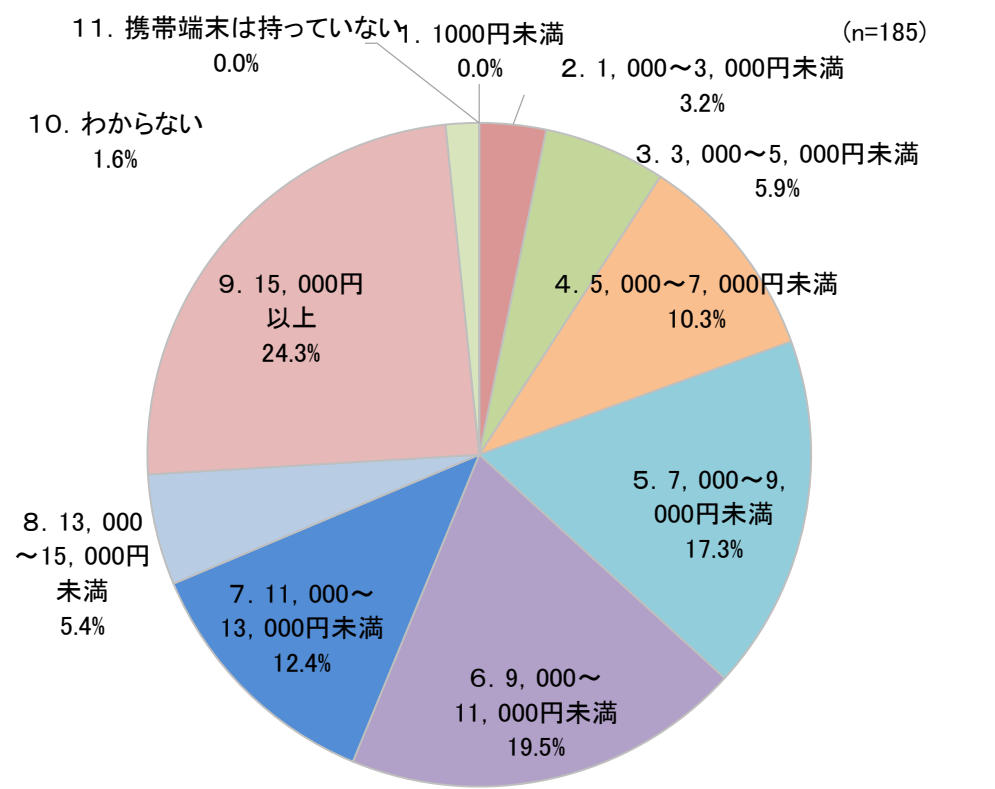
新聞では北國新聞が72.4%、フリーペーパーではZOUNが36.8%、行政メディアでは七尾ごころが66.5%、地域メディアでは回覧板が26.5%。WEBメディアでは友人・知人から流れてくるSNSの情報が47.0%であるが、行政メディアに分類した七尾市Facebookが33.0%と続いている。本データは、今後の施策や事業の情報発信や共有にあたっての基礎データとして活用できると考えている。



	北國新聞	北陸中日新聞	紙 全国紙やスポーツ	ZOUN	Link(タウン誌)	Favo	BonNo	Fのさかな	七尾ごころ(広報な なお)	インフォメールな お(メール)	ジ 七尾市ホームペー	七尾市Facebook	ケーブルテレビセ 尾	F FMラジオななお	地域で廻って来る 回覧板	地域に掲出されて いるポスター	学校や園からのお 知らせ	新聞に入ってくる 折り込みチラシ	家のポストに入って いるチラシ	MEMOのニュース ヤフーニュース等の	友人・知人からの SNSの情報	地元の企業・団体か らのSNSの情報	Yahoo!防災速報か ら流れてくる通知	その他	読んだりチェックし たりしない
全体(185)	72.4	28.6	5.4	36.8	0.0	8.1	3.2	13.5	66.5	12.4	10.8	33.0	4.9	7.0	26.5	9.7	20.5	19.5	7.0	30.3	47.0	18.9	8.1	1.1	2.2
男性(106)	79.2	28.3	6.6	26.4	0.0	3.8	1.9	16.0	62.3	16.0	12.3	34.9	6.6	7.5	27.4	10.4	14.2	17.0	4.7	36.8	43.4	17.0	13.2	0.9	1.9
女性(79)	63.3	29.1	3.8	50.6	0.0	13.9	5.1	10.1	72.2	7.6	8.9	30.4	2.5	6.3	25.3	8.9	29.1	22.8	10.1	21.5	51.9	21.5	1.3	1.3	2.5
20代(8)	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	50.0	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	37.5	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0
30代(47)	72.3	17.0	0.0	34.0	0.0	12.8	6.4	12.8	68.1	8.5	12.8	38.3	0.0	0.0	29.8	8.5	31.9	14.9	6.4	36.2	42.6	8.5	2.1	4.3	4.3
40代(82)	73.2	37.8	7.3	42.7	0.0	4.9	0.0	11.0	69.5	14.6	11.0	29.3	7.3	7.3	20.7	11.0	28.0	20.7	11.0	25.6	41.5	19.5	11.0	0.0	1.2
50代(38)	65.8	18.4	5.3	34.2	0.0	13.2	5.3	13.2	60.5	10.5	7.9	34.2	2.6	5.3	23.7	7.9	0.0	18.4	2.6	28.9	57.9	18.4	7.9	0.0	2.6
60代以上 (10)	90.0	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	10.0	50.0	10.0	30.0	60.0	10.0	0.0	40.0	0.0	40.0	70.0	50.0	20.0	0.0	0.0
U・J ターン (92)	75.0	33.7	7.6	35.9	0.0	8.7	3.3	12.0	60.9	15.2	12.0	34.8	5.4	7.6	29.3	12.0	18.5	16.3	7.6	28.3	48.9	27.2	6.5	1.1	1.1
Iターン (24)	58.3	25.0	4.2	16.7	0.0	4.2	4.2	25.0	62.5	4.2	12.5	20.8	4.2	8.3	45.8	4.2	20.8	8.3	8.3	33.3	54.2	20.8	12.5	4.2	4.2
ノータ ン(69)	73.9	23.2	2.9	44.9	0.0	8.7	2.9	11.6	75.4	11.6	8.7	34.8	4.3	5.8	15.9	8.7	23.2	27.5	5.8	31.9	42.0	7.2	8.7	0.0	2.9
会社に所属 (117)	70.1	26.5	2.6	41.9	0.0	9.4	3.4	12.8	64.1	17.1	12.0	33.3	6.0	6.0	20.5	9.4	21.4	20.5	5.1	33.3	41.0	15.4	8.5	0.9	2.6
シゴト単位 で働く (61)	75.4	34.4	11.5	24.6	0.0	4.9	3.3	16.4	68.9	4.9	6.6	32.8	3.3	8.2	37.7	9.8	19.7	16.4	9.8	27.9	60.7	27.9	8.2	1.6	1.6

Q21.あなた個人が、毎月通信会社に支払っている月額料金はいくぐらいですか。次の中から近い金額をお選びください。
(月額料金は、通話料・通信量・端末の分割料金をあわせてお答えください)

1万5千円以上が24.3%と最も高いが、これは家族（子ども）の利用料を一括で払っているケースの回答のためと考えられる。次いで、9,000円～11,000円が19.5%、7,000円～9,000円が17.3%である。わからないを除いた182人の平均は10,560円である。（15,000円以上を16,000円として計算）全国平均と比べ、平均金額や高額支払者の割合が高めである。

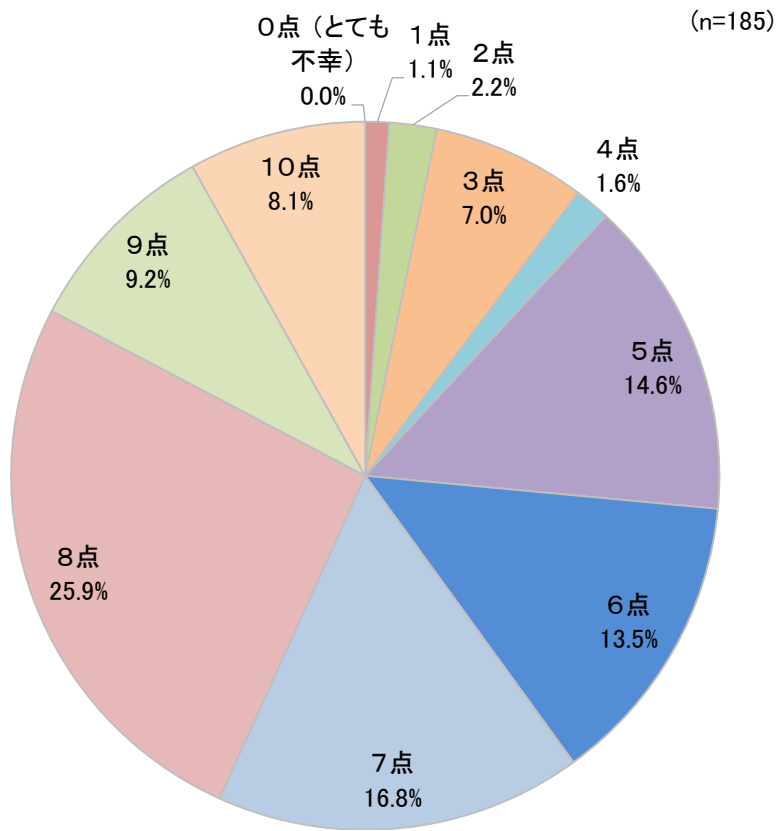


	平均金額(円)	5000円未満と回答した人の割合(%)	1万5千円以上と回答した人の割合(%)
全体(185)	10,560	9.2	24.3
男性(106)	10,942	11.3	31.1
女性(79)	10,051	6.3	15.2
20代(8)	8,286	12.5	0.0
30代(47)	9,826	14.9	14.9
40代(82)	10,370	7.3	25.6
50代(38)	12,053	5.3	36.8
60代以上(10)	11,400	10.0	30.0
U・Jターン(92)	10,652	12.5	28.3
Iターン(24)	10,609	7.2	20.8
ノーターン(69)	10,418	0.0	20.3
会社に所属(117)	10,578	7.7	27.4
シゴト単位で働く(61)	10,885	11.4	36.0
MMD総研調べ全国平均	6,404	36.7	4.5

「MMD研究所」の調査（2018年11月）の結果を参考に載せている。
https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1756.html

Q22.あなたは現在どの程度幸せですか。とても幸せを10点、とても不幸を0点とすると何点ぐらいになると思いますか。

8点が最も多く25.9%、次いで7点が16.8%、5点が14.6%と続く。平均点は6.8点である。
全国平均が6.6点であるので、全体では0.2点高い。
男女では、女性が全体より0.2点高く、男性は0.2点低い。またU・Jターンでは0.5点高く、ノーターンは逆に、全国平均より0.5点低い。

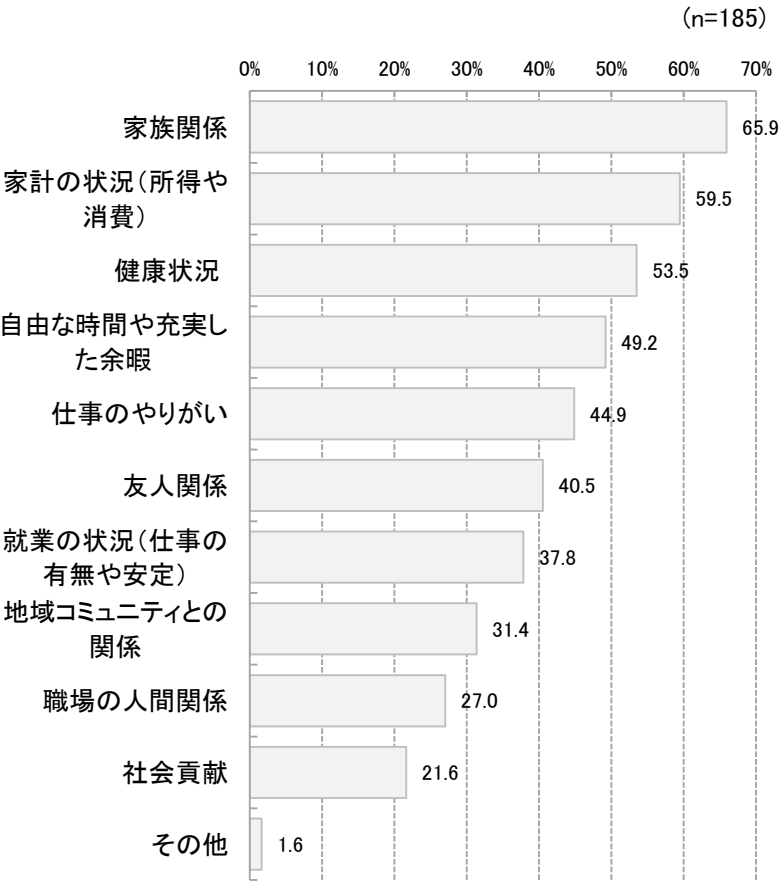


	平均点	8点以上の割合	4点以下の割合
全体(185)	6.8	43.2	11.9
男性(106)	6.6	35.8	13.2
女性(79)	7.0	53.2	10.1
20代(8)	7.9	75.0	12.5
30代(47)	6.7	44.7	12.8
40代(82)	6.7	41.5	13.4
50代(38)	6.8	42.1	10.5
60代以上(10)	6.6	30.0	0.0
U・Jターン (92)	7.1	48.9	8.7
Iターン(24)	6.8	41.7	12.5
ノーターン(69)	6.3	36.2	15.9
会社に所属(117)	6.6	39.3	12.0
シゴト単位で働く(61)	7.2	52.5	9.8
内閣府調査 全国平均	6.6	38.4	12.0

「内閣府経済社会総合研究所幸福度研究ユニット」の調査（平成24年4月）の結果を参考に載せている。
http://www.esri.go.jp/jp/prj/current_research/shakai_shihyo/pdf/houkoku2.pdf

Q23.あなたが幸福感を判断する際に重視をした点は何ですか。

家族関係が65.9%で最も高く、次いで家計の状況が59.5%、健康状況が53.5%、自由な時間や充実した余暇が49.2%、仕事のやりがい44.9%である。内閣府調査と比べ、本調査では「家計の状況」「健康状況」など上位の数値が低い反面、仕事のやりがいや就業の状況といった仕事に関する数値が高めである。特にIターン者にその傾向が強い。

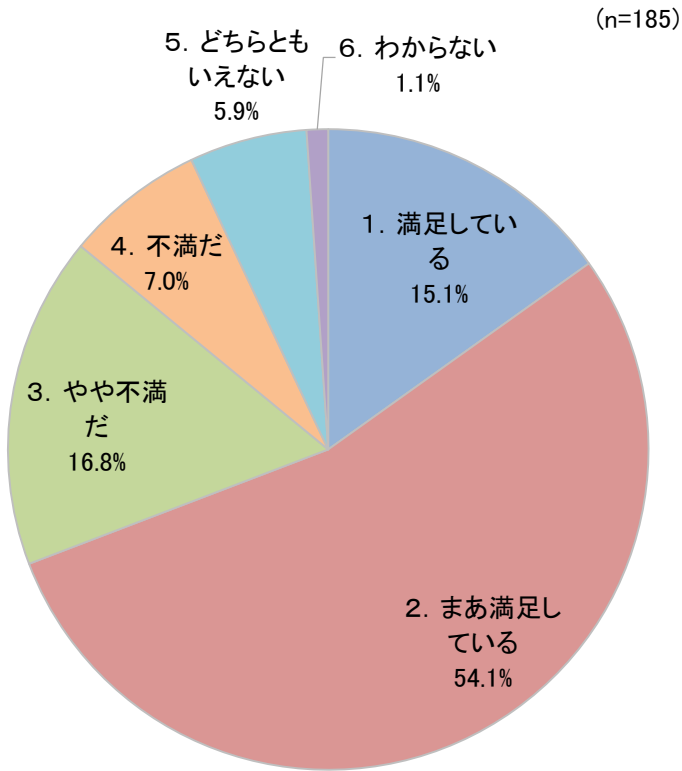


	家族関係	家計の状況	健康状況	自由な時間や充実した余暇	仕事のやりがい	友人関係	就業の状況	地域コミュニティとの関係	職場の人間関係	社会貢献	その他
全体(185)	65.9	59.5	53.5	49.2	44.9	40.5	37.8	31.4	27.0	21.6	1.6
男性(106)	62.3	63.2	53.8	51.9	50.9	34.9	38.7	35.8	23.6	27.4	0.9
女性(79)	70.9	54.4	53.2	45.6	36.7	48.1	36.7	25.3	31.6	13.9	2.5
20代(8)	75.0	62.5	62.5	75.0	62.5	37.5	50.0	12.5	62.5	50.0	0.0
30代(47)	66.0	66.0	51.1	57.4	48.9	46.8	27.7	29.8	21.3	19.1	2.1
40代(82)	68.3	61.0	48.8	48.8	42.7	42.7	40.2	35.4	34.1	17.1	1.2
50代(38)	65.8	47.4	55.3	42.1	44.7	31.6	47.4	26.3	15.8	26.3	2.6
60代以上(10)	40.0	60.0	90.0	20.0	30.0	30.0	20.0	40.0	10.0	30.0	0.0
U・Jターン(92)	65.2	54.3	56.5	52.2	51.1	42.4	41.3	33.7	23.9	25.0	1.1
Iターン(24)	66.7	75.0	58.3	54.2	62.5	50.0	41.7	37.5	20.8	33.3	8.3
ノーターン(69)	66.7	60.9	47.8	43.5	30.4	34.8	31.9	26.1	33.3	13.0	0.0
会社に所属(117)	66.7	61.5	51.3	49.6	38.5	39.3	36.8	24.8	33.3	17.1	0.0
シゴト単位で働く(61)	65.6	59.0	57.4	49.2	60.7	47.5	41.0	47.5	16.4	31.1	4.9
内閣府調査全国平均	70.2	72.9	78.6	55.6	31.0	42.1	34.8	12.7	21.9	11.0	2.3

「内閣府 生活の質に関する調査」の結果を参考にしている。
http://www.esri.go.jp/jp/prj/current_research/shakai_shihyo/survey/survey.html#k5

Q24.あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

満足している（15.1％）、まあ満足している（54.1％）をあわせて約7割（69.2％）が『満足』と回答している。一方やや不満（16.8％）、不満（7.0％）をあわせるとおよそ4人に1人（23.8％）が『不満』と回答している。
内閣府調査と比べると「満足している」という回答は七尾市調査の方が高めであるが、「まあ満足」を含めると、全国平均より低い。その中で、U・Jターンは満足・まあ満足ともに値が高く、満足度が高い。

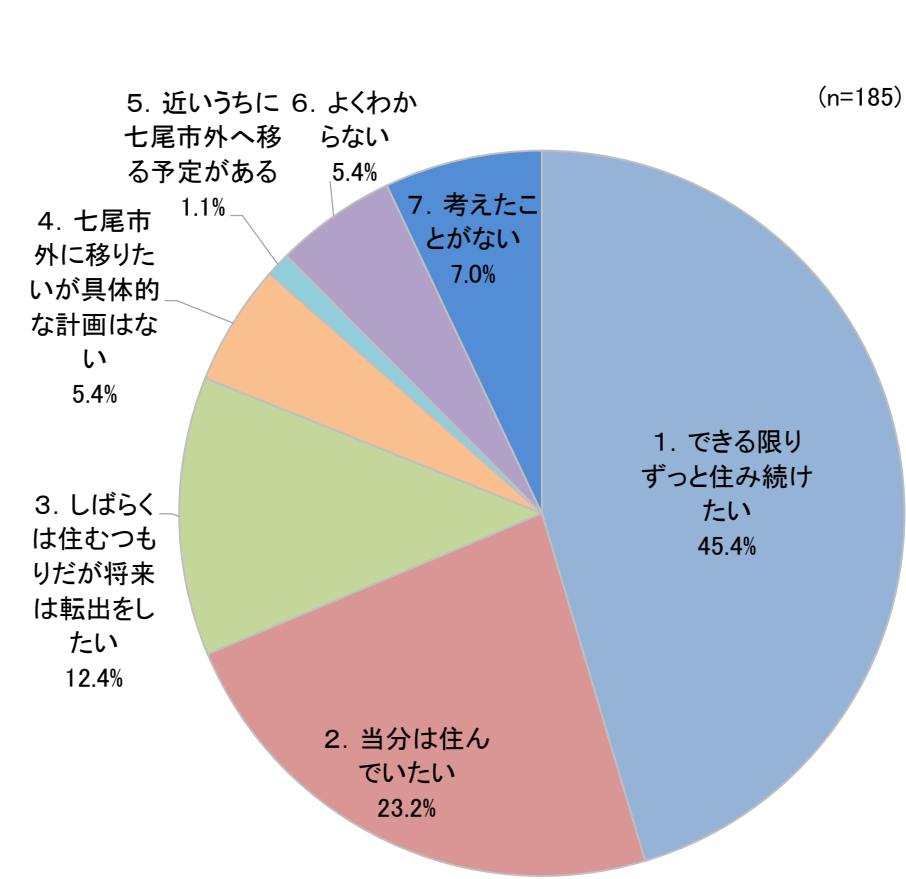


「内閣府 国民生活に関する世論調査」の結果を参考にしている。
<https://survey.gov-online.go.jp/h30/h30-life/index.html>

	満足している	まあ満足している	やや不満だ	不満だ	どちらともいえない	わからない	満足計	不満計
全体(185)	15.1	54.1	16.8	7.0	5.9	1.1	69.2	23.8
男性(106)	16.0	50.9	18.9	6.6	5.7	1.9	67.0	25.5
女性(79)	13.9	58.2	13.9	7.6	6.3	0.0	72.2	21.5
20代(8)	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	75.0	25.0
30代(47)	8.5	51.1	21.3	8.5	10.6	0.0	59.6	29.8
40代(82)	18.3	57.3	14.6	3.7	3.7	2.4	75.6	18.3
50代(38)	10.5	57.9	13.2	13.2	5.3	0.0	68.4	26.3
60代以上(10)	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0	0.0	60.0	30.0
U・Jターン(92)	20.7	56.5	13.0	5.4	3.3	1.1	77.2	18.5
Iターン(24)	12.5	50.0	20.8	8.3	4.2	4.2	62.5	29.2
Nターン(69)	8.7	52.2	20.3	8.7	10.1	0.0	60.9	29.0
会社に所属(117)	12.8	52.1	19.7	9.4	5.1	0.9	65.0	29.1
シゴト単位で働く(61)	21.3	57.4	11.5	1.6	6.6	1.6	78.7	13.1
内閣府調査全国平均	12.2	62.5	19.5	4.8	0.8	0.2	74.7	24.3

Q25.あなたは七尾市にこれからも住み続けたいと思いますか。

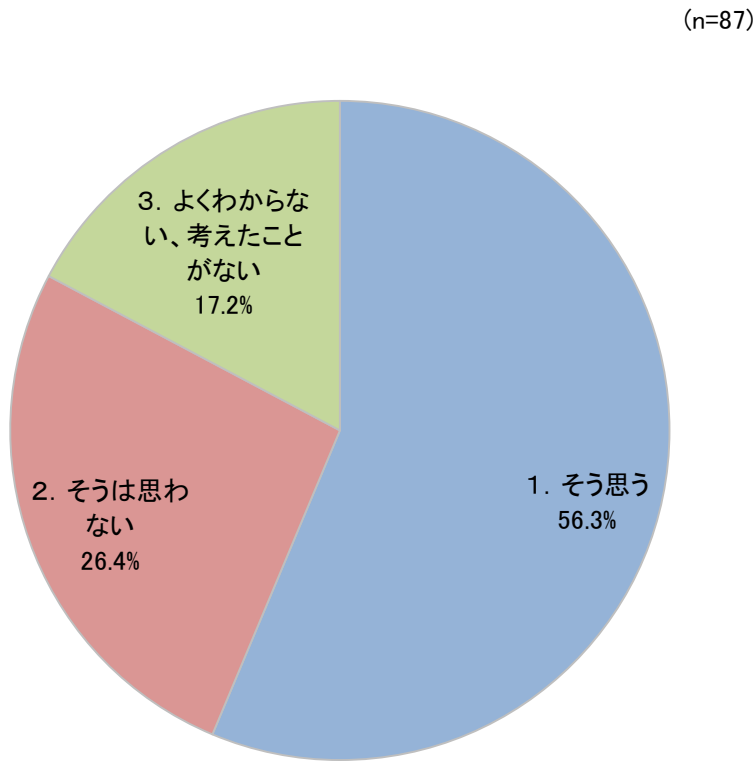
できる限りずっと住み続けたいが45.4%、当分は住んでいたいが23.2%である。一方、将来は転出をしたいが12.4%、移りたいが5.4%、移る予定があるが1.1%である。Iターンについては、住み続けたいという意向が低い反面、U・Jターンの人の定住意向は高い。



	できる限りずっと住み続けたい	当分は住んでいたい	しばらくは住むつもりだが将来は転出をしたい	七尾市外に移りたいが具体的な計画はない	近いうちに七尾市外へ移る予定がある	よくわからない	考えたことがない
全体(185)	45.4	23.2	12.4	5.4	1.1	5.4	7.0
男性(106)	45.3	23.6	13.2	7.5	0.0	3.8	6.6
女性(79)	45.6	22.8	11.4	2.5	2.5	7.6	7.6
20代(8)	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
30代(47)	44.7	19.1	14.9	4.3	2.1	8.5	6.4
40代(82)	43.9	26.8	12.2	3.7	1.2	4.9	7.3
50代(38)	42.1	26.3	10.5	10.5	0.0	5.3	5.3
60代以上(10)	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
U・Jターン(92)	50.0	27.2	8.7	7.6	1.1	3.3	2.2
Iターン(24)	29.2	16.7	37.5	4.2	0.0	8.3	4.2
ノーターン(69)	44.9	20.3	8.7	2.9	1.4	7.2	14.5
会社に所属(117)	40.2	29.9	10.3	6.0	0.9	6.8	6.0
シゴト単位で働く(61)	52.5	13.1	18.0	3.3	0.0	3.3	9.8

Q26.子どもたちが大きくなった時に、七尾市で暮らしてほしいと思いますか。

そう思うが56.3%に対して、そう思わないが26.4%である。
特に「そう思う」の割合が、U・Jターンの人の64.1%と全体より高く、逆にノーターンは48.6%と全体より低い。



	そう思う	そうは思わない	よくわからない、考えたことがない
全体(87)	56.3	26.4	17.2
男性(54)	66.7	20.4	13.0
女性(33)	39.4	36.4	24.2
20代(1)	100.0	0.0	0.0
30代(27)	63.0	22.2	14.8
40代(53)	54.7	28.3	17.0
50代(6)	33.3	33.3	33.3
60代以上(0)	0.0	0.0	0.0
U・Jターン (39)	64.1	25.6	10.3
Iターン(11)	54.5	18.2	27.3
ノーターン(37)	48.6	29.7	21.6
会社に所属(117)	56.9	24.1	19.0
シゴト単位で働く(61)	55.6	33.3	11.1

現在の暮らしの満足度と幸福感の得点をみると、得点の高い人ほど、満足と回答する人の割合が高まるという結果である（逆も同様に言えている）。住み続けたいかどうかや子供に七尾で暮らしてほしいかも同様の傾向である。

◎現在の暮らしに満足しているか

	満足している	まあ満足している	やや不満だ	不満だ	「満足」 （満足＋まあ 満足の計）	「不満」 （やや不満＋ 不満の計）
全体(185)	15.1	54.1	16.8	7.0	69.2	23.8
4 点以下 (22)	0.0	13.6	31.8	40.9	13.6	72.7
5 ～ 7 点 (83)	2.4	57.8	26.5	3.6	60.2	30.1
8 点以上 (80)	32.5	61.3	2.5	1.3	93.8	3.8

◎幸福感得点

	平均点	8 点以上の割合	4 点以下の割合
全体(185)	6.8	43.2	11.9
満足 (128)	7.6	58.6	2.3
不満 (44)	4.8	6.8	36.4
不明 (13)	5.4	15.4	23.1

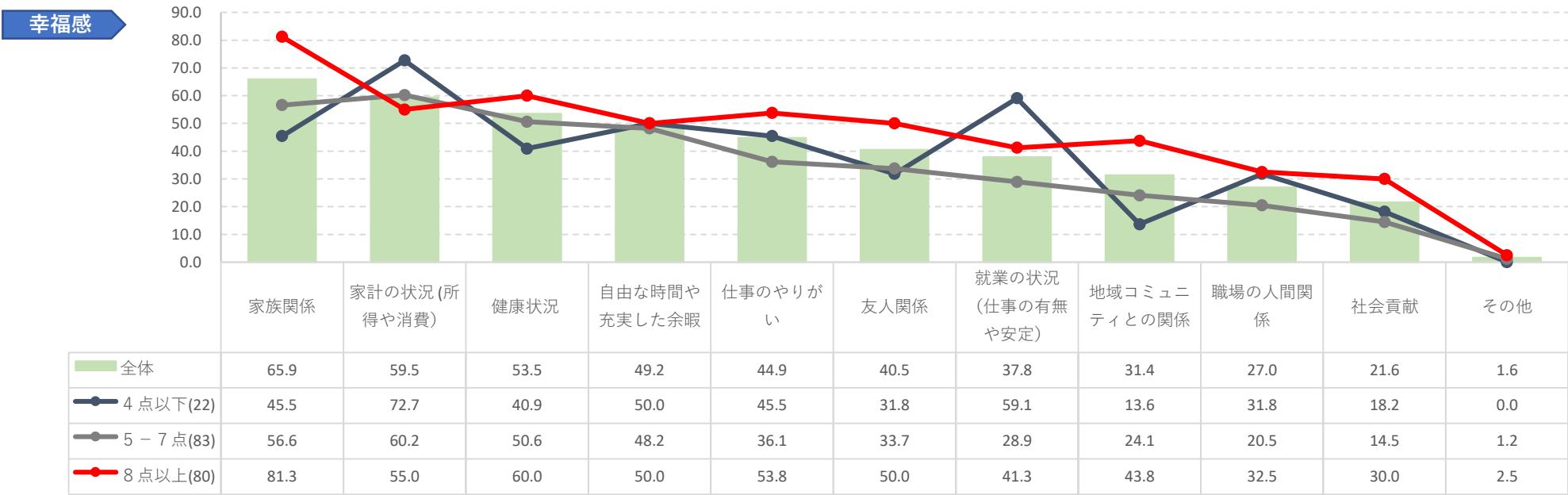
◎七尾に住み続けたいかどうか

	ずっと 住み続けたい	当分は 住んでいたい	転出の希望や 予定がある
全体(185)	45.4	23.2	18.9
満足 (128)	53.9	27.3	11.7
不満 (44)	22.7	15.9	38.6
不明 (13)	38.5	7.7	23.1
4 点以下 (22)	18.2	9.1	50.0
5 ～ 7 点 (83)	38.6	30.1	18.1
8 点以上 (80)	60.0	20.0	11.3

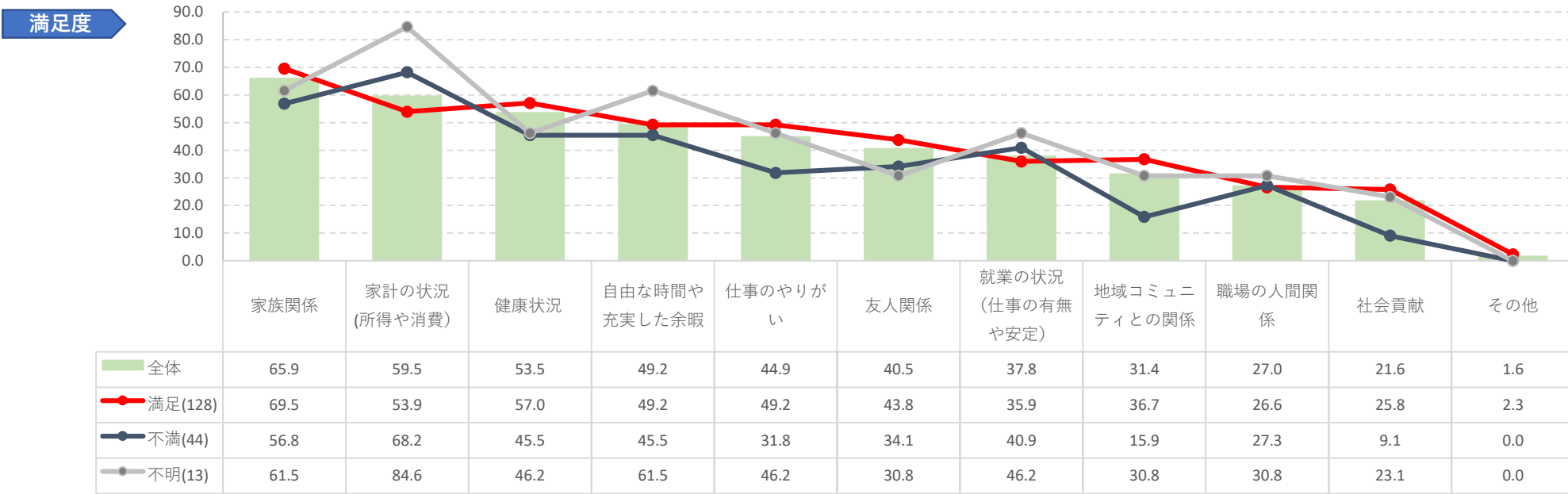
◎子どもに七尾で暮らしてほしいか（子供がある親に）

	そう思う	そう思わない	よくわからない、 考えたことがない
全体(87)	56.3	26.4	17.2
満足 (65)	63.1	23.1	13.8
不満 (17)	29.4	35.3	35.3
不明 (5)	60.0	40.0	0.0
4 点以下 (9)	22.2	44.4	33.3
5 ～ 7 点 (43)	53.5	27.9	18.6
8 点以上 (35)	68.6	20.0	11.4

幸福感



満足度



第3章 能登出身者調査の結果

第1節 結果のサマリー

	設問内容	備考
S C 問1	出身地	調査対象地域の自治体名を記載
S C 問2	能登に住んでいるかどうか	能登在住者は対象外
問1	出身地に実家があるかの有無	
問2	実家への帰省の有無	（出身地に実家がある人に聞く）
問3	出身地（実家があった街）への訪問の有無	（今は出身地に実家がない人に聞く）
問4	出身地を離れた理由	
問5	出身地に就職の時に戻らなかった理由	
問6	出身地にUターンする可能性	
問7	Uターンしたい理由	
問8	Uターンをしない・できない理由	
問9	能登のイメージ	参考：能登の観光振興に向けたアンケート調査
問10	能登についてどのような情報が欲しいか	参考：島根県のU I ターン者等への意識調査結果
問11	地方の働き方を考えるのであれば参考となる情報	
問12	現住所	現住所は全国
問13	結婚の有無	
問14	世帯構成	
問15	子どもや高齢者の同居有無	
問16	就業状況	
問17	実家や出身地について心配なこと	

主な回答者の属性

- 男性が67.0%、女性が33.0%である。
 - 平均年齢は、46.2歳、男性が46.7歳、女性が45.3歳である。
 - 実家が能登にあって独身の人が18.0%、実家が能登にあって既婚等（別離・死別や答えたくない人含む）63.0%、実家が能登にない人が19.0%である。
- ※本報告書では、●印のある性別・年齢別・能登の実家の有無と独身既婚の組み合わせを主な分析軸としている。

その他回答者の属性は次のとおりである。

- 出身地（ここでの出身地とは、中学校まで主に過ごした場所のこと）は、七尾市と輪島市がそれぞれ22.0%、珠洲市と羽咋市がそれぞれ13.0%、能登町と中能登町がそれぞれ9.0%、穴水町と志賀町がそれぞれ5.0%、宝達志水町が2.0%である。
- 就業状況は社員として働いている人が66.0%、パート等で働いている人が8.0%（＝「会社に所属している」人は74.0%）、自営業・自由業・業務委託で働いたり農家の人（＝「シゴト単位で働く」人）が9.0%、働いていない人が17.0%であり、学生はいない。
- 既婚が71.0%、別離・死別が6.0%で、結婚したことがある人が77.0%。結婚していない人は21.0%である。（答えたくない人が2.0%）
- 親子2世代世帯が36.0%、親子孫3世代世帯が5.0%、夫婦だけの世帯が34.0%、一人暮らしが24.0%である。（その他が1.0%）
- 世帯年収を答えてくれた方の平均額は、約664万円である。

今回の調査でわかった主な数値指標（全体）

能登の実家がある人の帰省頻度
40.8%が年に3～4回以上帰省
※帰省はしないという人は2.5%。

すでに能登には実家がない人の能登に戻って来る頻度
26.4%が年に1～2度は能登に戻ってきている ※まったくない人は21.1%。

就職の時に能登地方を選ばなかった理由
学んだことが生かせる仕事なかった 50.6%
仕事があったが収入や将来性が不安 29.9%

Uターンをしたい理由
能登で働きたいから 60.0%
※働き方を変えたい、居住環境、生活費はそれぞれ 40.0%

Uターンできない理由
やりたい仕事の種類や幅が少ない 42.1%
働きたいと思う仕事や種類がない 25.0%
自分が求める給与水準の仕事がない 22.4%

能登を離れたきっかけが大学や専門学校への進学
54.0% ※就職は32.0%

親の将来の不安・心配事
認知症・病気ケガ・生活費が上位

Uターン（15年以内に）を考えている人
15.0% ※5年以内は8%

能登出身者の能登についてのイメージ
豊かな自然や美しい景観 70.0%
美味しい食べ物 63.0%

能登についてほしい情報
働ける仕事の情報 42.0%
※生活費や医療レベルが2位で26.0%

地域での働き方を考える際の参考情報
新しいワークスタイル 39.0%
事業を継ぐことの必要性 33.0%
リモートワークの作り方 32.0%
やりたい仕事の見つけ方 27.0%

全体数値の結果より

- 自分の出身地に今も実家がある人が76.0%、出身地ではないが能登地方に実家がある人が5.0%。あわせて81.0%が今も『能登に実家がある』と回答。対して「出身地でも能登地方でもないところに実家がある」人が5.0%、「実家がない人」が14.0%で、あわせて19.0%が『能登には実家がない』と回答した。
- 能登に実家がある人は、週に1回以上が2.5%、2週間に1回程度が3.7%、月に1回程度が6.2%と、月1度以上定期的に実家を訪ねている人が1割強（12.4%）いる。年に3～4回程度の人が28.4%、年に1～2回の人が38.3%と約3分の2の人が年に数回以上は帰省で能登に戻ってきている。また、能登に実家のない人は、年に数回以上能登に戻ってくる人が全体の5.3%、年に1～2度の人が21.1%、数年に一度程度の人が52.6%、実家のあった街に行くことはない＝能登に戻ってくることはない人が21.1%である。
- 能登へ戻って来るのが「年に1度以上」の割合で比べると、『能登に実家がある人』は79.0%であるのに対し、『能登に実家がない人』は26.4%にとどまる。また、能登に戻ってくることがない人も、能登に実家がある人の2.5%に対して、能登に実家がない人は21.1%である。
- 能登を離れたきっかけは、大学や専門学校への進学が54.0%で最も多く、次いで就職が32.0%であった。
- 就職の時に能登を選ばなかった理由としては、「学んだことが生かせる働きたいと思う仕事なかった」が50.6%で最も高く、第2位の「仕事はあったが、収入や将来性が不安だった」（29.9%）とあわせて働くことに関する項目が最上位であった。
- Uターン（15年以内）を考えている人が全体の15.0%、Uターンの予定がない人が全体の69.0%であった。
- Uターンを考えている人の理由は「能登で働きたいから」が最も高かった。
- Uターンが難しい・できない理由は「やりたい仕事の種類や幅が少ない」が42.1%で最も高かった。以下「働きたいと思う仕事や会社がない」（25.0%）「自分が求める給与水準の仕事がない」（22.4%）と、収入とそれに関連する仕事を中心としたライフスタイルに関する回答が上位に来ている。
- 能登出身者の能登のイメージは「豊かな自然や美しい景観」が70.0%、「おいしい食べ物」が63.0%でこの2つが上位。

全体数値の結果より

- 能登についてほしい情報は「働ける仕事の情報」が42.0%でもっとも高く、次いで生活費の相場感と医療費の情報がそれぞれ26.0%で続いている。
- 地方での働き方を考える際に参考となる情報は、新しいワークスタイル（副業・複業・兼業といった新しい働き方について）が39.0%で最も高く、次いで「仕事を継ぐことの必要性」（33.0%）、「大都市圏と遠隔で作業している人の仕事の作り方」（32.0%）の順である。
- 現状の課題や心配は「病気やケガ」が36.0%で最も高く、「介護」（19.8%）「物忘れや認知症」「振り込め詐欺」（それぞれ17.4%）が続く。将来の不安については、「物忘れや認知症」が47.7%で最も高く、病気やケガが40.7%、生活費が30.2%と続く。

性別・年齢別にみられる特徴

※年齢は20代と70代以上がそれぞれ10サンプル以下のため参考値としており、本分析では扱っていないことに龍資する必要がある。

能登を離れた理由は、高齢者で「就職」の割合が全体より高い

- ・就職で能登を離れたと回答した人は、60代で45.5%。現在は大学進学で離れた人が大半だが、高齢者は高校卒業後に就職をして能登を離れた人もいと考えられる。

就職で能登に戻らなかった理由で男女で差があり高い項目は、男性は「仕事面での不安」が、女性は「仲の良い友達がいた」。

- 男性＞女性
- ・学んだことが生かせる仕事なかった
男性55.0% ＞ 女性40.7%
- ・仕事はあったが収入面が不安 男性35.0% ＞ 女性18.5%
女性＞男性
- ・能登以外に仲の良い友達がいた 女性14.8% ＞ 男性3.3%

Uターンを考えている人は男性の方が割合が高い。

- ・15年以内にUターンを考えている人は男性19.5%、女性6.0%、今はUターンするつもりはない人は、男性34.3%、女性60.6%。

男性の方が、いま実家の親の「心配事がない」人の割合が高い。

- ・現在の課題困りごとがないという回答が男性22.4%に対して、女性は10.7%である。

Uターンが難しい理由で、男女差があり高い項目は、男性は「仕事や会社」が、女性は「祭りや地域コミュニティ、親戚との関係性」。

- 男性＞女性
- ・やりたい仕事の種類や幅が少ない 男性54.2% ＞ 女性21.4%
- ・働きたいと思う仕事や会社がない 男性33.3% ＞ 女性10.7%
- 女性＞男性
- ・親や親せきとの関係性 女性10.7% ＞ 男性2.1%
- ・祭りや地域コミュニティ ・地元の友人や知人との付き合い
女性14.3% ＞ 男性4.2% 女性17.9% ＞ 男性2.1%

Uターンが難しい理由で、30代が「自分の求める給与水準」「収入や生活のやりくり」が高い。

- 自分が求める給与水準 全体22.4% 30代42.9%
- 移住後の収入や生活のやりくり 全体21.1% 30代42.9%

能登についてほしい情報は、女性の方が生活の安心・安全につながる情報が欲しい様子。

- 男女差がみられるもの
- 細かい天候や積雪量 男性10.4% 女性27.3%
- 災害リスク 男性13.4% 女性24.2%
- 介護や福祉サービス 男性13.4% 女性27.3%
- 結婚や婚活支援 男性4.5% 女性18.2%

「地域で働く」を考えるヒントに、男女差がある。

- 男女差がみられるもの
- 事業継承の必要性 男性29.9% 女性39.4%
- 地域で仕事を見つけるポイント 男性13.4% 女性24.2%
- 異業種転職について 男性17.9% 女性30.3%
- 給与水準とくらしの関係 男性25.4% 女性 9.1%

実家の有無と既未婚の組み合わせ

実家があり独身の方が頻繁に実家に戻って来る

・ 1 カ月に1度以上戻って来る人は、独身が16.7%、既婚者は11.2%である。また、帰省しないという人は独身ではない。

実家があり独身の人は、能登を独特な文化がある辺鄙なイメージが強い様子である。

- ・ 実家があり独身の人が全体と比べて特に高い項目は次の通り。

豊かな自然や美しい環境	83.3%（全体70.0%）
独特な生活・文化がある	61.1%（全体37.0%）
人情味あふれる土地柄である	38.9%（全体21.0%）
大都市から行きにくい	44.4%（全体31.0%）

実家があり独身の人は、能登について、移住後の安心できる暮らしにつながる情報を求めている。

- ・ 実家があり独身の人が全体と比べて特に高い項目は次の通り。

働ける仕事の情報	61.1%（全体42.0%）
生活費の相場観	38.9%（全体26.0%）
天気や積雪量	33.3%（全体16.0%）
移住窓口や相談体制	33.3%（全体19.0%）
助成等の支援体制	27.8%（全体16.0%）
起業について	27.8%（全体17.0%）
災害リスク	27.8%（全体17.0%）

実家があり独身の人は、新しい仕事のスタイル・地方で新しい働き方で仕事を見つけるためのポイントを探っている。

- ・ 実家があり独身の人が全体と比べて特に高い項目は次の通り。

パラレルワーク	55.6%（全体39.0%）
上流の仕事ができるか	27.8%（全体17.0%）
地域で仕事を見つけるポイント	33.3%（全体17.0%）

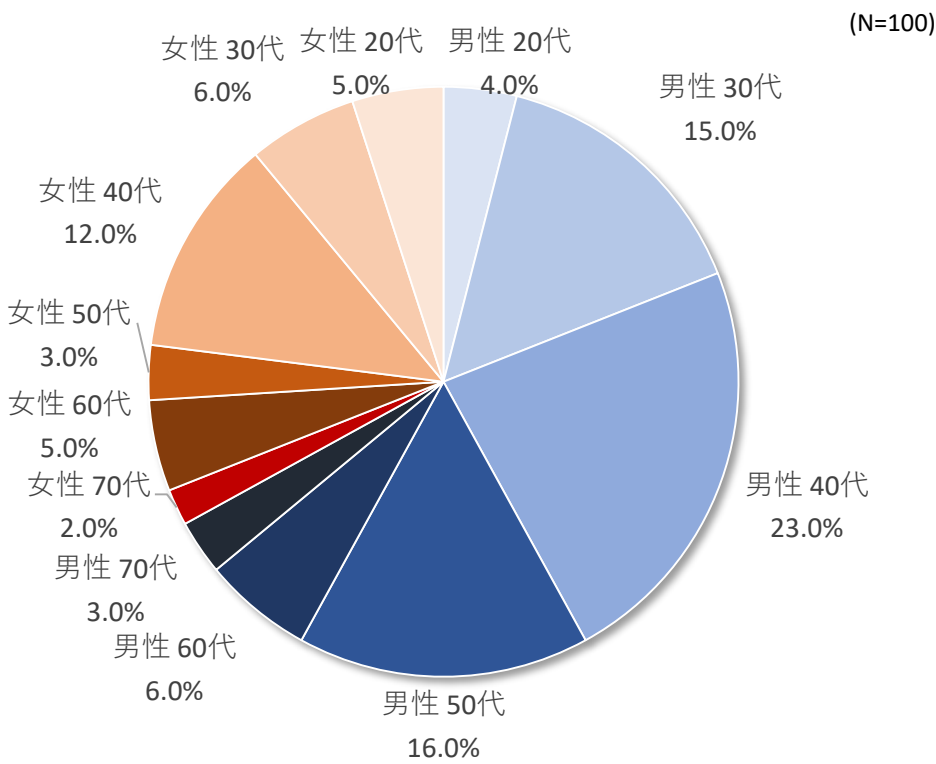
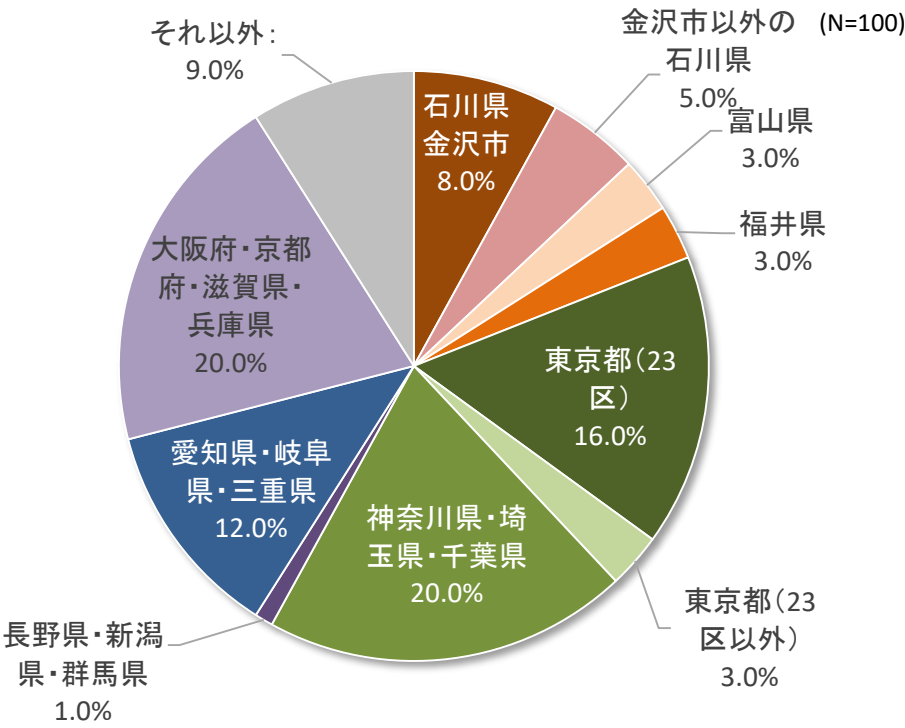
第 2 節 調查結果

問：あなたの現住所をお聞かせください。

北陸3県が19.0%、東京都が19.0%、神奈川・埼玉・千葉の各県が20.0%、愛知・岐阜・三重の東海3県が12.0%、大阪・京都・兵庫・滋賀の近畿2府2県が20.0%、その他が9.0%である。

問：あなたの性年齢をお聞かせください。

男性40代が最も多く23.0%、男性50代16.0%、男性30代15.0%と続いた。男女比は男性が67.0%、女性が33.0%である。平均年齢は46.2歳、男性が46.7歳、女性が45.3歳である。



問：あなたは結婚していますか。

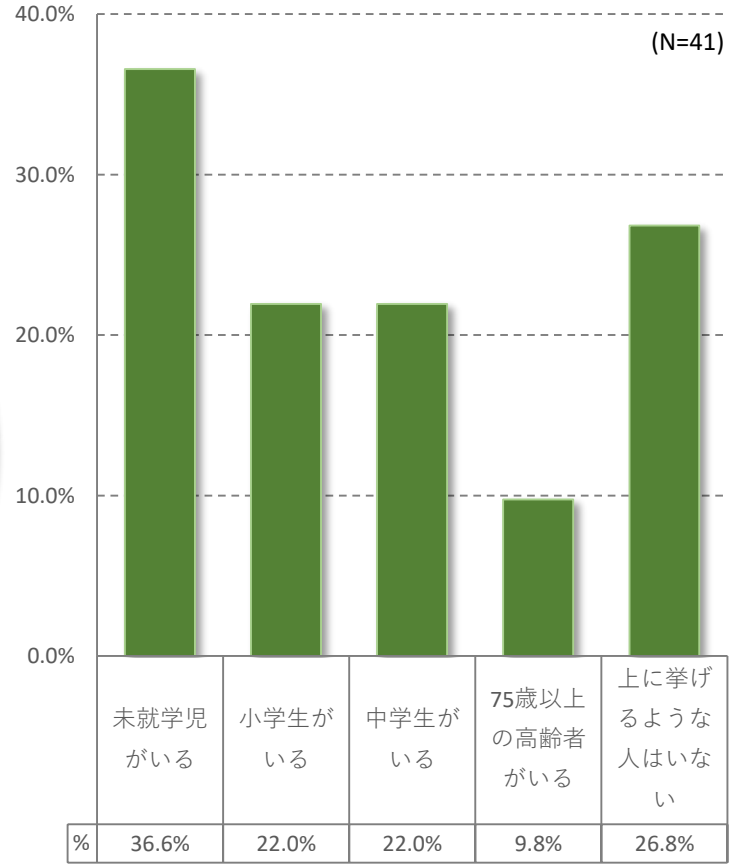
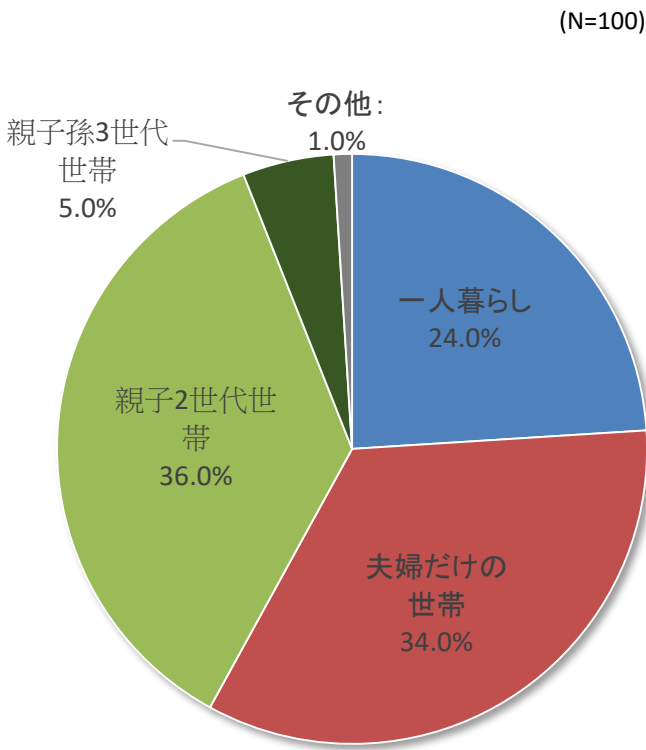
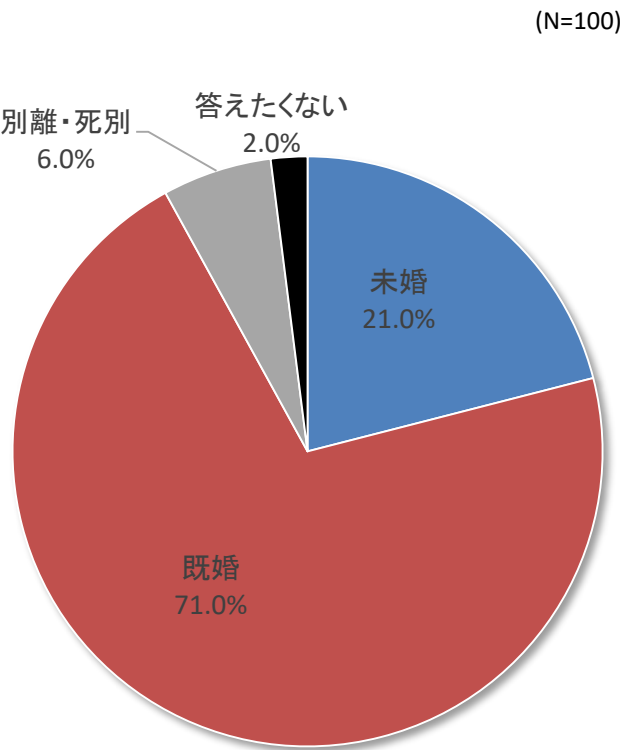
既婚が71.0%、別離・死別が6.0%で、結婚したことがある人が77.0%。結婚していない人は21.0%である。

問：あなたはどのような世帯構成ですか。

親子2世代世帯が最も多く36.0%、夫婦だけの世帯が34.0%、一人暮らしが24.0%、親子孫3世代世帯が5.0%である。

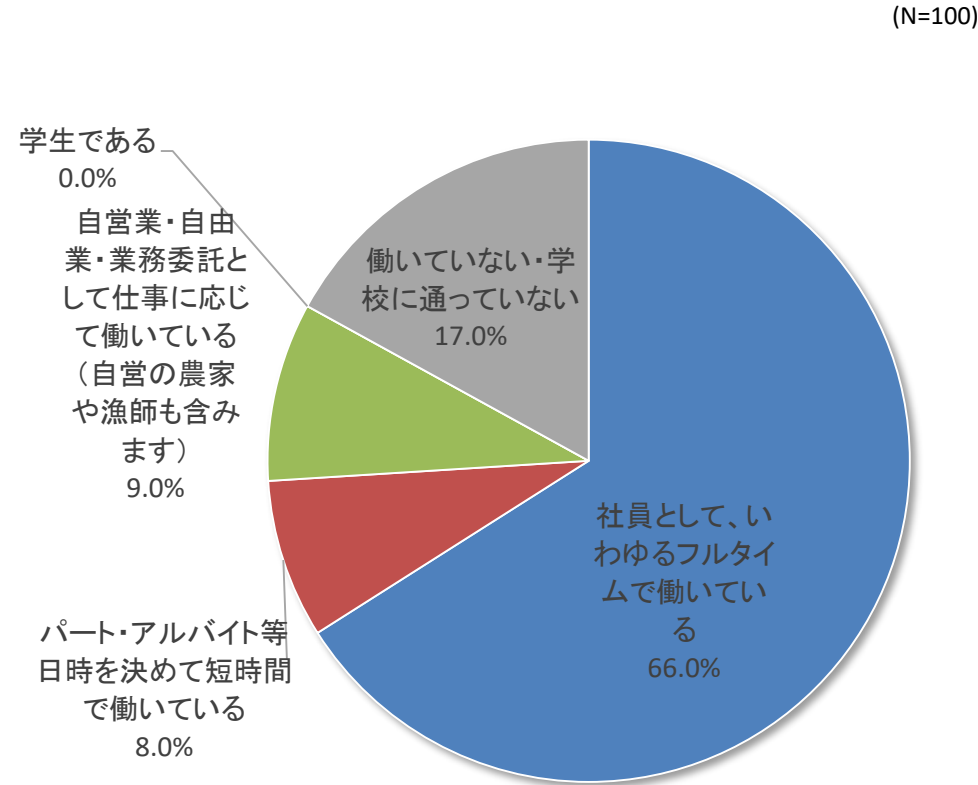
問：（親子二世帯世帯・親子孫3世代世帯に）次に挙げる人と一緒に暮らしていますか。

未就学児がいる人が36.6%、小学生がいる人と中学生がいる人がそれぞれ22.0%、75歳以上の高齢者がいる人は9.8%である。



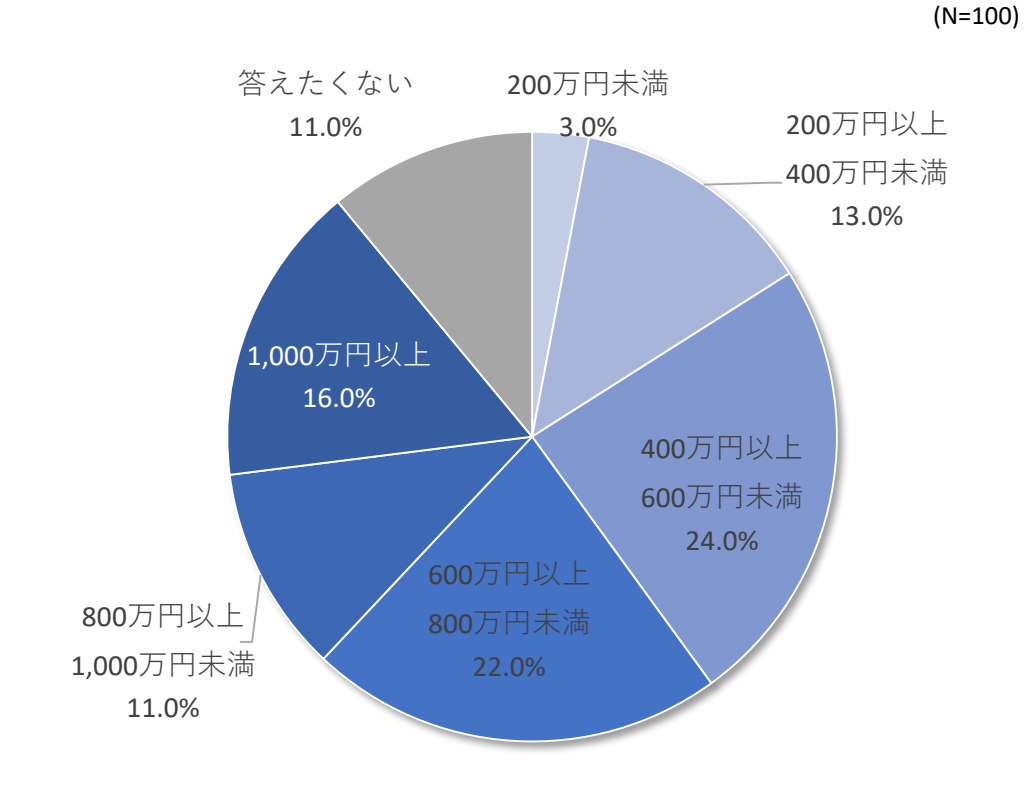
問：あなたの就業状況を教えてください。
複数の仕事をしている場合は、最も長い期間のものを選んでください。

社員として働いている人が66.6%、パート・アルバイトで働いている人が8.0%、4分の3の人が何かしら企業に所属して働いている。自営や自由業の人は9.0%、働いていない人が17.0%である。



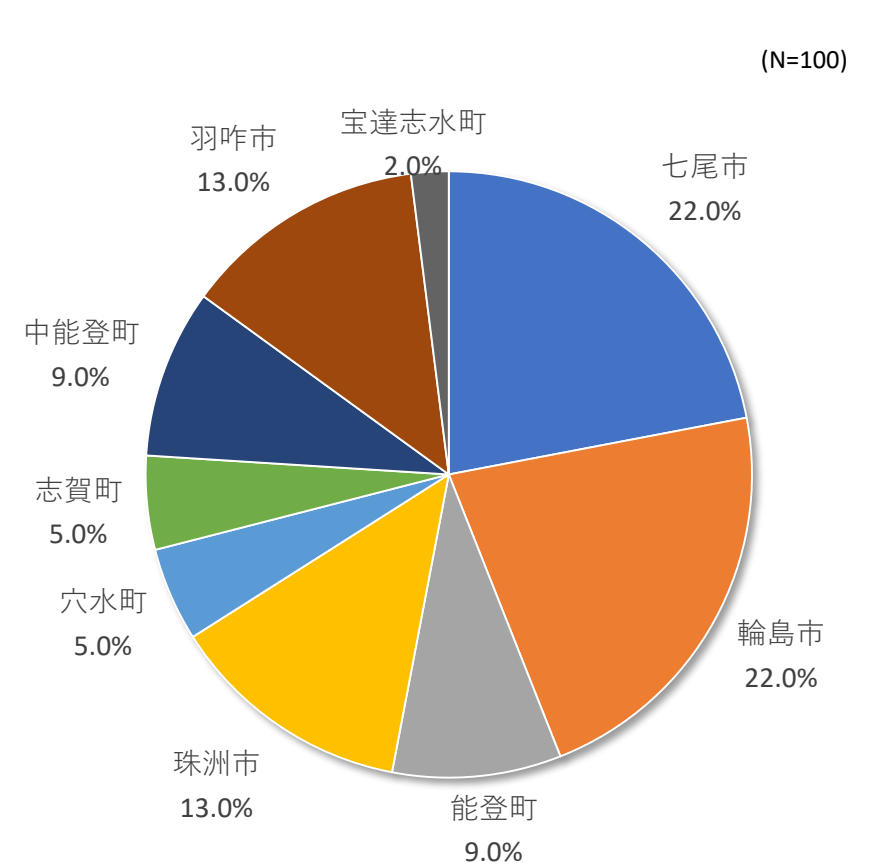
問：あなたの世帯年収をお聞かせください。
※わからない方はおよその世帯年収をお答えください。

400~600万円が24.0%と最も多く、以下600~800万円（22.0%）、1000万円以上（16.0%）、200~400万円（13.0%）、800~1,000万円（11.0%）と続く。世帯年収を答えてくれた人の平均は約664万円である。世帯年収を答えてくれた人の平均は約664万円である。



問：あなたの出身地をお答えください。
（ここでの出身地とは、中学校まで主に過ごした場所のことです）

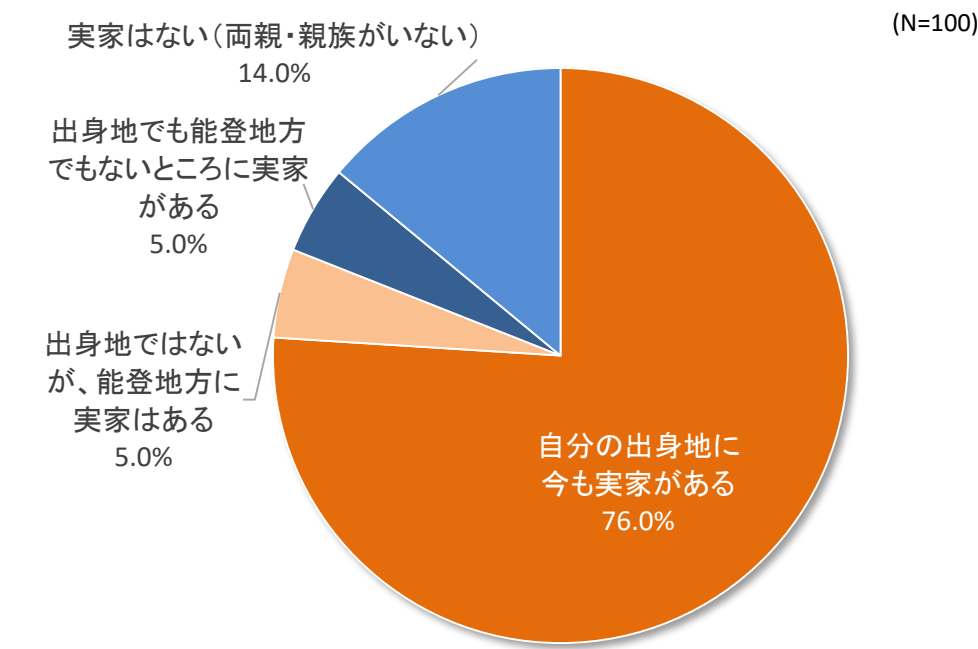
今回の調査回答者のうち、七尾市出身者は22.0%であった。輪島市が22.0%、珠洲市、羽咋市がそれぞれ13.0%で、能登半島の「市」出身者は今回の回答者の70.0%を占める。
※2018年4月現在の9市町の人口構成は、4市計102,700人に対し5町計78,347人であることから、やや「町」出身者の数が少なめである。



	七尾市	輪島市	能登町	珠洲市	穴水町	志賀町	町中能登	羽咋市	水町宝達志
全体(100)	22.0	22.0	9.0	13.0	5.0	5.0	9.0	13.0	2.0
男性(67)	22.4	20.9	11.9	10.4	4.5	4.5	9.0	14.9	1.5
女性(33)	21.2	24.2	3.0	18.2	6.1	6.1	9.1	9.1	3.0
20代(9)	22.2	11.1	0.0	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
30代(21)	38.1	23.8	9.5	14.3	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8
40代(35)	17.1	20.0	14.3	2.9	5.7	11.4	17.1	11.4	0.0
50代(19)	26.3	21.1	10.5	0.0	5.3	0.0	10.5	21.1	5.3
60代(11)	0.0	18.2	0.0	36.4	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0
70代(5)	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実家あり 独身 (18)	11.1	22.2	11.1	16.7	11.1	16.7	0.0	11.1	0.0
実家あり 既婚等 (63)	23.8	25.4	6.3	14.3	4.8	3.2	11.1	9.5	1.6
実家なし (19)	26.3	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	10.5	26.3	5.3

問：あなたは今、出身地に実家がありますか。

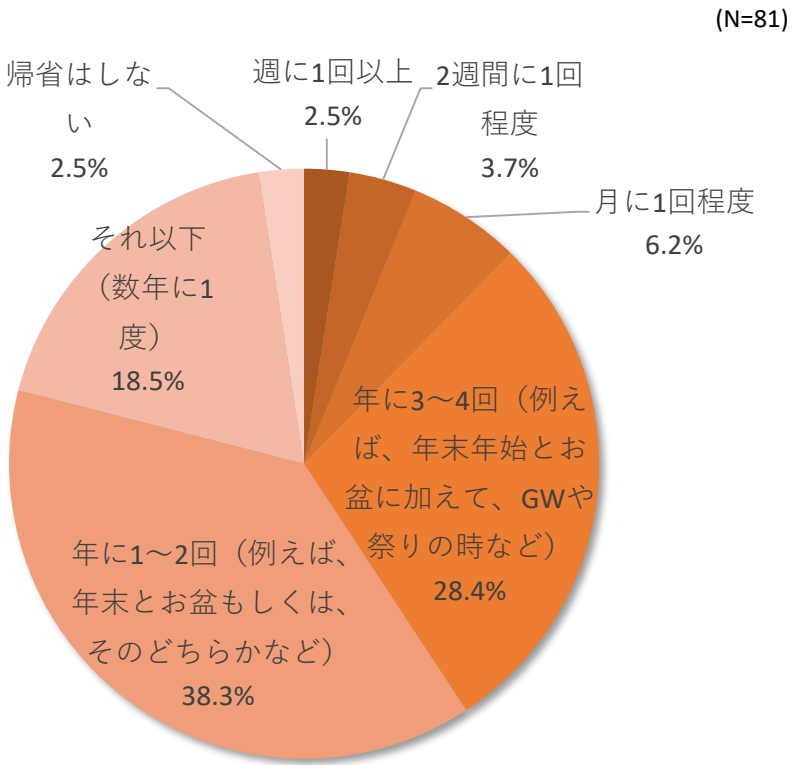
自分の出身地に今も実家がある人が76.0%、出身地ではないが能登地方に実家がある人が5.0%。あわせて81.0%が今も「能登に実家がある」人である。対して、「出身地でも能登地方でもないところに実家がある」人が5.0%、「実家がない人」が14.0%で、あわせて19.0%が「能登には実家がない」人である。20・30代は、86.7%が「能登に実家がある」と回答している。



	自分の出身地に今も実家がある	出身地ではないが、能登地方に実家はある	出身地でも能登地方でもないところに実家がある	実家はない(両親・親族がいない)
全体(100)	76.0	5.0	5.0	14.0
男性(67)	76.1	6.0	4.5	13.4
女性(33)	75.8	3.0	6.1	15.2
20代(9)	100.0	0.0	0.0	0.0
30代(21)	71.4	9.5	4.8	14.3
40代(35)	82.9	5.7	5.7	5.7
50代(19)	47.4	5.3	10.5	36.8
60代(11)	100.0	0.0	0.0	0.0
70代(5)	60.0	0.0	0.0	40.0
実家あり独身(18)	94.4	5.6	0.0	0.0
実家あり既婚等(63)	93.7	6.3	0.0	0.0
実家なし(19)	0.0	0.0	26.3	73.7

(能登地方に実家がある人に)
問：あなたは実家にどの程度帰省しますか。

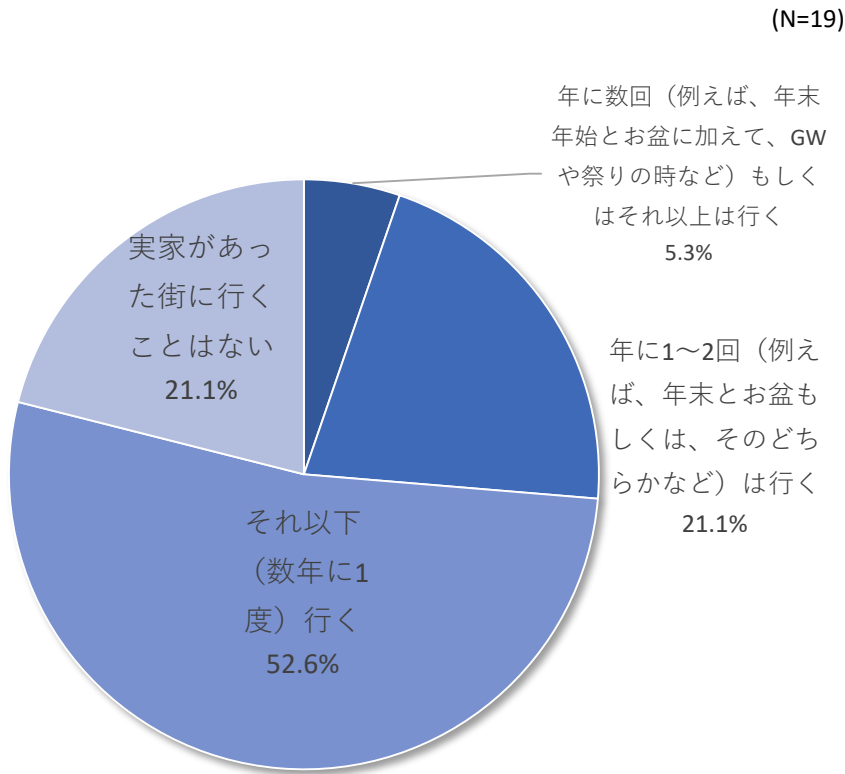
週に1回以上が2.5%、2週間に1回程度が3.7%、月に1回程度が6.2%と、月1度以上定期的に実家を訪ねている人が1割強（12.4%）いる。年に3～4回程度の人が28.4%、年に1～2回の人が38.3%と三分の2の人が、年に数回、帰省で能登に戻ってきているという結果である。



	週に1回以上	2週間に1回程度	月に1回程度	年に3～4回	年に1～2回	それ以下	帰省はしない
全体(81)	2.5	3.7	6.2	28.4	38.3	18.5	2.5
男性(55)	1.8	3.6	5.5	30.9	40.0	14.5	3.6
女性(26)	3.8	3.8	7.7	23.1	34.6	26.9	0.0
20代(9)	0.0	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0
30代(17)	0.0	11.8	0.0	23.5	52.9	5.9	5.9
40代(31)	3.2	0.0	3.2	25.8	41.9	22.6	3.2
50代(10)	0.0	10.0	10.0	20.0	50.0	10.0	0.0
60代(11)	9.1	0.0	18.2	27.3	9.1	36.4	0.0
70代(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
実家あり 独身 (18)	5.6	0.0	11.1	22.2	44.4	16.7	0.0
実家あり 既婚 (63)	1.6	4.8	4.8	30.2	36.5	19.0	3.2

(能登地方に実家がない人に)
問：あなたは出身地（実家のあったまち）に行くことがありますか。

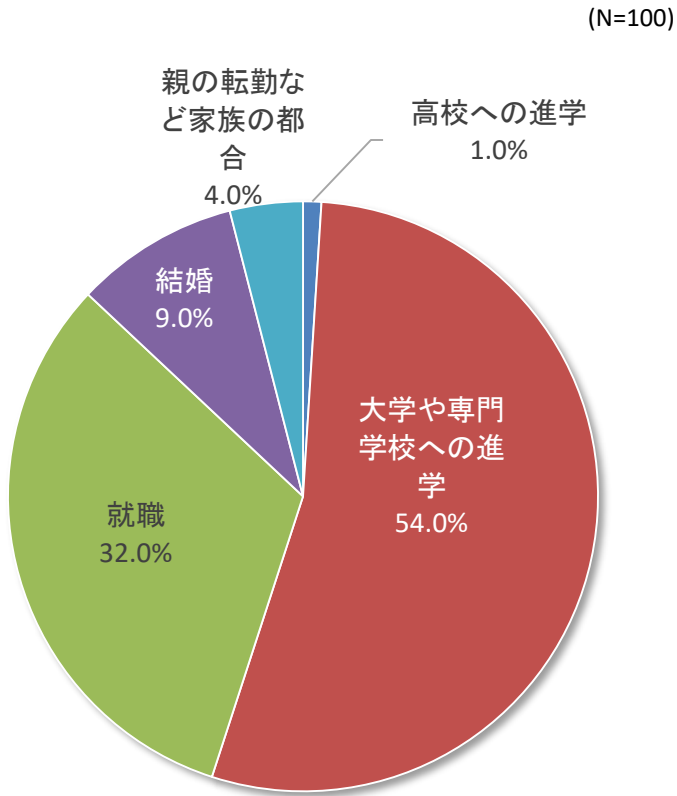
年に数回以上能登に戻ってくる人が全体の5.3%、年に1～2度の人が21.1%、数年に一度程度の人が52.6%、実家のあった街に行くことはない＝能登に戻ってくることはない人が21.1%である。
「年に1度以上」の割合で比べると、能登に実家がある人は79.0%であるのに対し、能登に実家がない人は26.4%にとどまる。また、能登に戻って来ることがない人も、能登に実家がある人の2.5%に対して、能登に実家がない人は21.1%である。



	年に数回もしくはそれ以上は行く	年に1～2回は行く	それ以下	実家があった街に行くことはない
全体 (19)	5.3	21.1	52.6	21.1
男性 (12)	8.3	25.0	50.0	16.7
女性 (7)	0.0	14.3	57.1	28.6
20代 (0)	0.0	0.0	0.0	0.0
30代 (4)	0.0	0.0	50.0	50.0
40代 (4)	0.0	25.0	75.0	0.0
50代 (9)	11.1	22.2	44.4	22.2
60代 (0)	0.0	0.0	0.0	0.0
70代 (2)	0.0	50.0	50.0	0.0

Q4.あなたは何がきっかけで出身地を離れることになったのですか。

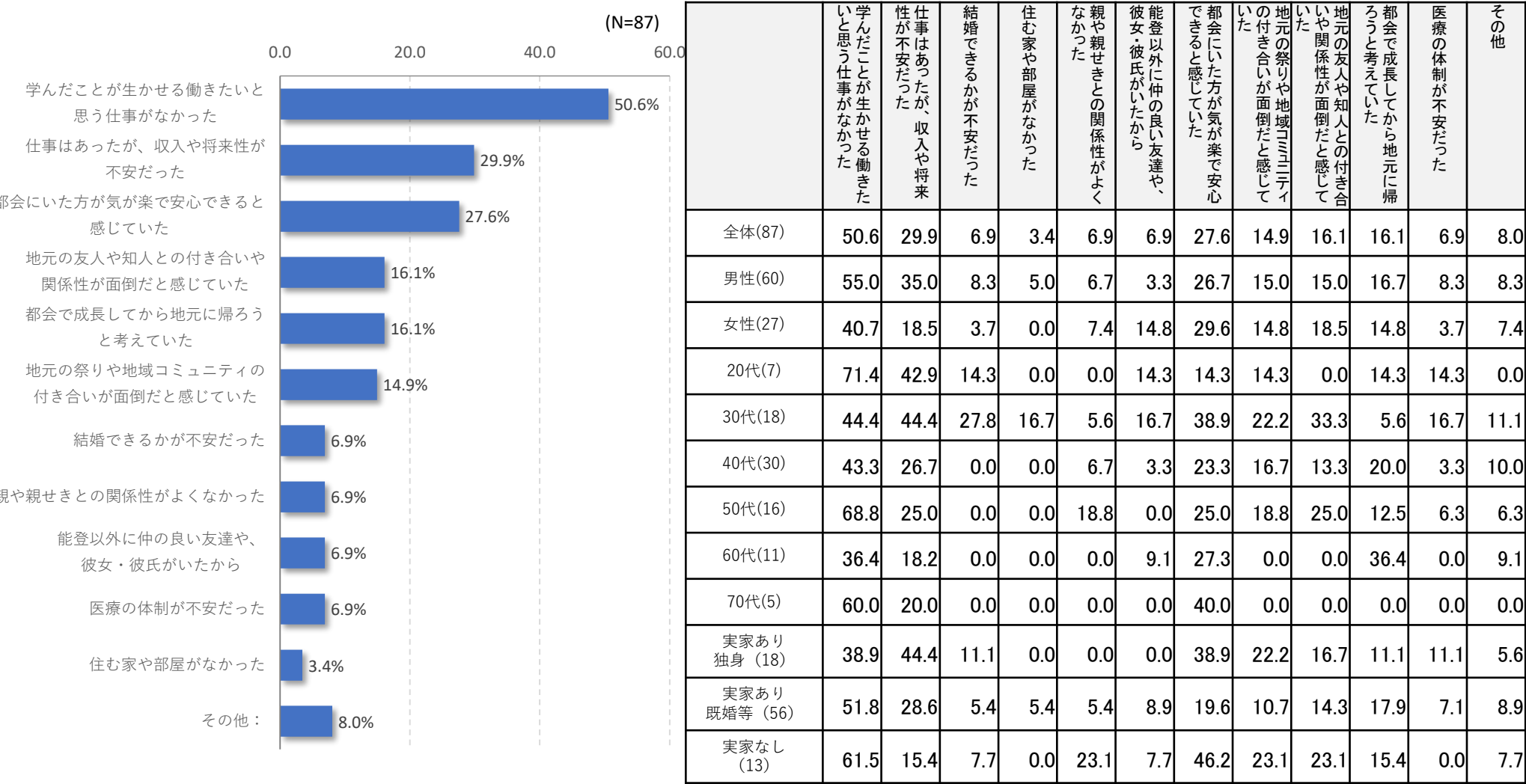
大学や専門学校への進学が54.0%で最も多く、次いで就職が32.0%であった。全体と比べると、就職の割合は60歳以上で高くなっており、高齢者は高校卒業後に就職をして能登を離れた様子が



	高校への進学	大学や専門学校への進学	就職	結婚	親の転勤など家族の都合	その他
全体(100)	1.0	54.0	32.0	9.0	4.0	0.0
男性(67)	1.5	58.2	29.9	7.5	3.0	0.0
女性(33)	0.0	45.5	36.4	12.1	6.1	0.0
20代(9)	0.0	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0
30代(21)	0.0	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0
40代(35)	2.9	51.4	31.4	8.6	5.7	0.0
50代(19)	0.0	52.6	31.6	5.3	10.5	0.0
60代(11)	0.0	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
70代(5)	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
実家あり 独身 (18)	0.0	61.1	38.9	0.0	0.0	0.0
実家あり 既婚等 (63)	1.6	54.0	33.3	11.1	0.0	0.0
実家なし (19)	0.0	47.4	21.1	10.5	21.1	0.0

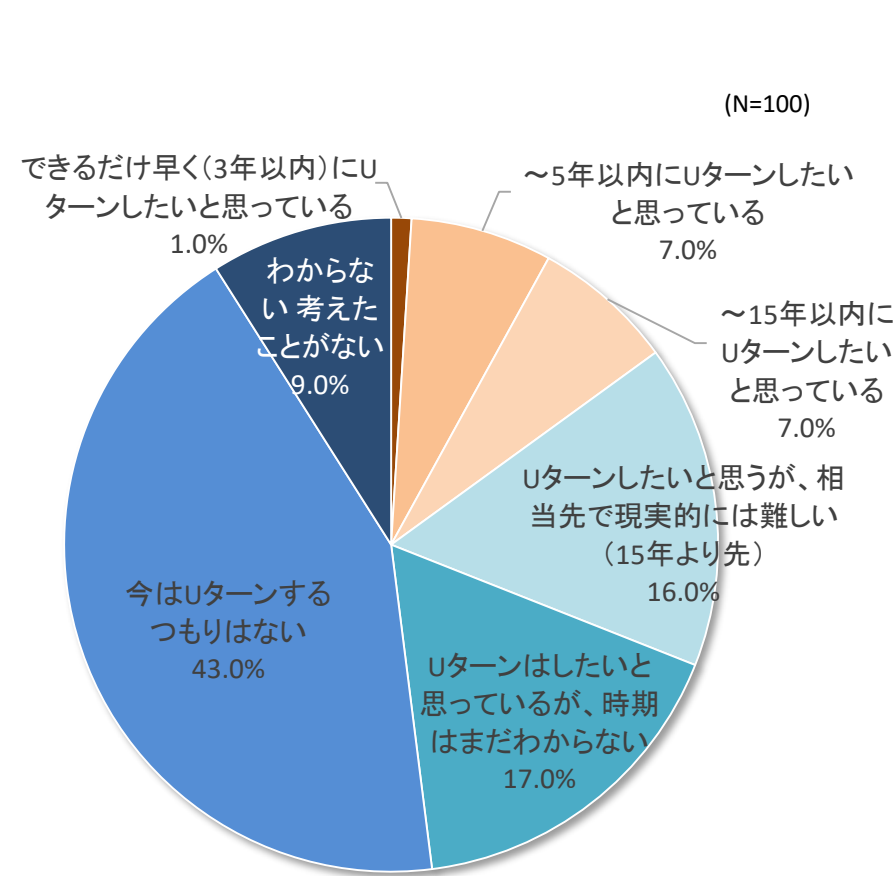
Q5.就職の時に出身地もしくは能登を選ばなかった理由として次の中で近いものを選んでください。(いくつでも)
※あなたが就職をした時のことを思い出して回答してください。 ※前問で能登を離れた理由が「就職」や「家族の都合」の人は回答していない

「学んだことが生かせる働きたいと思う仕事があった」が50.6%で最も高く、第2位の「仕事はあったが、収入や将来性が不安だった」(29.9%)とあわせて働くことに関する項目が最上位であった。次いで、「都会にいた方が気が楽で安心できると感じていた」「地元の友人や知人との付き合いや関係性が面倒だと感じていた」といった付き合いについての項目であった。特に男性で仕事に関する項目が、女性で人間関係に関する項目が高かった。



Q 6.出身地もしくは能登にUターンをする可能性や意向はどの程度ありますか。

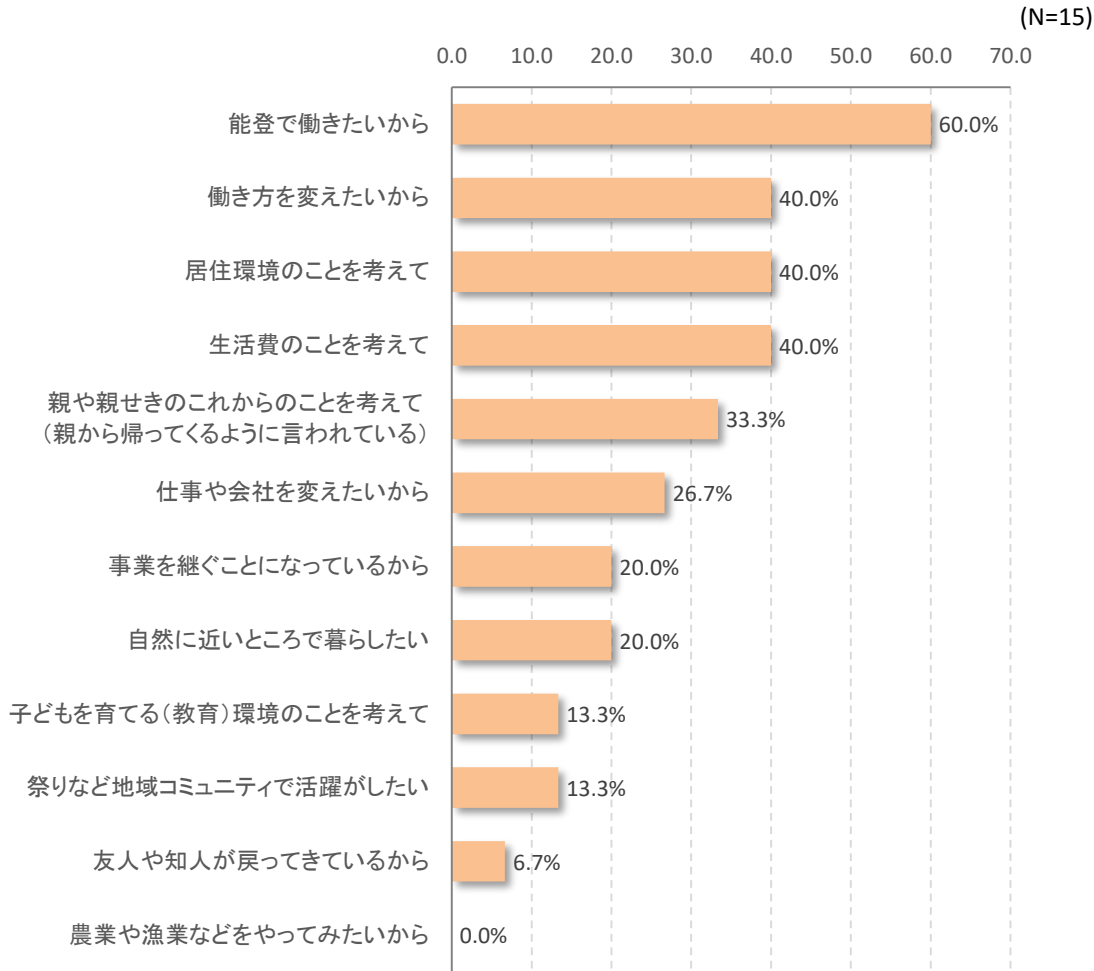
Uターンを考えている人が全体の15.0%、Uターンの予定がない人が全体の69.0%であった。男性の方がUターン意向がやや高めである。
(20.5%)



	わからない 考えたことがない	今はUターンする つもりはない	Uターンはしたいと 思っているが、時期 はまだわからない	Uターンしたいと思 うが、相当先で現実 的には難しい(15年 より先)	15年以内にUターン したいと思っている	5年以内にUターン したいと思っている	できるだけ早く(3 年以内)にUターン したいと思っている
全体(100)	9.0	43.0	17.0	16.0	7.0	7.0	1.0
男性(67)	9.0	34.3	16.4	20.9	9.0	9.0	1.5
女性(33)	9.1	60.6	18.2	6.1	3.0	3.0	0.0
20代(9)	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0
30代(21)	4.8	23.8	14.3	28.6	9.5	14.3	4.8
40代(35)	8.6	51.4	17.1	8.6	8.6	5.7	0.0
50代(19)	21.1	36.8	21.1	15.8	0.0	5.3	0.0
60代(11)	0.0	54.5	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0
70代(5)	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実家あり 独身 (18)	11.1	33.3	38.9	11.1	5.6	0.0	0.0
実家あり 既婚等 (63)	4.8	44.4	11.1	19.0	9.5	9.5	1.6
実家なし (19)	21.1	47.4	15.8	10.5	0.0	5.3	0.0

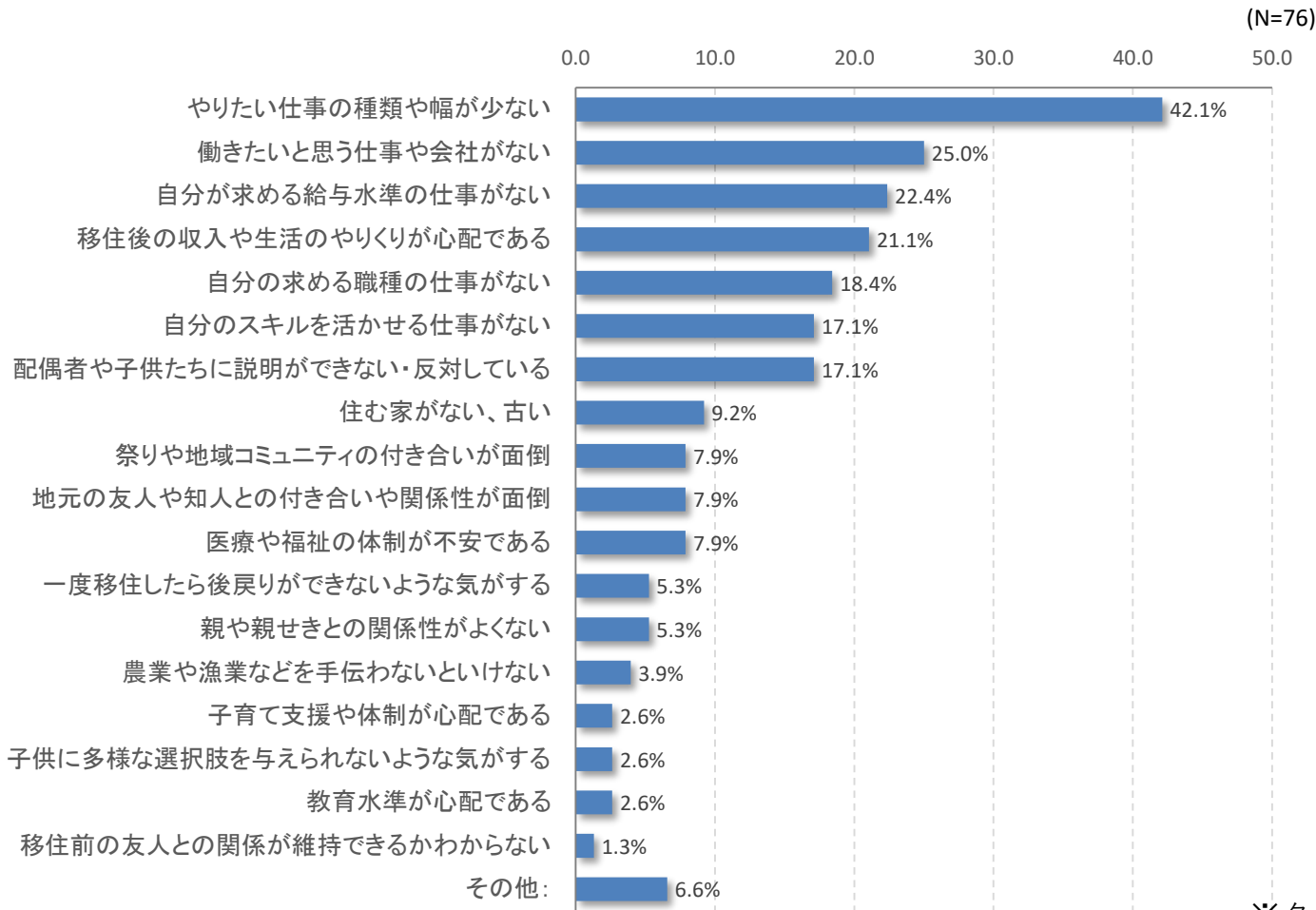
Q7. Uターンしたいと思っている理由で次の中で考えに近いものを選んでください。
(いくつでも)

Uターンの理由として最も大きいものは「能登で働きたいから」。以下回答として、「働き方を変えたい」「居住環境のこと」「生活費のこと」があげられている。



Q8. Uターンが難しい・できない理由で次の中で考えに近いものを、最大3つまで選んでください。

出来ない理由としては「やりたい仕事の種類や幅が少ない」「働きたいと思う仕事や会社がない」「自分が求める給与水準の仕事がない」「移住後の収入や生活のやりくりが心配である」と、収入とそれに関連するライフスタイルに関する回答が上位に来ている。

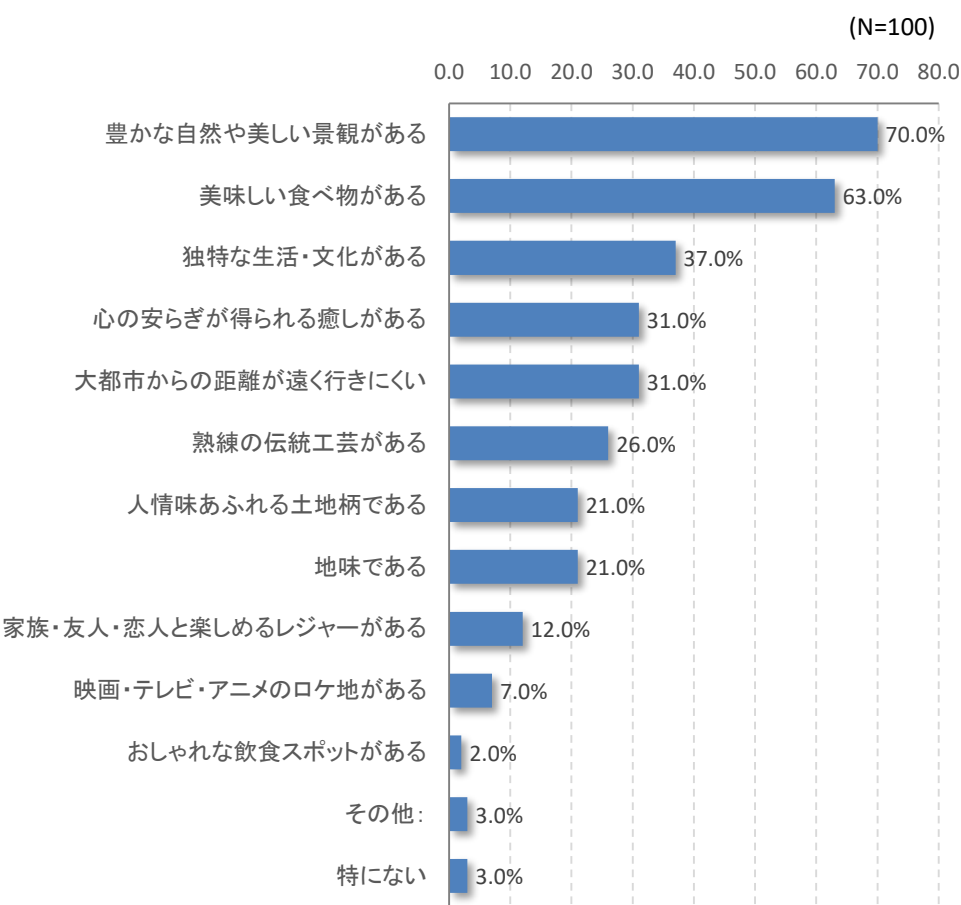


■Uターンが難しい理由（Uターンが現実的には難しい、できない人）

	やりたい仕事の種類や幅が 少ない	自分の求める職種の仕事 がない	自分のスキルを活かせる 仕事がない	働きたいと思う仕事や会 社がない	自分が求める給与水準の 仕事がない	移住後の収入や生活のや りくりが心配である	一度移住したら後戻りが できないような気がする	子育て支援や体制が心配 である	習い事や部活動など子供 に多様な選択肢を与えら れないような気がする	教育水準が心配である	住む家がない、古い	親や親せきとの関係性が よくない	配偶者や子供たちに説明 ができない・反対している	農業や漁業などを手伝わ ないといけない	祭りや地域コミュニティの 付き合いが面倒	地元の友人や知人との付 き合いや関係性が面倒	移住前の友人との関係が 維持できるかわからない	医療や福祉の体制が不安 である	その他
全体(76)	42.1	18.4	17.1	25.0	22.4	21.1	5.3	2.6	2.6	2.6	9.2	5.3	17.1	3.9	7.9	7.9	1.3	7.9	6.6
男性(48)	54.2	20.8	20.8	33.3	25.0	18.8	8.3	2.1	4.2	2.1	10.4	2.1	16.7	2.1	4.2	2.1	2.1	6.3	4.2
女性(28)	21.4	14.3	10.7	10.7	17.9	25.0	0.0	3.6	0.0	3.6	7.1	10.7	17.9	7.1	14.3	17.9	0.0	10.7	10.7
20代(7)	42.9	42.9	14.3	57.1	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
30代(14)	50.0	21.4	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1
40代(27)	40.7	11.1	14.8	25.9	22.2	22.2	7.4	0.0	3.7	0.0	7.4	7.4	18.5	3.7	11.1	7.4	0.0	3.7	7.4
50代(14)	57.1	7.1	21.4	28.6	35.7	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1
60代(9)	11.1	44.4	11.1	22.2	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
70代(5)	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
実家あり 独身 (15)	53.3	46.7	20.0	26.7	26.7	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	20.0	0.0	6.7	0.0
実家あり 既婚等 (47)	44.7	14.9	12.8	23.4	19.1	19.1	6.4	4.3	4.3	2.1	8.5	4.3	21.3	4.3	4.3	4.3	2.1	8.5	8.5
実家なし (14)	21.4	0.0	28.6	28.6	28.6	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	7.1	21.4	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1

Q9.あなたにとって能登のイメージについて、次にあげる中からあてはまるものを選んでください。（いくつでも）

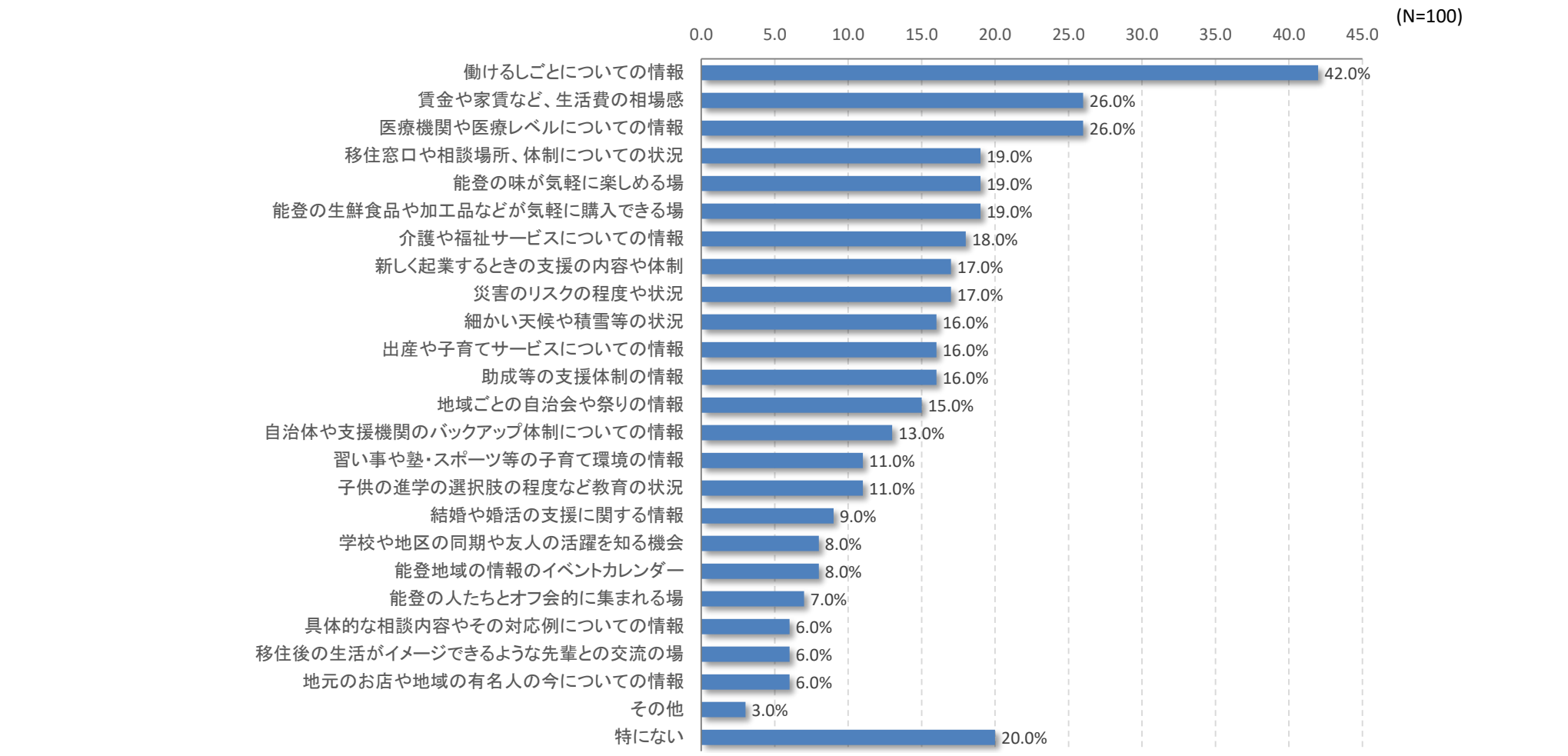
「豊かな自然」と「美味しい食べ物」が上位に来ており、特に女性で値が高い。男性は逆に「地味である」といった意見が高めである。



	豊かな自然や美しい景観がある	美味しい食べ物がある	独特な生活・文化がある	心の安らぎが得られる癒しがある	熟練の伝統工芸がある	家族・友人・恋人と楽しめるレジャーがある	人情味あふれる土地柄である	映画・テレビ・アニメのロケ地がある	大都市からの距離が遠く行きにくい	地味である	おしゃれな飲食スポットがある	その他	特にない
全体(100)	70.0	63.0	37.0	31.0	26.0	12.0	21.0	7.0	31.0	21.0	2.0	3.0	3.0
男性(67)	67.2	59.7	38.8	28.4	25.4	13.4	22.4	7.5	31.3	25.4	1.5	4.5	3.0
女性(33)	75.8	69.7	33.3	36.4	27.3	9.1	18.2	6.1	30.3	12.1	3.0	0.0	3.0
20代(9)	66.7	33.3	33.3	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0
30代(21)	61.9	57.1	33.3	38.1	28.6	9.5	14.3	19.0	28.6	23.8	4.8	4.8	0.0
40代(35)	71.4	74.3	48.6	22.9	20.0	11.4	28.6	5.7	31.4	14.3	2.9	2.9	2.9
50代(19)	68.4	52.6	26.3	26.3	31.6	10.5	5.3	0.0	26.3	31.6	0.0	5.3	10.5
60代(11)	90.9	72.7	27.3	54.5	9.1	27.3	36.4	0.0	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0
70代(5)	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実家あり 独身 (18)	83.3	66.7	61.1	27.8	27.8	11.1	38.9	5.6	44.4	27.8	0.0	0.0	0.0
実家あり 既婚等 (63)	71.4	63.5	31.7	36.5	23.8	11.1	20.6	6.3	27.0	17.5	1.6	4.8	1.6
実家なし (19)	52.6	57.9	31.6	15.8	31.6	15.8	5.3	10.5	31.6	26.3	5.3	0.0	10.5

Q10.あなたが能登についてほしい情報や場はどのようなものがありますか。（いくつでも）

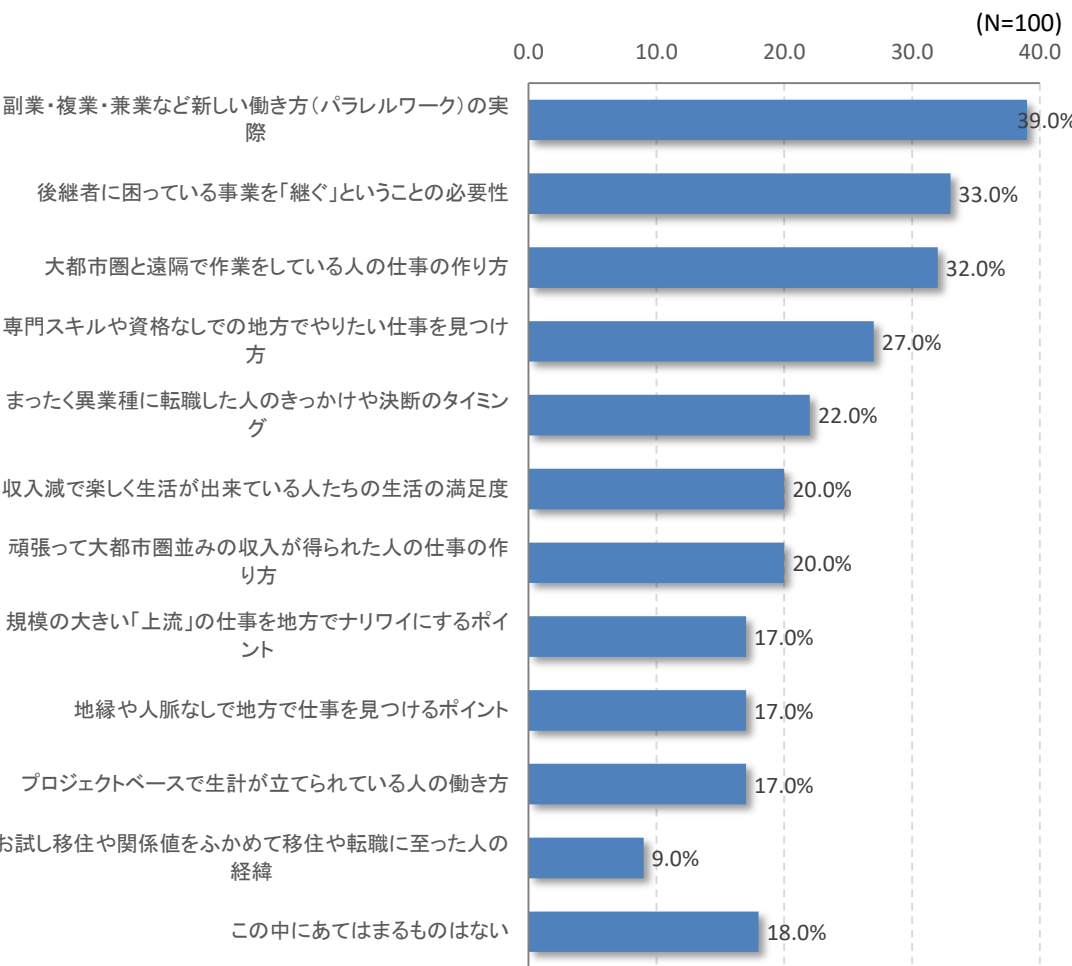
「働ける仕事の情報」がもっとも高く、次いで生活費の相場感と医療費の情報が続いている。男女では、女性の方が欲しい情報の数値が全体的に高めである。



	働ける人について の情報	新しく起業する ときの支援 の内容や体制	賃金や家賃など、 生活費の 相場の 感覚	地域ごとの自治会や祭りの 情報	細かい天候や積雪等の状況	災害のリスクの程度や状況	医療機関や医療レベルについて の情報	介護や福祉サービスについて の情報	出産や子育てサービスについて の情報	習い事や塾・スポーツ等の子 育て環境の情報	子供の進学の選択肢の程度 など教育の状況	結婚や婚活の支援に関する 情報	移住窓口や相談場所、体制 についての状況	具体的な相談内容やその対 応例についての情報	助成等の支援体制の情報	自治体や支援機関のバック アップ体制についての情報	移住後の生活がイメージで きるような先輩との交流の 場	学校や地区の同期や友人た ちがどんな活躍をしているの かを知る機会	地元のお店や地域の有名人 の今についての情報	能登の人たちとオフ会的に 集まれる場	能登の味が気軽に楽しめる 場	能登の生鮮食品や加工品な どが気軽に購入できる場	能登の地域イベントなどが すぐに見つけられるイベント カレンダー	その他	特にな い
全体(100)	42.0	17.0	26.0	15.0	16.0	17.0	26.0	18.0	16.0	11.0	11.0	9.0	19.0	6.0	16.0	13.0	6.0	8.0	6.0	7.0	19.0	19.0	8.0	3.0	20.0
男性(67)	41.8	19.4	25.4	16.4	10.4	13.4	26.9	13.4	14.9	9.0	10.4	4.5	19.4	6.0	13.4	14.9	7.5	6.0	6.0	9.0	19.4	16.4	10.4	3.0	20.9
女性(33)	42.4	12.1	27.3	12.1	27.3	24.2	24.2	27.3	18.2	15.2	12.1	18.2	18.2	6.1	21.2	9.1	3.0	12.1	6.1	3.0	18.2	24.2	3.0	3.0	18.2
20代(9)	33.3	33.3	44.4	33.3	22.2	44.4	33.3	22.2	55.6	0.0	11.1	22.2	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
30代(21)	42.9	28.6	52.4	23.8	33.3	33.3	33.3	28.6	38.1	33.3	23.8	14.3	14.3	14.3	23.8	19.0	9.5	14.3	23.8	9.5	23.8	28.6	14.3	4.8	9.5
40代(35)	40.0	17.1	17.1	14.3	14.3	14.3	20.0	8.6	5.7	11.4	11.4	8.6	22.9	5.7	17.1	2.9	2.9	2.9	2.9	5.7	20.0	20.0	5.7	0.0	28.6
50代(19)	47.4	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0	15.8	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3	15.8	0.0	15.8	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	26.3	5.3	5.3	5.3	31.6
60代(11)	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	18.2	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1
70代(5)	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0
実家あり 独身 (18)	61.1	27.8	38.9	22.2	33.3	27.8	27.8	22.2	22.2	11.1	5.6	11.1	33.3	5.6	27.8	11.1	0.0	5.6	11.1	5.6	22.2	16.7	5.6	0.0	22.2
実家あり 既婚等 (63)	41.3	19.0	22.2	15.9	12.7	15.9	27.0	15.9	15.9	9.5	14.3	7.9	15.9	6.3	14.3	12.7	7.9	11.1	6.3	9.5	17.5	22.2	9.5	3.2	14.3
実家なし (19)	26.3	0.0	26.3	5.3	10.5	10.5	21.1	21.1	10.5	15.8	5.3	10.5	15.8	5.3	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	21.1	10.5	5.3	5.3	36.8

Q11.次の中で、地方での仕事や働き方を考えるのに、あれば参考になると思う情報や記事・インタビューを選んでください。（いくつでも）

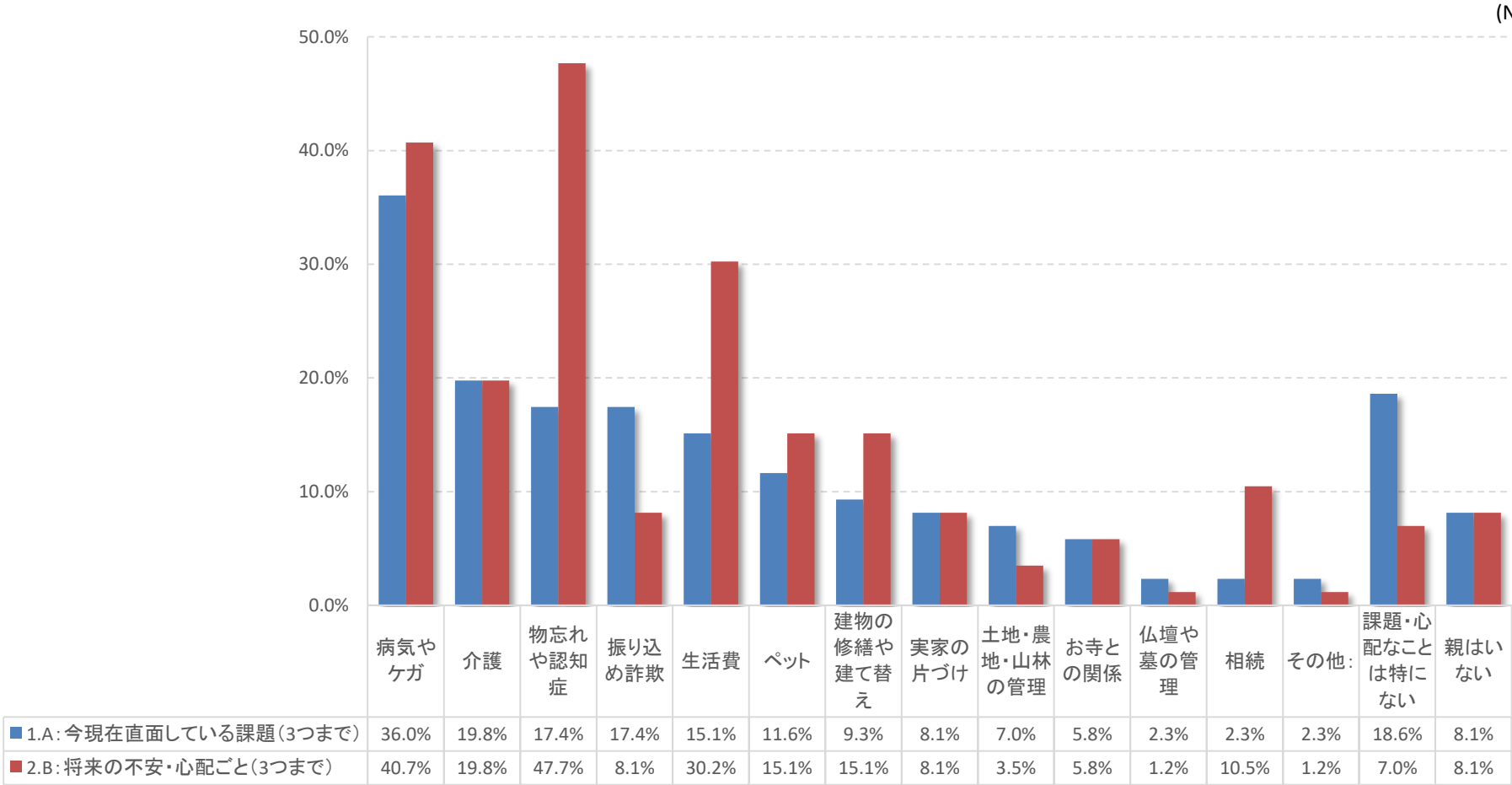
副業・複業・兼業といった新しい働き方についてが最も高く、次いで「仕事を継ぐ」ことの重要性、「大都市圏と遠隔で作業している人の仕事の作り方」の順である。男女で差があるのが、「継業」や「人脈なしで仕事を見つけられたポイント」「異業種への転職ポイント」が女性の方が高いのが特徴である。



	この中にあてはまるものはない	お試し移住や関係値をふかめて移住や転職に踏み切った人の地域とかかわり方について	頑張って大都市圏並みの収入が得られた人の仕事の作り方について	給与水準があっても楽しく生活が出来ている人たちの生活の満足度について	まったく異業種に転職した人のきっかけや決断のタイミングなどについて	フルタイムで働くのではなく、プロジェクトベースで生計を立てられている人の働き方について	地縁や人脈がなくとも地方で仕事を見つけることができたポイントについて	専門的なスキルや資格がなくとも地方でやりたい仕事を見つけられた人について	後継者に困っている事業を「継ぐ」ということの必要性について	規模の大きい「上流」の仕事を地方でナリワイにするポイントについて	専門的なスキルを活かして大都市圏と遠隔で作業をしている人の仕事の作り方について	副業・複業・兼業など新しい働き方（パラルワーク）の実践について
全体(100)	18.0	9.0	20.0	20.0	22.0	17.0	17.0	27.0	33.0	17.0	32.0	39.0
男性(67)	16.4	7.5	22.4	25.4	17.9	19.4	13.4	25.4	29.9	16.4	31.3	38.8
女性(33)	21.2	12.1	15.2	9.1	30.3	12.1	24.2	30.3	39.4	18.2	33.3	39.4
20代(9)	0.0	0.0	33.3	22.2	33.3	11.1	22.2	22.2	55.6	44.4	55.6	55.6
30代(21)	9.5	9.5	33.3	23.8	42.9	28.6	28.6	33.3	42.9	19.0	42.9	38.1
40代(35)	20.0	14.3	11.4	17.1	20.0	8.6	22.9	22.9	20.0	14.3	34.3	34.3
50代(19)	26.3	5.3	10.5	21.1	5.3	10.5	0.0	21.1	21.1	10.5	10.5	42.1
60代(11)	18.2	0.0	18.2	27.3	9.1	36.4	9.1	54.5	63.6	0.0	27.3	45.5
70代(5)	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0
実家あり 独身 (18)	22.2	11.1	16.7	27.8	27.8	11.1	33.3	33.3	27.8	27.8	27.8	55.6
実家あり 既婚等 (63)	14.3	9.5	25.4	19.0	22.2	20.6	14.3	27.0	34.9	17.5	36.5	34.9
実家なし (19)	26.3	5.3	5.3	15.8	15.8	10.5	10.5	21.1	31.6	5.3	21.1	36.8

問：あなたは実家の親のことについて課題や不安・心配なことはありますか。A：今現在直面している課題とB：将来の不安・心配ごとをそれぞれ最大3つまでお答えください。

現状の課題や心配は「病気やケガ」が最も高く、「介護」「物忘れや認知症」「振り込め詐欺」が続く。
将来の不安については、「物忘れや認知症」が最も高く、病気やケガ、生活費と続く。
現在の課題も、男性の方が「課題はない」と回答している割合が高い。



●今現在の課題・困りごと

	病 気 や ケ ガ	介 護	物 忘 れ や 認 知 症	振 り 込 め 詐 欺	生 活 費	ペ ット	建 物 の 修 繕 や 建 て 替 え	実 家 の 片 づ け	土 地 ・ 農 地 ・ 山 林 の 管 理	お 寺 と の 関 係	仏 壇 や 墓 の 管 理	相 続	そ の 他 …	課 題 ・ 心 配 な こ と は 特 に な い	親 は い な い
全体 (86)	36.0	17.4	15.1	2.3	19.8	7.0	17.4	11.6	8.1	5.8	9.3	2.3	2.3	18.6	8.1
男性 (58)	32.8	22.4	13.8	3.4	15.5	6.9	19.0	12.1	12.1	3.4	8.6	3.4	3.4	22.4	5.2
女性 (28)	42.9	7.1	17.9	0.0	28.6	7.1	14.3	10.7	0.0	10.7	10.7	0.0	0.0	10.7	14.3
20代 (9)	55.6	11.1	11.1	0.0	55.6	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
30代 (18)	33.3	27.8	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0
40代 (33)	36.4	15.2	6.1	6.1	27.3	15.2	24.2	15.2	12.1	6.1	12.1	0.0	0.0	18.2	0.0
50代 (12)	25.0	16.7	33.3	0.0	25.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	16.7
60代 (11)	36.4	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	27.3
70代 (3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
実家あり 独身 (18)	61.1	5.6	5.6	5.6	38.9	11.1	16.7	5.6	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	5.6
実家あり 既婚等 (63)	31.7	20.6	17.5	1.6	14.3	6.3	19.0	14.3	11.1	4.8	9.5	3.2	3.2	20.6	7.9
実家なし (5)	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

●将来の課題・心配ごと

病 気 や ケ ガ	介 護	物 忘 れ や 認 知 症	振 り 込 め 詐 欺	生 活 費	ペ ット	建 物 の 修 繕 や 建 て 替 え	実 家 の 片 づ け	土 地 ・ 農 地 ・ 山 林 の 管 理	お 寺 と の 関 係	仏 壇 や 墓 の 管 理	相 続	そ の 他 …	課 題 ・ 心 配 な こ と は 特 に な い	親 は い な い
40.7	47.7	30.2	1.2	19.8	3.5	8.1	15.1	8.1	5.8	15.1	10.5	1.2	7.0	8.1
44.8	48.3	25.9	1.7	15.5	3.4	8.6	19.0	8.6	8.6	13.8	10.3	1.7	6.9	5.2
32.1	46.4	39.3	0.0	28.6	3.6	7.1	7.1	7.1	0.0	17.9	10.7	0.0	7.1	14.3
33.3	66.7	33.3	0.0	44.4	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0
66.7	55.6	27.8	5.6	5.6	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	11.1	0.0
36.4	51.5	27.3	0.0	18.2	9.1	12.1	21.2	12.1	12.1	18.2	15.2	0.0	3.0	0.0
41.7	41.7	33.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	16.7
27.3	27.3	45.5	0.0	27.3	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	27.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
44.4	38.9	27.8	0.0	38.9	11.1	11.1	0.0	5.6	5.6	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6
42.9	50.8	31.7	1.6	15.9	1.6	7.9	20.6	9.5	6.3	12.7	7.9	1.6	7.9	7.9
0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0

第4章 今後に向けて

移住者を増やし、定住に結びつけるために誰を狙うべきか

まず考えるべきメインターゲットは独身者のU・Jターン！



市内在住のU・Jターンは幸福感得点の平均が高く、現在の暮らしに満足している！
七尾に暮らしたいと回答した割合や子供に将来暮らしてもらいたい！

移住者はアクティブ 地元の祭りもあるけどアウトドアや他のイベントもやりたい！

男性は仕事と社会との関係性重視！

ネット通販も活用！ 温泉や食が七尾の若者の誇り！

女性は自然や地域での関係性重視！

七尾市民の幸福感の判断基準は家族関係がトップ



しかし、能登以外にいと、能登を独特な文化がある辺鄙なイメージをもっている。
また、能登から出たことのない親世代は、幸福感や満足度が低いため、「かえって来たほうがいい」と言える人（親や親せき）や地元民が少ないように思われる。

学校での学びに加えて、都会生活で得た「学び」を活かせる働き方や暮らしができないと
考えている人が多い様子。

男性は仕事＝会社＝収入が気になって能登に戻れない？

女性は友人関係・地域コミュニティや生活の安心が気になって能登に戻れない？

そんな中、移住後の安心できる暮らしにつながる情報や、新しい仕事のスタイル・地方で新しい働き方で仕事を見つけるためのポイントを求めている様子。
継業の必要性は女性の方が高いなど、これまでのような働き方にこだわっていないのが女性の特徴。ただし、結婚や育児などで「選ばれる」かどうかは、大きな課題と思われる。

移住・定住施策は、移住希望者向けだけで果たしてよいのか

中長期的にはノーターン（地元民）の満足度を上げることがカギ！

○

七尾に住んでいる人は「地元の祭り」にアイデンティティを感じ、おいしい海産物や温泉、能登の里山里海を含め、七尾らしさとして誇りにしている。

特に地元民は地域の祭りの運営や安心安全の活動に積極的	地元七尾での買い物や活動が中心
特に高齢者を中心に歴史や文化への関心が高い	出身者も実家がある独身を中心に「人情味ある土地柄」と認識

▲

しかし、幸福感・満足度それぞれ地元民は移住者と比べて満足度が低め。子供に暮らしてもらいたいという割合も低い。また、地域活性化活動への参加も移住者と比べて積極的ではない？

かつてはあった「働く場所」がどんどんなくなっていく＝寂れていく状況を目の当たりにして、都会に引け目を感じて積極的に暮らしに満足を感じていない可能性がある。

会社に所属していると、「仕事のやりがい」や「コミュニティとの関係」で幸福感を感じられなくなっている様子	外に住む子どもたちで能登に住む親の医療体制や生計の立て方に不安を感じている人も
---	---

シゴト単位で働く人は、能登にいても、「仕事のやりがい」や「コミュニティとの関係」「社会貢献」を幸福感の判断基準の軸にしている。これまでの「地元企業だけに働く」地元民、というスタイルにこだわらない形、たとえば、副業（複業）をしている地元民や、高齢者が生きがいづくりの一環としてはたらくシルバーベンチャー的な動き等、新しい働き方で暮らす地元民が中長期で増えることで、満足度や幸福感が上がってくるのではないかな。

働きやすい環境が整えば移住定住者や関係人口は確保できるのか

「七尾に引き寄せる」ための継続的なコミュニケーションが必要！



今の七尾は、これまでの街づくりの活動の蓄積に加え、事業継承など仕組み新しい取組が進んでおり、全国的にも注目を集めている。

シゴト単位で働く人も増えており、そのような人たちは暮らしの満足度が高い。

地域活性化活動にも積極的で、これまでのまちづくり活動を引き継いでおこなっている。

積極的に「動きまわっている」人たちが増えている

地方で働くことを考えるとき、副業・複業・兼業といった新しい働き方についてのニーズが高い様子

S N S等での交流も盛ん



移住定住のきっかけや理由は「人さまざま」で、ひとくくりにはできない。男女でも大きな差がある様子。また、家族や子供ができるとさらに条件は複雑になる。また、全国で同様の取り組みの場所は増えていて、「取り合い」になっている状況はある。

働くことや暮らしと「収入」はどうしても切り離せない

地理的な遠さを克服するのは難しい

移住定住や関係人口を確保するためのベースのインフラとしての仕事や家が重要であることは言うまでもないが、それだけでは単純な取り合いや比較に負けてしまう可能性が大きい。積極的に外部人材や組織との「実績」を積み重ねていくことや、S N S等を活用し、「七尾の人にイイネと言われた」ことが大都市圏の人の誇りになるような積極的な関係値の構築を行うことで、選ばれるというよりはむしろ外部の人たちを“引き寄せる”ようなコミュニケーションが必要ではないだろうか。

能登に戻り・暮らしながら次の働き方を学び作る 「継業スクール」的な取り組み

地域で仕事を探すにあたって、継業が重要だという意見はある反面、自分自身はできないという思い込みを持っている人が一定数いると思われる。そこで、能登での継業や就業がスムーズにできるようにする「地域で働くための予備校（地域おこし協力隊の起業支援型を想定し、一定の給与を支給）」的な枠組み（＝継業スクール）を作ることによって、移住のハードルを下げる。

七尾・能登暮らしや関係性づくりをオンラインでまず体験できる 「会員制オンライン自治会システム」の構築

いきなり能登地域に知り合いを作ったり、昔の仲間と交流することが難しい人たちに対して、大都市圏にしながら「今の能登・七尾」とオンラインでつながることができる有料会員制オンライン自治会を作る。会費の中から地域プロジェクトへの支援を行ったり、七尾に行ったときにリアルに「接待」を受けられるような環境をつくることで、より濃い関係人口の構築を目指し、将来的な移住や複業人材の確保を目指す。

Uターンをターゲットにした「オンラインインターン」制度を作る

上記のターゲット違いバージョンであるが、オンラインで七尾のプロジェクト運営に関わることができる「オンラインインターン」制度を行う。ターゲットは、Uターン予備軍。特に「七尾ではこういう人が求められている」ということを切り出しながら、オンライン上で地元である七尾に関われるような取り組みを行う。

移住にあたり働き方と家族との暮らしをセットで考える視点の提供

地域での暮らしを検討するきっかけが、子育て環境や介護等親の将来の暮らしになることは多いと考えられるが、結果的に「仕事」や「収入」といった理由で妥協するケースなどもあると思われる。また、夫婦間での価値観の違いを解消しないまま移住するケースなどもあるのではないかと。移住後の暮らしの不安をできるだけ解消するための相談窓口はあるが、何を相談していいかわからないことも想定されることから、考えるべき視点のパターンを提供し、具体的に移住相談や働き方の相談にむすびつける。相談は七尾・能登の人が受けるが、能登に限定することのないことで、間口を広げつつ、結果的に能登・七尾に引き寄せられるようなことを考える。

例えば、保育園に入る前の子どもがいる女性が“大都市圏とは違う新しい仕事や子育て”ができるための視点の提供などがある。

地元民（ノーターン）をターゲットに、新しい仕事のやり方が体験できる「インターン」制度を作る

高齢者や地元民に新しい働き方を説明するのは難しいので、有償ボランティア的な「インターン」制度を試験的に導入することで、地元民にあらたな働きを提供し、中長期的に満足度を高めることを目指す。

ターゲットを絞り、施策仮説アイデアを参加者同士で、ディスカッションするイベントの定期的な実施

今後展開を検討する移住施策アイデアを、そのまま実行するのではなく、「褒める」「あら捜しする」を行う『模擬アドバイザー会議』を定期的に市内・大都市圏双方で実施する。参加者をそのターゲット層（子連れパパとか20代独身等）に絞り、ターゲット層同志の交流やつながりづくりも目指すことを想定。貴重な意見は定性分析する。

（地域福祉分野等）生活サポートを行う事業主体との課題感の共有や整理を行うための共同基礎調査の実施

特に女性を中心に、地域で安心した生活を送れるかどうかが移住のカギになる様子である。そこで生活サポートの分野を高齢者等地域の困りごとメインから、移住者やUターン者にターゲット広げることができないか。横断的に検討するための基礎調査を福祉行政・事業者等と連携して行い、地域福祉施策と移住定住施策の効果的な連携を目指す。

移住者の幸福感や満足度の高さをより深掘りする （グループ）インタビューの実施

実際に移住者（特にUターン者）のリアルな暮らしにおける「幸福感」や「満足度」を定性的に取得するための調査を実施する。グロイン＋リアルな生活の場でのインタビューを組み合わせることにより、今回の定量調査の結果を裏付けする。また、WEBコンテンツ等として今後横展開も可能なものとする。